



いくっしょ
モビショー!

Japan Mobility Show 2025

東京モーターショーのワクワクを引き継いで、
Japan Mobility Show「モビショー」は、2023年から新たにスタートしました。
新型車から、未来のモビリティまで。クルマ・バイクはもちろん、
あらゆる乗り物の可能性を、その目で見て、乗って、体感できる11日間。
目を輝かせる子ども。はしゃいじゃう大人。一人ひとりの感動体験がきっとある。
「心って、こんなに動くんだ。」そんなワクワクが詰まったフェスティバルの開催です。



取材の手引き
10月29日発行版

目 次

1. Japan Mobility Show 2025 開催要綱	3
2. 開催概要	4
3. ステートメント／ショーテーマ	7
4. メインプログラム	10
5. 部門出展	72
6. コラボ企画	74
7. プレスインフォメーション	79
8. 特別企画	84
9. その他企画	87
10. 告知企画	92
11. 来場者サービス	96
12. スポンサーシップ・プログラム	107
13. 交通アクセス	110
14. データ	114

1. 開催要綱

1) 名称	Japan Mobility Show 2025		
2) 主催	一般社団法人 日本自動車工業会 (JAMA)		
	一般社団法人 日本自動車部品工業会 (JAPIA)		
	一般社団法人 日本自動車車体工業会 (JABIA)		
3) 共催	一般社団法人 日本自動車機械器具工業会 (JAMTA)		
	一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 (JADA)		
	日本自動車輸入組合 (JAIA)		
4) 総裁	瑤子女王殿下		
5) 会長	片山 正則 (一般社団法人 日本自動車工業会 会長)		
6) 開催期間	会 期	2025年10月29日 (水) ~11月9日 (日)	
開場時間	プレスデー	10月29日(水)	8時00分~18時00分
		10月30日(木)	8時00分~13時00分
	オフィシャルデー (オープニングセレモニー)	10月30日(木)	13時30分~18時00分
	特別招待日	10月31日(金)	9時00分~19時00分
	障がい者手帳をお持ちの方の 特別見学会		
	一般公開日	10月31日(金)	13時30分~19時00分
		11月1日(土)、 11月3日(月・祝)、 11月8日(土)	9時00分~19時00分
		11月4日(火) ~11月7日(金)	10時00分~19時00分
		11月2日(日)、 11月9日(日)	9時00分~18時00分
	(開場時間はやむを得ない場合は変更し、時には入場を制限することがあります) * 一般公開日の土日・祝日の9時00分~10時00分の時間帯は、ご入場可能な特別 チケット (アーリーエントリー入場券) をお持ちの方のみ入場可。		
7) 入場料	障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日 無料 (事前登録制)		
	一般公開日		
	・当日: 3,000円		
	・前売/20名以上の団体: 2,700円		
	・アーリーエントリー: 3,500円		
	(土日・休日限定5,000枚/日・保護者同伴に限り小学生以下無料)		
	・アフター4: 1,500円 (日曜日を除く16:00以降)		
	・高校生以下無料		
	・障がい者手帳をお持ちの方、本人及び付添者1名 (車いす利用者の場合2名まで) 無料		
8) 会場	東京ビッグサイト		
9) 後援	外務省、経済産業省、国土交通省、環境省、東京都、日本経済団体連合会、 日本貿易振興機構 (ジェトロ)、国際自動車工業連合会 (OICA) OICA: Organisation Internationale des Constructeurs d' Automobiles		

2. 開催概要

1) 23年との比較

- Japan Mobility Show 2025は、「ワクワクする未来を、探しに行こう！」をコンセプトに、JAPAN MOBILITY SHOW 2023で好評だった、「未来の展示・体験」に加え、「**過去・現在の展示・体験**」へも注力することで、乗り物好きな人も、未来の暮らしや姿を夢見ることが好きな人も、大人も子どもも、多くの方にとってワクワクするイベントを目指します。
- 参加社数は、**過去最高の517社・団体**を突破*しました。前回開催のJAPAN MOBILITY SHOW 2023の475社・団体の出展・参加を上回ります*。自動車業界だけでなく、他産業やスタートアップも多く参加します。
- 海外からも、**42社・団体が出展***し、前回の23社・団体を上回ります。
- Tokyo Future Tour は、第2弾として**近すぎず遠すぎない10年後の近未来の技術**やそれによってもたらされる生活の変化を体感いただけます。
- 「過去・現在の展示・体験」として、新たに「**Mobility Culture合同展示～タイムスリップ・ガレージ～**」を行います。戦後から現代までの名車たちが、当時のカルチャーとともに、街の風景、音楽、ファッション…それぞれの時代が息づく空間で、クルマと人が織りなしてきた豊かな記憶と感動をガレージに集めました。
- Startup Future Factory内の**Pitch Contest & Awards**は、**シード／アーリー部門、ミドル／レイター部門の2部門制**となり、成長ステージごとのニーズに合わせたベネフィットを提供します。
- 未来モビリティ会議では、**10月30日に特別セッション**として**日本自動車工業会 正副会長が登壇**し、「未来はみんなでつくるもの」「クルマ愛」をテーマにしたセッションを行います。
- **メインパートナーにSCSK株式会社、オフィシャルサプライヤーにLED TOKYO株式会社、オフィシャルパートナーに住友三井オートサービス株式会社**をお迎えし、自動車産業以外の多くの企業・団体の皆さまの協力のもと、他産業と共に、豊かで夢のあるモビリティ社会の構築に向けて、開催されます。
- 東京ビッグサイトの大規模改修工事により、**東1-3ホールを除く全館利用**での開催となります。

*2025年10月15日現在

2) 全体サマリー

Japan Mobility Show 2025（ジャパンモビリティショー）は、2025年10月30日（木）から11月9日（日）まで（一般公開は10月31日（金）から）、東京ビッグサイト（江東区・有明）で開催する。

これまでの東京モーターショーから新たに生まれ変わった、前回JAPAN MOBILITY SHOW 2023を引き継ぎ、自動車業界の枠を超えて、他産業やスタートアップ、来場されるお客さま含め、日本の未来を新しい仲間と一緒に創っていくショーとして開催する。

参加社数は、前回開催のJAPAN MOBILITY SHOW 2023における475社・団体の出展・参加を上回る過去最高の517社・団体を突破*。自動車業界だけでなく、他産業やスタートアップも多く参加するイベントとして開催する。

■ Tokyo Future Tour 2035

10年後の生活や景色を体験できる未来ツアープログラム。モビリティや暮らしはどう進化していくのか。わたしたちは未来をどうつくってイけるのか。想像を膨らませながら体験ください。

■ Mobility Culture Program

これまでも、これからも人々にワクワクをもたらす存在のモビリティ。そんな、過去から未来へと繋がる、さまざまな乗り物、モビリティの魅力そのものに焦点を当て、クルマやバイクをはじめとしたモビリティ好きの方が本気で楽しんでいただける、モビショーならではのプログラムです。

■ Startup Future Factory

2023年から継続的に実施している、モビリティ産業の未来を担うスタートアップ企業と、様々な企業や来場者の方々が出会い、これまでにない視点からビジネスを共創し、モビリティ産業として発展する仲間づくりの場となることを目的としたプログラムです。

■ 未来モビリティ会議

各領域のプロたちが、モビリティの未来や課題について様々な視点から、豊かで夢のあるモビリティ社会の構築に向け、時に熱く、時に楽しく語り、子どもも大人もワクワクできる“未来のヒント”が見つかるトークステージです。

*2025年10月15日現在

3) 会場マップ

来場者の皆さまの円滑な会場内移動を目的として、会場マップをオフィシャルWEBサイト、公式アプリで事前に公開。会場マップには、各出展者ブースの配置、ステージエリア、飲食・売店コーナー、グッズショップ、休憩ゾーンやトイレなど、会場内のイベント施設を分かりやすく表示している。

当日は会場各所に設置されるQRコードを読み取ることで、スマートフォン等からマップをダウンロード・閲覧することが可能。ぜひ活用いただきたい。



3. ステートメント・ショーテーマ

Japan Mobility Show 2025は「ワクワクする未来を、探しに行こう！」をコンセプトとして開催。このコンセプトには「みんながワクワクし、一緒に考え、未来を創り上げていく」という想いが込められており、メインビジュアルではこの想いを表現している。クルマ・バイク好きから、お子さまやファミリー、ビジネスパーソンなど、多くの来場者に「いくっしょ、モビショー！」という合言葉のもと、豊かで夢のあるモビリティ社会によってもたらされる、ワクワクする未来を体験できる企画を多数実施する。

1) ショーコンセプト

ワクワクする未来を、探しに行こう!

このコンセプトには
クルマやバイクなどの、乗り物好きな人も、
未来の暮らしや姿を、夢見ることが好きな人も
大人も、子どもも、まだあまり興味を持っていない方も、

みんなが、ワクワクし、
そして、一緒に考え、未来を創り上げていく
そんな想いを込めている

2) メインビジュアル



3) ステートメント

東京モーターショーのワクワクを引き継いで、
Japan Mobility Show 「モビショー」は、
2023年から新たにスタートしました。

新型車から、未来のモビリティまで。

クルマ・バイクはもちろん、あらゆる乗り物の可能性を、
その目で見て、乗って、体感できる11日間。
目を輝かせる子ども。はしゃいじゃう大人。
一人ひとりの感動体験がきっとある。

「心って、こんなに動くんだ。」

そんなワクワクが詰まったフェスティバルの開催です。

4) WEB CM動画

東京モーターショーの時代から来てくださっている方も、まだモビリティショーには来たことが
ないクルマ好きの方も、子連れのファミリーやお出かけ先を探している方も、すべての人にとって
ワクワクできるイベントであることを伝えるため、4タイプのCM用動画を制作。

いくっしょ、モビショー篇



動画URL : https://youtu.be/IRF_ABe5XaM

クルマ好きなら、いくっしょ篇



動画URL : <https://youtu.be/sZS4cFAImG0>

家族みんなで、いくっしょ篇



動画URL : <https://youtu.be/nv1LrmDNhI>

みらいを覗きに、行くっしょ篇



動画URL : <https://youtu.be/DJKPDpu7nj4>

5) テーマロゴ

「ALL JAPAN」で一つになり、協力し、日本を動かし、世界へ発信していく。

それぞれの個性が歯車のように噛み合い、未来へと進んで行く。

そんな想いを表現。



4. メインプログラム

1) 全体概要

ジャパンモビリティショーは、これまでも、これからも、多くの人のワクワクが生み出される場所であり続けるため、Japan Mobility Show 2025ではFUTURE（フューチャー）・CULTURE（カルチャー）・CREATION（クリエイション）という3つのキーワードを中心にメインプログラムを実施する。

■FUTURE（フューチャー）プログラム

未来における、モビリティの活躍に期待してもらい、更には、日本の未来にもワクワクしてもらう。

【Tokyo Future Tour 2035（トーキョーフューチャーツアー2035(ニーマルサンゴー)）】

近すぎず遠すぎない10年後の近未来の変化を様々な技術やモビリティ、生活シーンを通じてお届け。この10年で、デジタル化やAIの利用が一般的になったように、これから先の10年も、決して他人事ではなく、皆さんのアイデアや選択次第で未来は創られていく、「未来は自分で創ることができる」という希望をお届け。

「Tokyo Future Tour」は、2023年にご好評をいただき、第二弾として実施。

本年は、「Tokyo Future Tour 2035」として、178社・団体（10/15時点）の皆様と共に創りあげる、企業横断型の展示企画となっている。この規模での実施は希少であり、ジャパンモビリティショーでしか見ることができない、シンボルコンテンツとなっている。

■CULTURE（カルチャー）プログラム

モビリティは単なる移動手段ではなく、人々の心を震わせ、暮らしの記憶や価値観までも形づくってきた。その魅力を体感できる「モビリティカルチャープログラム」を展開。歴史を刻んだ名車の存在感、エンジンの鼓動が放つライブ感、クルマやバイクを愛する人々の情熱、そして未来へつながる最新技術。それらが交差することで、モビリティの本質的な魅力に改めて心惹かれる体験をお届けする。

【Mobility Culture合同展示～タイムスリップ・ガレージ～】

高度成長期を駆け抜けた活気ある風景や、大衆文化とともに街を彩った情景、混乱や資源危機を乗り越えた技術革新の足跡などとともに、かつて時代を彩った名車たちが蘇り、モビリティが人々の暮らしや価値観と、どう交差してきたかを紐解く、合計14社・団体による35点の合同展示を開催。

【Performance Zone】

東棟屋外臨時駐車場にて、乗り物の魅力をさらに深く味わえる多彩なコンテンツを展開。次世代燃料の可能性を伝えるショーランや、2輪のワクワクを体感いただくモータースポーツコンテンツ、SUVによる悪路走行パフォーマンスなどを実施。

【Community Zone】

東棟屋外臨時駐車場にて乗り物そのものだけでなく、それを愛する人々のつながりも大切に、4輪から2輪まで、ファン同士が語り合える交流企画も実施。

【その他企画展示】

軽トラ市や働くくるまのほか、スーパーカーやカスタムカーの展示、ファミリーに人気のキャンピングカーやトミカブースなど、会場の様々な場所で、世代を超えて楽しめるプログラムもご用意。

■ CREATION（クリエイション）プログラム

日本にたくさんのワクワクを創っていくために、未来と一緒に創る仲間づくりや、新たな出会いを生む多数の企画を実施

【Startup Future Factory】

モビリティ産業の拡張に向けて、スタートアップ企業と共に新たなワクワクを生み出すことを目指し、さまざまなプロダクトやサービス、技術シーズを有するスタートアップ企業や大学、延べ129社が参加するブース出展「Exhibition Street」と、予選を通過した計30社による「Pitch Contest & Awards」を実施。

さらに、前回ショーで好評を博した「未来掲示板」も、JMS2025ではパワーアップして登場する。

【未来モビリティ会議】

特別セッションとして、「未来はみんなで作るもの」を合言葉に、自工会正副会長が登壇するセッションを実施。「豊かで夢のあるモビリティ社会のあり方」についてスピーチを行うほか、モビリティにかける想いを語るクロストークも予定。また、「モビリティの未来」などをテーマに自工会理事が登壇するビジネスセッション、「ウェルビーイング×モビリティ」や「おもてなし×モビリティ」などをテーマに一般来場者にもお楽しみいただきやすいトークセッションを予定している。

■ その他実施プログラム

小学生以下を対象に、モビリティ産業に関わる多様な仕事を体験できる職業・社会体験施設「キッズザニア」とのコラボレーションコンテンツである「Out of KidZania in Japan Mobility Show 2025」を今年は体験料無料で実施する他、日本自動車ジャーナリスト協会（AJAJ）の会員有志が専門家の視点でジャパンモビリティショーとクルマの魅力をガイドする「AJAJガイドツアー」を今年も開催。

「ワクワク感」をコンセプトに会場の各所に「JMSグルメストリート」として、計43店舗のバリエーション豊かなキッチンカーが集結。楽しい食体験のほか、休憩場所としてもご利用いただける。

2) Tokyo Future Tour 2035

Tokyo Future Tour 2035

10年後の生活や景色を体験できる未来ツアープログラム。

10年後。それは近すぎず、遠すぎもしない、今日の延長線上の景色。

SFや絵空事じゃない、現実の未来です。

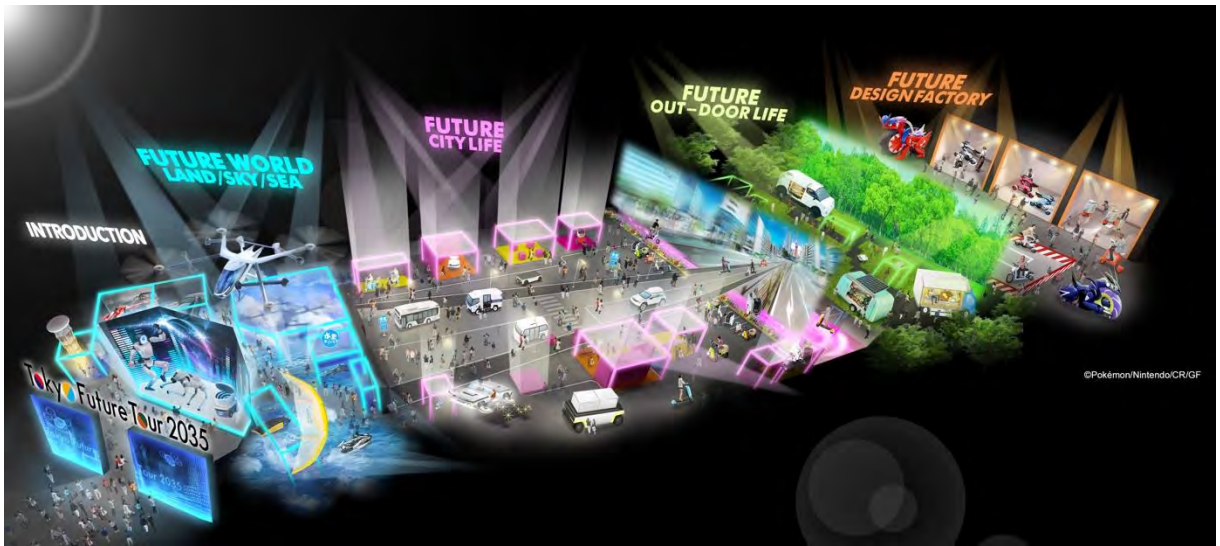
それはつまり、わたしたちが一步步 確実につくっていける未来だということ。

10年後には、人とモビリティの生活は どのようになっているのでしょうか。

どのようになっていますか、欲しいのでしょうか。

もっと便利になる未来。もっと楽しくなる未来。もっと可能性が広がる未来。

モビリティの進化と普及によって、実現していくであろうワクワクする2035年を一足先に訪れて、実際に見て、触って、乗って、未来をつくっていくきっかけを見つけてください。



<体験のポイント>

イントロダクションを含め、5つのエリアで構成されます。

・INTRODUCTION

様々な変化をもたらす10年という時間のインパクトを感じていただきます。
場内に入ると、未来では生活を共にするロボットや人工知能がお出迎えいたします。

・FUTURE WORLD LAND/SKY/SEA

空飛ぶモビリティにより、空へとつながる新しい道や、海や宇宙へと活躍を広げるモビリティの可能性に触れ、未来への変化を感じていただきます。

・FUTURE CITY LIFE

モビリティの進化を通じて、一人ひとりのアイデアが未来へ反映されていく様子を大規模なシミュレーション空間で表現。
未来の街並みで出会える数多くのモビリティ一つ一つにご着目ください。

・FUTURE OUT-DOOR LIFE

アウトドアやオフグリッドな空間におけるモビリティの活躍を間近でご体感いただき、10年後の自然空間の中で、これまで以上に自然と豊かに寄り添い合うご自身の姿を想像いただきます。

・FUTURE DESIGN FACTORY

モビリティそのものの製造工程の進化や、プラットフォーム化によるデザインの自由度、拡張性を様々な体験展示を通して、見て、触って、乗って実感いただき、より多くのアイデアを膨らませていただきます。

本プログラムを通して、10年後の未来は一人ひとりのアイデアや選択により創られることを感じていただきます。

【実施場所】

東京ビッグサイト西展示棟 2ホール

■INTRODUCTION

10年で大きく変わる世界

たかが10年、されど10年。この10年でも、わたしたちの生活や価値観は大きく変わりました。
次の10年は、どのような変化をもたらすのでしょうか。

10年という時間軸の変化のパワーを感じられる個々のヒントが散りばめられたゾーン。



【エリアに展示予定のモビリティや展示内容】



株式会社アイシン
Multimodal
対話AIエージェント "Saya"



株式会社アイシン
P≠Bo (ピーボ)



TechShare株式会社
VISIONOID株式会社
Unitree G1
ヒューマノイドロボット



Unitree B2
小型4足歩行ロボット



富士通株式会社
超伝導量子コンピュータ



三菱自動車工業株式会社
ミーブ・
エボリューション・スリー

Coming soon

Lexus International
ReViSE Cockpit

■FUTURE WORLD LAND・SKY・SEA

10年後の空と海

モビリティは、陸、海、空。それぞれを舞台に活躍の幅を大きく広げ人々の活動領域を飛躍的に拡大します。

10年後には日常になっているであろう空の道や航路をリアルに感じていただく。また、（通信や衛星）モビリティによりつながる陸、海、空を感じられる空間。



【エリアに展示予定のモビリティや展示内容】



株式会社SkyDrive
スズキ株式会社
SKYDRIVE
(SkyDrive式SD-05型)

予約体験



株式会社Blossom Energy
Blossom Energy G-TES



トヨタ自動車株式会社
マザーシッププロジェクト



本田技研工業株式会社
UMIAILE ASV
(プロトタイプ)



カワサキモーターズ株式会社
JET SKI ULTRA
160LX-S ANGLER



ソフトバンク株式会社
空飛ぶ基地局
Sceyeの模型展示
(LTA型HAPS)

■NEDO（後援団体）水素展示

10年後の水素エネルギー社会

使用時にCO₂を排出しない、環境にやさしい水素の可能性について、未来でのエネルギーマネジメントへの変化に希望をいただいでいただく。

ロスを最小に抑えながら、長期間かつ、大容量を貯蔵することが可能なこと。陸、海、空と様々な航路を通して、長距離での運搬も可能にしていること。前半のブースでは、水素を「作る」「貯める」「運ぶ」の3ステップについて重点的に理解を促す。その先のゾーンでは、実際に生活で使われ、様々な広がる水素による未来へのチャンスを実物展示を通して感じていただく。

「水素チャンス！」のサインを探しながら、会場内を回ってみてください。



< NEDOブース協力企業 >



【エリアに展示予定のモビリティや展示内容】



川崎重工
すいそ ふろんていあ



商船三井
WIND HUNTER
（ウインドハンター）
グリーン水素生産・供給船



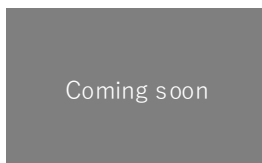
本田技研工業
定置電源モックアップ



JR東日本
水素ハイブリッド電車
「HYBARI」模型



いすゞ自動車株式会社
エルガFCV



トヨタ紡織株式会社
水素自転車



トヨタ自動車株式会社
H2LoylyLabo
-Future Sauna Mobility-

■FUTURE CITY LIFE

10年後の道や街

人と道、モビリティと道の関係は、どう変わっていくのでしょうか？ぜひ未来の道で、実感してください。

モビリティが進化することで、合わせて変化していくであろう、10年後の道や街の変化と生活シーンを疑似体験できるシミュレーション空間。



【エリアに展示予定のモビリティや展示内容】

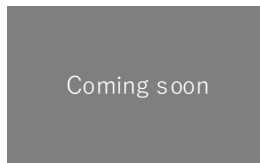


株式会社ロボットライド
ロボットファイト

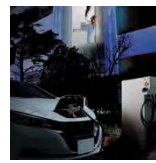
予約体験



Applied Electric
Vehicles Ltd
スズキ株式会社
BlancRobot



トヨタ自動車株式会社
ex-Trailer



株式会社 日立製作所
V2Xシステム



いすゞ自動車株式会社
エルガ FCV



日野自動車株式会社
日野デュトロ Z EV
モバイルオフィス



株式会社TSUNAGI
× 徳島大学
D-2



日産自動車株式会社
日産サクラ「Ao-Solar Extender」
(あおぞら エクステンダー)



マツダ株式会社
MAZDA CX-30 セルフエン
パワーメントドライビング
ビークル (SeDV)

10月29日公開予定
※アプリでご確認

ミズノ株式会社
ミライのフットギア

予約体験



ヤマハ発動機株式会社
VR TRAIL シミュレーター

Coming soon

豊田合成株式会社
ペロプスカイト太陽電池
応用製品
「スマートウェア」

Coming soon

豊田合成株式会社
次世代インフラ
「スマートボール」用の
デジタルサイネージ



トヨタ自動車株式会社
Swake

予約体験 @Future Road

Coming soon

トヨタ紡織株式会社
水素自転車



本田技研工業株式会社
UNI-ONE (ユニワン)

予約体験 @Future Road



本田技研工業株式会社
Motocompacto
(モトコンパクト)

予約体験 @Future Road



株式会社ストリーモ
ストリーモ S01JTA

予約体験 @Future Road



スズキ株式会社
SUZU-RIDE2

予約体験 @Future Road



ダイハツ工業株式会社
e-SNEAKER

予約体験 @Future Road

Coming soon

株式会社SUBARU
e-Rabbit concept



KDDI株式会社
AIドローン
× 地域防災コンビニ



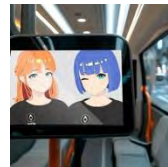
KDDI株式会社
自動運転モビリティ
× 遠隔監視システム



株式会社村田製作所
Future mobility社会への
ムラタのテクノロジー



株式会社村田製作所
ふしぎな石ころ"echorb"



AVITA株式会社
自動運転EVバス×
アバターバスガイド



AVITA株式会社
AVACOM (アバコム)



Future株式会社
FUTURE SMART MINI

予約体験 @Future Road



Future株式会社
Future smart

予約体験 @Future Road



Future株式会社
GOGO! R カargo

予約体験 @Future Road



Future株式会社
Future mobility
hydrogen



Future株式会社
Future mobility
Business コンセプト



Future株式会社
Future mobility
コンセプト



Future株式会社
Future board 2



Quantum Mesh株式会社
カムイ



LIFEHUB株式会社
AVEST

■FUTURE OUT-DOOR LIFE

10年後の自然との共生

モビリティは、街だけでなく、自然との関わり方も変えていく可能性があります。

自然の奥へと進むことを可能にするモビリティや、オフグリッド環境だからこそ活躍するモビリティや機能、自然の中で自立型で活躍するモビリティなど、未来の自然空間での過ごし方を感じていただく。



【エリアに展示予定のモビリティや展示内容】



Carstay株式会社
EVキャンピングカー
「moonn.」



株式会社竹中工務店
GREEN×EXPO2027
キャラバントレーラー



株式会社竹中工務店
オフグリッド型
モバイルハウス



株式会社竹中工務店
2025大阪・関西万博協賛
オフグリッド型トレーラー



三菱ふそう
トラック・バス株式会社
ノマド
(NOMADPro CANTER)



ヤマハ発動機株式会社
DIAPASON



トヨタ自動車株式会社
H2LoylyLabo
-Future Sauna Mobility-



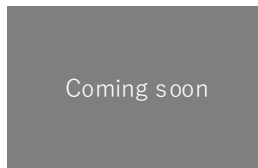
国立大学法人山形大学
3Dフードプリンター



本田技研工業株式会社
Grass Miimo HRM4000 Live
(グラスミーモ)



合同会社ルームコネクト
オックス
ROBOTRUCK0x



NTTドコモビジネス
株式会社
StarLink Mobility Hub



COLDRAW株式会社
COLDRAW

■FUTURE DESIGN FACTORY

10年後のものづくり

モビリティそのものの、作り方やデザインもアイデア次第で可能性が広がっています。もっと自由に、もっと多様なモビリティが生まれ出せる。そんな未来を体験してください。

モビリティのプラットフォーム化により、より自由度が増すモビリティのデザインや、サーキュラーエコノミーによる新しい製造工程や、想像したものを実現できる技術の進化など、アイデアや選択次第で、様々な未来を描くことができることを感じ取っていただきます。



【エリアに展示予定のモビリティや展示内容】



株式会社ICOMA
電動折りたたみバイク
『ICOMAタタメルバイク』

予約体験



株式会社ICOMA
日本科学未来館
『AIスーツケース』



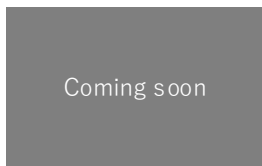
株式会社ICOMA
株式会社 椿本チエイン
『Full電動e-cargo』



株式会社ICOMA
ロボティクスモビリティ
『ICOMA tatamo!』



株式会社ICOMA
『KAYACAR』



ヤマハ発動機株式会社
モトレーターユー

予約体験



ヤマハ発動機株式会社
Y/AI (ワイエーアイ)



本田技研工業株式会社
ホンダコライドン

予約体験



トヨタ自動車株式会社
トヨタミライドン

予約体験



トヨタ自動車株式会社
AIバスケットボール
ロボット"CUET6"



トヨタ自動車株式会社
ガイドモビ



BlueRebirth協議会
(株式会社デンソー・リバー株式会社・
株式会社マテック・住友化学株式会社・
DIC株式会社)
クルマ Rebirth ファクトリー
「BlueRebirth」



株式会社roidztech
Raptor

予約体験

■ 参加企業ロゴ一覧 (2025年10月24日現在)

後援



特別協力



■参加企業一覧（2025年10月24日現在183社）

企業・団体名（日本語表記）	Exhibitor
愛三工業(株)	Aisan Industry Co., Ltd.
(株) I J T T	IJTT Co., Ltd.
(株)アイシン	AISIN Corporation
愛知製鋼(株)	Aichi Steel Corporation
AVITA(株)	AVITA, Inc.
N T Tビジネスソリューションズ(株)	NTT Business Solutions Corporation
(株)アライヘルメット	ARAI HELMET, LTD
(株)ICOMA	ICOMA inc.
いすゞA&S(株)	Isuzu A&S Co., Ltd.
いすゞエンジニアリング(株)	ISUZU ENGINEERING CO.,LTD.
いすゞエンジン製造北海道(株)	ISUZU Engine Manufacturing Hokkaido Co., LTD.
いすゞ自動車(株)	ISUZU MOTORS LIMITED
(株)いすゞ中央研究所	ISUZU ADVANCED ENGINEERING CENTER,LTD.
(株)いすゞテクノ	ISUZU TECHNO. CO.,LTD.
(株)いすゞユーマックス	Isuzu Umax Co., Ltd.
いすゞロジスティクス(株)	ISUZU LOGISTICS Co.
Quantum Mesh(株)	Quantum Mesh Co., Ltd.
(株)UMIAILE	UMIAILE Co., Ltd.
A G C (株)	AGC inc.
NTT(株)	NTT, Inc.
NTTドコモビジネス(株)（旧NTTコミュニケーションズ）	NTT DOCOMO BUSINESS, Inc.
日本カーソリューションズ(株)	NIPPON CAR SOLUTIONS CO., LTD.
(株)エフ・シー・シー	F.C.C.CO.,LTD.
(株)大林組	OBAYASHI CORPRATION
沖縄ホンダ(株)	Okinawa Honda Co., Ltd.
Carstay(株)	Carstay, Inc.
カミンズジャパン(株)	Cummins Japan, Ltd.
カヤバ(株)	KYB Corporation
川崎汽船(株)	Kawasaki Kisen Kaisha, Ltd.
川崎重工業(株)	Kawasaki Heavy Industries, Ltd.
カワサキモーターズ(株)	Kawasaki Motors, Ltd.
(株)関電工	KANDENKO CO., LTD.
共和レザー(株)	KYOWA LEATHER CLOTH CO., LTD.
倉敷化工(株)	KURASHIKI KAKO CO.,LTD.

企業・団体名（日本語表記）	Exhibitor
KDDI(株)	KDDI CORPORATION
(株)神戸製鋼所	Kobe Steel, Ltd
COLDRAW(株)	COLDRAW Inc.
国立大学法人山形大学	National University Corporation Yamagata University
(株)Mizkan Holdings	Mizkan Holdings Co.,Ltd.
日本ハム(株)	NH Foods Ltd.
積水化成品工業(株)	Sekisui Kasei Co., Ltd.
小島プレス工業(株)	KOJIMA INDUSTRIES CORPORATION
(株)GSユアサ	GS Yuasa International Ltd
(株)ジーテクト	G-TEKT CORPORATION
ジェイ・バス(株)	J-BUS Ltd.
(株)ジェイテクト	JTEKT CORPORATION
(株)シグマクシス	SIGMAXYZ Inc.
(株)商船三井	Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.
新電元工業(株)	Shindengen Electric Manufacturing Co., Ltd.
スズキ(株)	SUZUKI MOTOR CORPORATION
(株)SkyDrive	SkyDrive Inc.
(株)ストリーモ	Striemo, Inc.
(株)SUBARU	SUBARU CORPORATION
住友電気工業(株)	Sumitomo Electric Industries, Ltd.
住友三井オートサービス(株)	Sumitomo Mitsui Auto Service Company, Limited
(株)仙台放送	SENDAI TEREVISION, INC
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	Aioi Nissay Dowa Insurance Co., Ltd.
全日本空輸(株)	All Nippon Airways
ソフトバンク(株)	SoftBank Corp.
損害保険ジャパン(株)	Sompo Japan Insurance Inc.
ダイハツ九州(株)	DAIHATSU MOTOR KYUSHU CO., LTD.
ダイハツ工業(株)	DAIHATSU MOTOR CO., LTD.
ダイムラー・トラック・ファイナンシャルサービス・アジア(株)	Daimler Truck Financial Services Asia Co., Ltd
(株)竹中工務店	TAKENAKA CORPORATION
(株)オフグリッドフィールド	OFFGRID FIELD Co.,Ltd.
(株)クロコアートファクトリー	CROCOARTFACTORY Co.,Ltd.

企業・団体名（日本語表記）	Exhibitor
(株)日立ハイテク	Hitachi High-Tech Corporation
加賀電子(株)	KAGA ELECTRONICS CO.,LTD.
(株)新和電工	SHINWADENKO Co.,Ltd.
豊通マテックス(株)	Toyota Tsusho Matex Corporation
(株)アーキンド	Archind, Inc.
TECHHUBYOKOHAMA	TECH HUB YOKOHAMA
(株)TSUNAGI	TSUNAGI Co., Ltd.×Tokushima University
国立大学法人徳島大学	Tokushima University
テイ・エステック(株)	TS TECH Co.,Ltd.
TPR(株)	TPR Co., Ltd.
TechShare(株)	TechShare Inc.
VISIONOID(株)	VISIONOID Inc.
デロイト トーマツ合同会社	Deloitte Tohmatsu LLC
(株)デンソーテン	DENSO TEN Limited
東京海上日動火災保険(株)	Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.
トピー工業(株)	Topy Industries, Ltd.
トヨタ・コニック・プロ(株)	TOYOTA CONIQ Pro, Inc.
(株)トヨタエンタプライズ	Toyota Enterprise Inc
(株)トヨタオートモールクリエイト	TOYOTA AUTOMALL DEVELOPMENT CORPORATION
豊田合成(株)	Toyoda Gosei Co., Ltd.
トヨタ自動車(株)	TOYOTA MOTOR CORPORATION
TOPPAN(株)	TOPPAN Inc.
マルサンアイ(株)	MARUSAN-AI CO., LTD.
Harvia Plc	Harvia Plc
セントラル・フィンランド・モビリティ財団	Central Finland Mobility Foundation
ユバスキュラ市	Jyväskylä City
TOYOTA GAZOO Racing World Rally Team	TOYOTA GAZOO Racing World Rally Team
TTNE inc.	TTNE inc.
(株)豊田自動織機	TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION
豊田通商(株)	TOYOTA TSUSHO CORPORATION
トヨタバッテリー(株)	TOYOTA BATTERY Co., Ltd.
トヨタ不動産(株)	Toyota Fudosan Co., Ltd.
トヨタ紡織(株)	TOYOTA BOSHOKU CORPORATION

企業・団体名（日本語表記）	Exhibitor
トヨタモビリティサービス(株)	Toyota Mobility Service
トヨタモビリティ東京(株)	Toyota Mobility Tokyo
トヨタモビリティパーツ(株)	TOYOTA Mobility Parts CORPORATION
(株)トヨタユーゼック	TOYOTA USEC
(株)トランストロン	TRANSTRON Inc.
(株)なかがわ	nakagawa Co., Ltd.
日栄インテック(株)	NICHIEI INTEC CO., LTD,
ニチコン(株)	NICHICON CORPORATION
日産自動車(株)	Nissan Motor Co., Ltd.
日本精工(株)	NSK Ltd.
日本発条(株)	NHK SPRING CO.,LTD
日本郵船(株)	NYK Line
日本AMD(株)	AMD Japan, Ltd.
日本板硝子(株)	NIPPON SHEET GLASS CO., LTD.
日本航空(株)	Japan Airlines Co., Ltd.
野村証券(株)	Nomura Securities Co.,Ltd.
(株)パブコ	PABCO
バンドー化学(株)	Bando Chemical Industries, Ltd.
阪和興業株式会社	Hanwa Co., Ltd.,
PwCコンサルティング合同会社	PwC Consulting LLC
東日本旅客鉄道(株)	
(株)日立製作所	Hitachi, Ltd.
日野自動車(株)	HINO MOTORS, LTD.
富士通(株)	FUJITSU LIMITED
富士スピードウェイ(株)	Fuji International Speedway Co.,Ltd.
富士モータースポーツフォレスト(株)	FUJI MOTOR SPORTS FOREST
Future(株)	Future,Inc.
(株)ブリヂストン	Bridgestone Corporation
BlueRebirth協議会	BlueRebirth
(株)デンソー	DENSO CORPORATION
DIC(株)	DIC Corporation
(株)マテック	MATEC Inc.
リバー(株)	REVER CORPORATION
住友化学(株)	SUMITOMO CHEMICAL COMPANY, LIMITED
(株)Blossom Energy	Blossom Energy Inc.

企業・団体名（日本語表記）	Exhibitor
(株)ベikalレント	Baycurrent, Inc.
ホンダオートボディー(株)	Honda Auto Body Co.,Ltd.
ホンダ開発(株)	Honda Kaihatsu Co.,Ltd.
本田技研工業(株)	Honda Motor Co., Ltd.
(株)ホンダセールスオペレーションジャパン	Honda Sales Operations Japan Co., Ltd.
(株)ホンダトレーディング	Honda Trading Corporation
(株)ホンダパワープロダクツジャパン	Honda Power products Japan Co., Ltd.
(株)ホンダファイナンス	Honda Finance Co., Ltd.
(株)ホンダモーターサイクルジャパン	Honda Motorcycle Japan Co., Ltd.
(株)ホンダモビリティ北関東	Honda Mobility Kitakanto Co., Ltd.
(株)ホンダモビリティ九州	Kabusikaisya Hondamobirithikyusyu
(株)ホンダモビリティ近畿	Honda Mobility Kinki Co., Ltd.
(株)ホンダモビリティ中四国	HONDA MOBILITY CHUSHIKOKU CO., LTD.
(株)ホンダモビリティ中部	Honda Mobility Chubu Co., Ltd.
(株)ホンダモビリティ東北	Honda Mobility Tohoku Co.,Ltd.
(株)ホンダモビリティ北海道	Honda Mobility Hokkaido Co., Ltd.
(株)ホンダモビリティ南関東	Honda Mobility MINAMIKANTO
マツダ(株)	Mazda Motor Corporation
ミズノ(株)	MIZUNO CORPORATION
(株)みずほ銀行	Mizuho Bank, Ltd.
三井住友海上火災保険(株)	Mitsui Sumitomo Insurance Company, Limited
(株)三井住友銀行	Sumitomo Mitsui Banking Corporation
三菱HCキャピタル(株)	Mitsubishi HC Capital Inc.
三菱自動車工業(株)	MITSUBISHI MOTORS CORPORATION
三菱ふそうトラック・バス(株)	Mitsubishi Fuso Truck and Bus Corporation
(株)三菱UFJ銀行	MUFG Bank, Ltd.
(株)村田製作所	Murata Manufacturing Co., Ltd.
(株)明電舎	MEIDENSHA CORPORATION
モビリティリゾートもてぎ	Mobility Resort MOTEGI
鈴鹿サーキット	Suzuka Circuit
矢崎総業(株)	YAZAKI Corporation
ヤマハ発動機(株)	Yamaha Motor Co., Ltd
Prototype Inc.	PROTOTYPE Inc.
UDトラックス(株)	UD Trucks Corporation
横河電機(株)	Yokogawa Electric Corporation

企業・団体名（日本語表記）	Exhibitor
LIFEHUB(株)	LIFEHUB Inc.
合同会社ルームコネクトオックス	LOOM.0x
Lexus International	Toyota Motor Corporation (Lexus International)
(株)roidztech	roidztech Inc.
(株)RDS	RDS Co., Ltd.
千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター（fuRo）	Future Robotics Technology Center
(株)ロボットライド	Robot Ride, Inc.
Applied Electric Vehicles Ltd	Applied Electric Vehicles Ltd
Qualcomm Technologies, Inc.	Qualcomm Technologies, Inc.
Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited(TSMC)	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited
Motherson Group	Motherson Group
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	New Energy and Industrial Technology Development
LED TOKYO(株)	LED TOKYO co. Co., Ltd.
(株)ナガセ（東進ハイスクール/東進衛星予備校）	Nagase Brothers Inc.(Toshin High School/Toshin Satellite Preparatory School)

3) Mobility Culture Program

1) 東7ホール

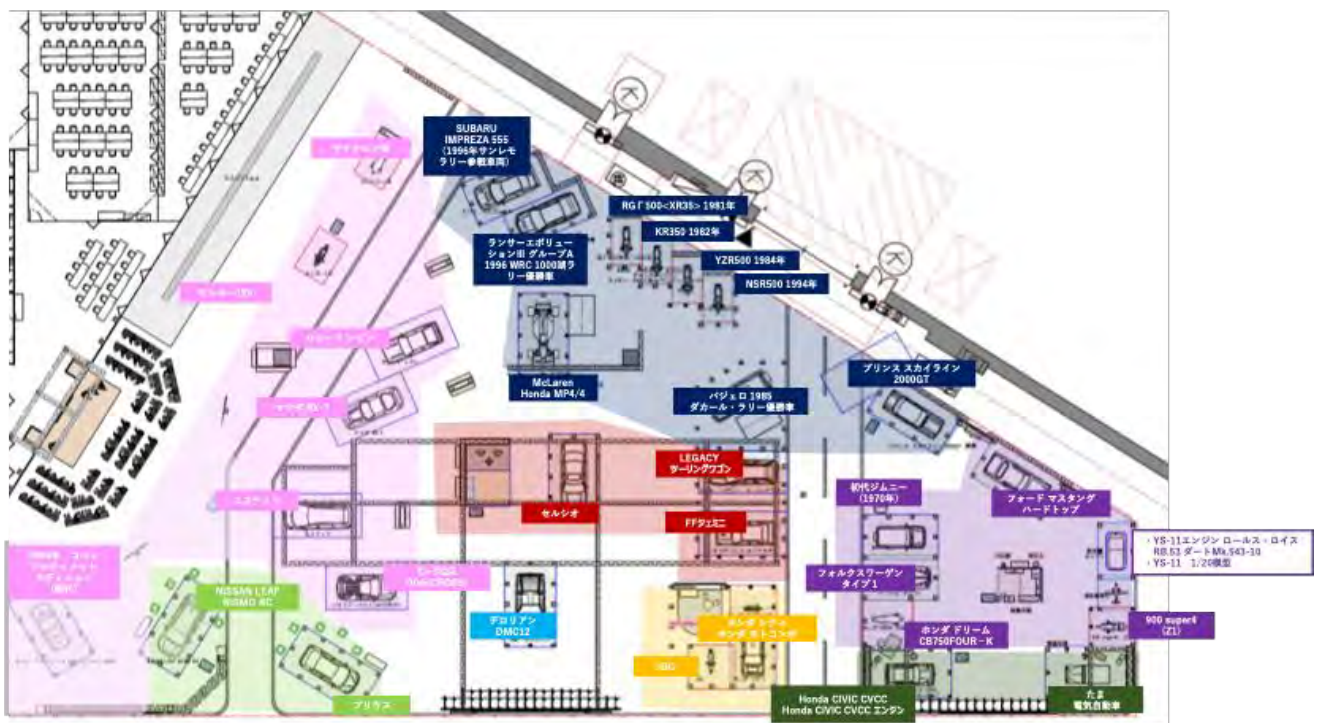
■【展示企画】Mobility Culture～タイムスリップ・ガレージ～

懐かしさが胸を打ち、憧れが再び動き出すー。

戦後から現代までの名車たちが、当時のカルチャーとともに蘇ります。街の風景、音楽、ファッション…それぞれの時代が息づく空間で、クルマと人が織りなしてきた豊かな記憶と感動をガレージに集めました。“時代を旅する”ガレージを是非世代を超えてお楽しみください。

展示エリアは3つの年代でレイアウトしたモビリティをテーマごとにゾーンを区切り展示しています。

■会場レイアウト



【展示テーマ設定】

- : 技術への挑戦
- : 経済と日本車の黄金期
- : ライフスタイルとつながるモビリティ
- : 80's POP
- : 速さへのあこがれ
- : 多様なライフスタイルをもたらすモビリティ
- : デジタル時代のモビリティ
- : 特別展示

■ 展示テーマと展示車両①

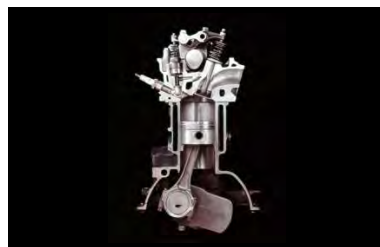
1 技術への挑戦



たま 電気自動車
日産自動車株式会社
[1970年代以前]



Honda CIVIC CVCC
本田技研工業株式会社
[1970年代以前]



Honda CIVIC CVCC エンジン
本田技研工業株式会社
[1970年代以前]

2 ライフスタイルとつながるモビリティ



初代ジムニー (1970年)
スズキ株式会社
[1970年代以前]



900 super4 (Z1)
カワサキモーターズ株式会社
[1970年代以前]



ホンダ ドリーム CB750FOUR-K
本田技研工業株式会社
[1970年代以前]



フォルクスワーゲン タイプ1
提供：トヨタ博物館
[1970年代以前]



フォード マスタング ハードトップ
提供：トヨタ博物館
[1970年代以前]



YS-11エンジン ロールス・ロイス
RB.53 ダート Mk.543-10
所蔵：所沢航空発祥記念館
[1970年代以前]



YS-11 1/20模型
所蔵：所沢航空発祥記念館
[1970年代以前]

■ 展示テーマと展示車両②

3 速さへのあこがれ



プリンス スカイライン 2000GT
日産自動車株式会社
[1970年代以前]



ランサーエボリューションIII グループA
1996 WRC 1000湖ラリー優勝車
三菱自動車工業株式会社
[1980・90年代]



SUBARU IMPREZA 555
(1996年サンレモラリー参戦車両)
株式会社SUBARU
[1980・90年代]



パジェロ 1985 ダカール・ラリー優勝車
三菱自動車工業株式会社
[1980・90年代]



McLaren Honda MP4/4
本田技研工業株式会社
[1980・90年代]



RG 500<XR35> (1981年)
スズキ株式会社
[1980・90年代]



KR350 (1982年)
カワサキモーターズ株式会社
[1980・90年代]



YZR500 (1984年)
ヤマハ発動機株式会社
[1980・90年代]



NSR500 (1994年)
本田技研工業株式会社
[1980・90年代]

4 経済と日本車の黄金期



セルシオ
トヨタ自動車株式会社
[1980・90年代]



LEGACY ツーリングワゴン
株式会社SUBARU
[1980・90年代]



FFジェミニ
いすゞ自動車株式会社
[1980・90年代]

■ 展示テーマと展示車両③

5 80's POP



ホンダ シティ
本田技研工業株式会社
[1980・90年代]



ホンダ モトコンボ
本田技研工業株式会社
[1980・90年代]



JOG
ヤマハ発動機株式会社
[1980・90年代]

6 多様なライフスタイルをもたらすモビリティ



エスティマ
トヨタ自動車株式会社
[1980・90年代]



カローラ レビン
トヨタ自動車株式会社
[1980・90年代]



マツダ RX-7
マツダ株式会社
[1980・90年代]



ビークロス(VehiCROSS)
いすゞ自動車株式会社
[1980・90年代]



モンキー125
本田技研工業株式会社
[2000年代]



サイクロン号
©石森プロ・東映/2023「シン・仮面ライダー」製作委員会
[2000年代]



2006年 コペン アルティメット
エディション (初代)
ダイハツ工業株式会社
[2000年代]

■ 展示テーマと展示車両④

7 デジタル時代のモビリティ



プリウス
トヨタ自動車株式会社
[1980・90年代]



NISSAN LEAF NISMO RC
日産自動車株式会社
[2000年代以降]

8 特別展示



デロリアン DMC12
提供：トヨタ博物館
[1980・1990年代]

【Mobility Culture Program展示スペース協賛】
アラムコ・アジア・ジャパン(株)
「Aramco Innovation Zone with STEM Racing Japan」

■ Mobility Culture : ステージプログラム

合同展示エリア奥の「Mobility Culture Stage」では、自動車やバイクといったモビリティがもたらす、奥深いカルチャーにスポットを当てます。単なる移動手段としての機能を超え、趣味、ファッション、旅など様々な分野に広がり、人々のライフスタイルを豊かにするモビリティの魅力を徹底的にステージで語ります。

連日、幅広い分野のゲストが登場。様々なライフスタイルを共有します。モビリティファンはもちろん、多様な趣味を持つ方が新しい「ワクワク」と出会える、特別なトークステージです。

日付	時間	イベントタイトル	概要
11月1日	10:30～ 11:30	「モリゾウ モータースポーツを語る」 日本自動車会議所モータースポーツ委員会 ～JMS特別編～	豊田章男新会長が掲げた「クルマをニッポンの文化に！」の合言葉のもと、モーターレースを主催・統括する各団体による「モータースポーツ委員会」が始動しました。本イベントでは公開で委員会を開催、所属メンバーが、モータースポーツの魅力や、共通で抱える課題について語り合います。
11月2日	12:00～ 13:00	モビリティ文化会議	「モビリティカルチャー」を根幹から考える座談会。今回はクルマに焦点を当て、単なる移動手段に留めず文化として捉える意味や、「文化・時代の象徴」としてクルマを残していく意義を、専門家が自動車文化の成り立ちや世界的な潮流を交えながら議論します。
11月3日	11:00～ 12:00	「『ゆるキャン△』×もびキャン△」	アニメ「ゆるキャン△」とJMSの特別ステージ企画！ 「ゆるキャン△」の声優陣が登場し、作品の魅力や、アニメの世界とモビリティ、アウトドアについて語ります。 作品の世界観に触れながら、「キャンプ×モビリティ」の楽しさや魅力を、ぜひ会場でお楽しみください！ ※観覧に際しては公式アプリより当日申込み(詳細は後日JMSサイトに掲載します)
11月3日	14:00～ 15:00	愛車愛座談会	「時間を超えて、心に生き続ける愛車」 長年愛車と歩んできたオーナーと、愛車のレストアプロジェクトリーダーが語る、出会い、別れ、再生の物語。クルマと共に過ごした日々の記憶が、人生を豊かに彩る“愛車愛”をお届けします。
11月5日	12:00～ 13:00	CUP Car Racers Talk	ワンメイクレースの各カテゴリ代表者とモータージャーナリスト清水和夫氏による特別座談会を開催。車種やレギュレーションの違い、参加ハードル、競技の魅力、そして今後の展望をテーマに、モータースポーツの“入口と深化”を語り合う。観る・走る双方の視点から、ワンメイクの奥深さと文化的価値を探るトークセッションです。
11月6日	13:00～ 14:00	フェアレディZの歴史と進化/ 歴代フェアレディZオーナーが語るZの魅力	前半は、世界中で愛されてきたスポーツカー フェアレディZ。7代目となる現行型(RZ34型)の開発の中枢を担うチーフ・ビークル・エンジニアの江田博文が最新モデルのデザイン、パフォーマンス、そして走る歓びを追求した進化について開発の現場におけるエンジニア達の苦労や想いを交えながら紹介します。後半からは歴代Zの現役オーナーも参加、メーカーとオーナーの垣根を超えたトークセッションを実施します。
11月7日	12:00～ 13:00	GIRLS CAR COLLECTION クルマ女子座談会 ～Torque Queens～	「ガールズカーコレクション」参加者によるトークセッションを開催。愛車を選んだきっかけやこだわりポイント、女性ならではのカーライフの楽しみ方、そして「いつかは乗りたい憧れの一台」まで、リアルな声で語り合います。 モビリティショーを通じて広がる“クルマ女子”の世界観と、多様なモビリティの魅力を感じられるひとときです。
11月7日	14:00～ 15:00	Girls × Cars × Camera	クルマと人の魅力を引き出す撮影術を、プロカメラマンから学ぶ特別講習会。愛車と人を美しく切り取るテクニックを紹介。カメラとモビリティが交差する、新しい表現の場を来場者に届けます。

日付	時間	イベントタイトル	概要
11月8日	10:30～ 11:15 14:00～ 14:45	メグロの聖地 那須烏山	かつて目黒製作所の工場があった栃木県那須烏山市は、「メグロの聖地」として知られるようになりました。毎年秋に行われる「メグロ・キャンボール那須烏山」は、全国各地から多くのライダーが集います。今回は50台以上の新旧メグロが屋外コミュニティゾーンに集結します。屋内ステージでは市商工会のメンバーが取り組んだ1949年製のメグロ初期モデル「Z型」のレストア事業や、市における「メグロ事業」の取組み等について発表します。
11月8日	12:30～ 13:30	国内バイク4メーカーコラボ！ 鈴鹿8耐トークショー with レジェンド& 現役ライダー	猛暑の下で感動の戦いを展開した「第46回鈴鹿8時間耐久ロードレース」で活躍した国内4メーカーのライダー、80年代からの「鈴鹿8耐」を知るレジェンドライダーが“モビカル”ステージへ。世界も注目し続ける耐久レースの魅力をリアルにトーク！
11月8日	16:00～ 17:00	国内バイク4メーカーコラボ！ “モビカル”ライフトーク with YU.SR500/ 愛車のある暮らし	YouTube「YU.SR500/愛車のある暮らし」やインスタグラムを通じて、バイクやクルマと過ごす自然体で素敵なライフスタイルを発信、旧車愛も深い人気インフルエンサーYUさんが、“モビリティカルチャー”をテーマにトーク。
11月9日	12:30～ 13:30	モビリティギアクrostーク	ヘルメットとライディングギアというライダーの安全を守る二大装備。「安全性」をキーワードにそれぞれのブランド思想から、命を守るための装備の重要性、最適な使用方法を紐解く

2) 東8ホール

■Camping Car Area by JRVA

一般社団法人日本RV協会（JRVA）と新たにコラボレーションした「Japan Mobility Show 2025 Camping Car Area by JRVA」にて、GO RVingをテーマにクルマでの旅の楽しさを体感出来るキャンピングカーエリアを東展示棟8ホールに設置。

同エリアには最大40台のキャンピングカーが展示される。



日本に、
キャンピングカー
という
カルチャーを。

**キャンピングカー
ゾーン**

Japan Mobility Show 2025

**東8^{ホール}
にて開催!**

JRVA
一般社団法人日本RV協会

出展表示名	出展車両
株式会社ナッツ	BODER BANKS HYPER EvolutionIII Type-TL/ BODER BANKS HYPER EvolutionIII Type-T/ CREA HYPER EvolutionIII 5.3 Type-X/ CREA HYPER EvolutionIII 5.3 Type-W/ Jeepney Type-X/ Aletta HYPER EvolutionIII Type-RE/ JolyBee Grande Type-W/ ZEGNIA Type-TL/ FORTUNA Type-M/ C-BUS Type-L EVO
VANTECH株式会社	ZiL/GX4
株式会社ホワイトハウス	Cargo Clips B-Type/ FREED CROSSTAR STYLE_iD/ JIMNY NOMADE POP UP ROOF
フレックス株式会社	WoodRim/MOBY DICK ORCA/ MOBY DICK BELUGA/ MOBY DICK NH#01/ Renoca 106
株式会社ダイレクトカーズ	トリップブラックエディション
株式会社東和モーターズ販売	Globebus I-6
株式会社岡モーターズ	グランボックスL3
有限会社加藤モーター	PABLO
有限会社L.T.キャンパーズ	REGARD Neo+
株式会社レクビィ	SOLAN
トヨタ・コニック・プロ株式会社	LAND CRUSER PRADO NEWSCAPE
株式会社バンテック新潟	MR ヴォクシー クールパッケージ
株式会社RVトラスト	TR550L.Bolero-V.MAX
株式会社トイファクトリー	DA VINCI 6.0 〈STAR WARS〉 EDITION/ WEINSBERG
株式会社グランドモーター	D-CAMPER
株式会社KRC	ALLEGRO VIGOR
有限会社カーショップアシスト	ぶちキャン
有限会社ミスティックプランニング	デシエルト02
株式会社ルートシックス	シーク e:
LEGANCE	Camper Style 2 Mobility Special
AROUND JAPAN RV Rental	クレソンジャーニー・エボライト

2) イーストプロムナード石と光の広場

■日替わり展示

10月31日(金)～11月9日(日)まで、イーストプロムナード石と光の広場にスーパーカーや働くくるまの展示を実施。軽トラ市や痛車などが大集合し、多岐にわたるジャンルの車両展示をお楽しみいただけます。

■イベント一覧

日付	終了	イベントタイトル	概要
10月31日	11月1日	TOKYO SUPERCAR DAY 2025 in Japan Mobility Show <Special Exhibition>	世界各国のスーパーカー&スーパースポーツカーをビッグサイト正面広場に展示。フェラーリ、ランボルギーニや国産スーパースポーツ、クラシックスーパーカーなど大集合！。11/1(土)は、スーパーカー解説とウォーキングモデルが共演する「スーパーカー・ランウェイ」も開催します。
11月2日	11月3日	働くくるま 大集合！	「働くくるま 大集合！」では、災害等にいち早く対応し、人々の生活の安全を日々支えている車両の展示を行います。お子様に人気の警察や消防、自衛隊の車両等、普段近くで目にすることや触れる機会が少ない「働くくるま」を身近に感じていただけるイベントです。今年、シンボルプロムナード公園イーストプロムナード石と光の広場に加え、花の広場でも展開します。
11月4日		痛車天国 Special meeting with Japan Mobility Show 2025	”好きなクルマ”に”愛するキャラクター”を乗せ、「自分だけの愛車」を作り上げるのがクールジャパンカルチャーの痛車。 11月4日(火)の国際展示場駅から東京ビッグサイトへ向かうイーストプロムナードでは約50台の至極の痛車たちがJapan Mobility Showの来場者を待ち受けます。世界に誇る痛車の世界をご覧ください！
11月5日		Nostalgic 1day with Japan Mobility Show	日本のモータリゼーションを象徴する名車、いつも家族の傍らにいたファミリーカー、海外でも人気の高い90年代バイクカーなど、日本の自動車産業が歩んできた道のりを感じさせるクラシックカーや80～90年代の”ヤングタイマー”が大集合！ ちょっと懐かしく、今見ると新鮮なクルマたちの魅力に触れ、オーナーさんたちとのコミュニケーションをお楽しみいただける特別な1日「ノスタルジック1デイ」です。
11月6日		モーニングクルーズ外伝 「MOBILITY CAMP STYLE MTG 2025」	あの代官山蔦屋書店のモーニングクルーズがジャパンモビリティショーにやってくる！車中泊のキャンプスタイルを楽しみながら、クルマと過ごす新しいライフスタイルを体験できます。オーナー同士がつながり交流できる特別な場でもあり、世代を超えて気軽に参加できる一日。モビリティとアウトドアの魅力を仲間と一緒に楽しみましょう！
11月7日		モーニングクルーズ外伝 「UNDER 40 CAR MEETING 2025」	あの代官山蔦屋書店のモーニングクルーズがジャパンモビリティショーにやってくる！UNDER 40世代のオーナーが愛車に乗って集い、クルマを通じてつながる特別な時間を体験できます。同世代ならではの交流が生まれる、新しいカーライフコミュニティの場です。

日付	終了	イベントタイトル	概要
11月8日		軽トラ市 in ジャパンモビリティショー2025	<p>「軽トラ市」は軽トラックの荷台に食料品や雑貨などを並べて販売する移動型マーケットで、商店街や地域の活性化に貢献する取り組みとして全国的な賑わいを見せています。北は岩手、南は宮崎まで、全国各地の軽トラ市が会場に集結！能登半島地震の復興応援として「輪島朝市」からの特別出店も予定しています。</p> <p>お子様も楽しめる体験エリアや愛知大学とのコラボ企画など、合計50台以上が出店します。</p> <p>入場無料となりますのでご家族皆様でお気軽にお越しください！</p>
11月9日		THE有明FUN JMS🍀 Meeting	<p>これまで自動車や自転車といった工業製品は人類の発展を支えてきました。ただの消費ではなく、そのモノの本質的価値と姿を保全し、後世に伝えることは文化であり、情熱を注ぐに値します。その楽しみを深め、記録に残すことは、感動を与える力になります。ぜひ数々のヒストリックカーの展示を楽しんで下さい。</p>

3) 東棟屋外臨時駐車場

■Performance Zone

JMS2025の屋外駐車場に出現する、熱狂と興奮のライブステージ「Performance Zone」。

ここでしか体験できない、モビリティとカルチャーが統合したダイナミックなパフォーマンスが目白押し！

前回ご好評をいただいたレーシングカーによるデモランや同乗走行イベントのほか、JMSならではの新たなプログラムを実施。

日付	時間	イベントタイトル	概要
10月31日 11:00~12:30/ 15:00~16:30		Gymkhana × Dirt Trial LIVE 2025	ジムカーナとダートトライアル。これらはそれぞれ「舗装」と「土の上」で決められたコースを走行してタイムを計測、速いタイムを出した選手が勝つ、という単純明快なルールのモータースポーツです。ルールは単純明快ですが、その選手たちの技術は一言で言えば、ジムカーナは「緻密」、ダートトライアルは「大胆」。この技を、ジャパンモビリティショーの舞台上でデモラン、同乗走行という形で皆さんに「体感」していただきます。
10月31日 13:30~14:30 11月1日 12:30~13:30 11月2日 13:00~14:00		Next generation Fuel Car ショーラン	未来のモビリティを支える多様な燃料技術を搭載した様々な車両が登場する「Next generation Fuel Car ショーラン」。EV(電気自動車)、水素(H2)、カーボンニュートラル燃料で走る次世代車が登場します。開発者による解説や、デモランも実施。環境と走りの楽しさを両立させた未来のモビリティを、ぜひ会場で体感してください
11月1日 11:30~12:00/ 14:00~14:15		RALLY PERFORMANCE RUN by JGR / JRCA	日本国内のラリー振興を目指す JGR (日本ラリー振興協会) および JRCA (JRCアソシエーション) による、ラリー車両のデモンストレーション走行を実施。全国各地で開催されるラリー競技の臨場感を再現し、車両性能・ドライビング技術・メカニックワークの一端を披露します。“観るラリー”から“感じるラリー”へ。地域と共に発展してきた日本のラリー文化の魅力を体感できるプログラムです。
11月1日 14:15~15:15		RALLY START UP	初めての人でも楽しめる「ラリー体験会」。JRCA (JRCアソシエーション) が監修し、来場者が実際のラリー形式 (スタート・SSスペシャルステージ・TCタイムコントロール・リグループ・フィニッシュなど) を簡易的に体験。「ラリーって面白そう」「自分にもできるかも」と感じてもらうことで、競技理解を深め、次世代ファンを育てる入門プログラムです。
11月1日 15:30~17:00 11月2日 10:30~12:00		重量級RALLY LIVE 2025	見た目だけでも大迫力なSUVやピックアップトラック、更には本来商用車であるトラック・ワゴン車の、普段見れない運動性能をJMSならではのコラボで展開。
11月2日 12:15~12:30		Thanks EJ20 Performance Run	長きにわたり、SUBARUのモータースポーツ活動を支えてきた名エンジン「SUBARU EJ20」が、11月1日、モビリティリゾートもてぎで行われるSUPER GT最終戦でラストランを迎えます。同日、Japan Mobility Show 2025の会場では56台の「EJ20」搭載車が集結。ファンの皆様に感謝の気持ちをこめて、「EJ20」を誰よりもよく知るラリードライバー新井敏弘が「EJ20」搭載のWRX STIラリーカーで迫力あるパフォーマンスを披露します。
11月2日 15:00~15:30		Honda F1™ FW11 Sound ～ Ignition Ceremony ～	Honda F1に初のコンストラクターズチャンピオンをもたらしたマシン「Williams Honda FW11」(1986年Hondaが現Atlassian Williams Racingにエンジンを供給する形でF1参戦していたマシン)のエンジン始動デモンストレーションを行います。「FW11」は、1,050馬力以上を誇ったHonda製1.5LV6ツインターボエンジン「RA166E」を搭載し、1986年に16戦中9勝を上げHonda F1として初めてコンストラクターズチャンピオンを獲得したマシンです。※14:00から準備状況もご覧いただけます。

日付	時間	イベントタイトル	概要
11月3日 10:00~17:00 11月4日 11:00~17:00		SUV悪路パフォーマンス	悪路走破性に自信を持つ国産SUVたちが、JMS2025に登場!「SUV悪路パフォーマンス」を開催します。トヨタ自動車、三菱自動車工業、スズキの車両による、急勾配や丸太越えといった難所をクリアする迫力の走行を披露。またスズキ「ジムニー ファンミーティング」も開催。クルマ本来の力強さを体感してください。
11月5日 11:00~17:00 11月6日 11:00~15:00		Formula Drift Japan エキサイティング エクスぺリエンス With Drift Ride	アメリカ、日本でドリフトの競技会を運営する、Formula Driftの日本シリーズであるFormula Drift Japanのトップカテゴリーの選手によるデモ走行を目の前で体感できます。車のかっこ良さと迫力を体感ください。また、ドリフトの同乗体験も体験いただけます。きっとあなたの五感を刺激します!新たな体験で自動車のすばらしさを体感ください。
11月6日 16:00~		All Fairlady Z Meeting @ JMS2025 ショーラン	コミュニティゾーンでの「Fairlady Z Owners club」ミーティングの参加車両がミーティングの締めくくりのパフォーマンスゾーンでのショーランを実施します。
11月7日 11:00~12:00		警視庁白バイ隊デモ走行	白バイによる訓練走行デモンストレーション。スラローム、急制動、隊列走行などをご覧ください。
11月7日 13:00~14:00		警視庁女性白バイ隊 クイーンズスターズによる「ドリル走行」	警視庁女性白バイ隊クイーンズスターズが、6台で息を合わせて白バイを操る「ドリル走行」を行います。全員が同じ動きでタイミングを揃えパイロンの間を走行し、時にはギリギリのところで互いにすれ違うなど、隊員間の信頼のもと繰り出される、スリルと迫力のある様々な演技をお見せします。アクセル、ブレーキのタイミング、車体の傾きまで揃った美しい白バイの走行をご覧ください。
11月7日 15:30~		GIRLS CAR COLLECTION × Japan Mobility Show 2025 ショーラン	コミュニティゾーンで行われる「GIRLS CAR COLLECTION」のファンミーティングの参加車両がミーティングの締めくくりのパフォーマンスゾーンでのショーランを実施します。
11月8日 11:00~12:00 14:30~15:30		バイク4メーカーコラボ! 鈴鹿8耐パフォーマンス	「鈴鹿8耐」の感動をモビショーで! 史上屈指の好バトルで盛り上がった「第46回鈴鹿8時間耐久ロードレース」で活躍した国内4メーカーのチーム、耐久マシンの、ライダーがパフォーマンスゾーンに集結。レジェンドライダーとともにトーク&パフォーマンスで、あの情熱と感動を再現!ピットウォークではライダーのサインセッションも。
11月8日 16:00~		メグロ・キャノンボール那須烏山 ショーラン	コミュニティゾーンで行われる「メグロ・キャノンボール那須烏山」のファンミーティングの参加車両がミーティングの締めくくりのパフォーマンスゾーンでのショーランを実施します。
11月9日 11:00~11:30 14:00~14:30		Honda x YAMAHA トライアルデモンストレーション	HondaとYamahaのトライアルライダーが夢の共演。互いがマシンを乗りこなし、息の合った掛け合いで魅せる妙技の数々。精緻なコントロールと研ぎ澄まされた感性が織りなすステージは、競い合いを超えた“共鳴”の時間。モータースポーツの奥深さと、職人たちの誇りが静かに伝わります。
11月9日 12:00~13:30 15:00~16:30		Gymkhana LIVE 2025	ジムカーナとは、広場やサーキットにパイロンを置いてコースを作り、1台ずつ走行してタイムを競うモータースポーツです。その頂点の全日本ジムカーナに参戦するドライバー120名以上による有志団体-全日本ジムカーナ選手会による、デモランや同乗走行をジャパンモビリティショーの舞台上で、皆さんに「体感」していただきます。

■Community Zone

“好き”が“共感”に変わる場所。

モビリティを愛する仲間たちと、同じ想いを語り合えるJMSだけの特別なファンミーティングを開催します。

日ごとにプログラムを入れ替え、オーナー同士の熱い交流やオーナーと来場者の新たな交流など様々なコミュニケーションを生み出していきます。

モビリティを通じて広がるつながりと、心震える時間を、ぜひ会場で体感してください。

■実施スケジュール

日程	主催団体	イベントタイトル	概要
11月1日	JRCA (全日本ラリー選手権協会) JGR (日本ラリー振興協会)	Japan Mobility Show 2025 ラリーミーティング	全国を舞台に戦う全日本ラリー選手権のチームと選手たちがJMSに集結。マシン展示やラリー体験、選手との交流を展開します。国内の最高峰シリーズ「全日本ラリー選手権」は、レギュレーションにより6クラスに分類され、さまざまなメーカーの多種多様な車が参戦しています。“ラリーの現場”をできる限り再現し、技術・情熱・地域文化が交わる日本のラリーの魅力を感じられる特別な空間です。
11月2日	株式会社SUBARU	SUBARU EJ20ミーティング	SUBARUが誇る水平対向エンジン「EJ20」。その鼓動に魅了され、共に走り続けてきたオーナーさまに向けた特別なファンミーティングを開催します！ EJ20エンジンに魅せられた仲間たちと、熱く、そして濃厚な時間を過ごしませんか？ SUBARUの鼓動を感じるひとときを、ぜひ一緒に！ 皆様のご来場を、心よりお待ちしております。
11月3日	トヨタ自動車 ランクルBASE	LAND CRUISER & COFFEE #3 Japan Mobility Show	長く乗り続ける旧車ファンから、新しく乗り始めたファンまで、ランクル好きが気軽に集う、コーヒーを片手に情報交換や楽しみ方を見つけられる、メーカー公式のオフ会イベントです。 Japan Mobility Showにて開催する第3回は、ランクル仲間との出会いやゲストも含めた交流体験、ランクルの様々な楽しみ方を知ることができ、ランクルの魅力を、JMS来場者とともに存分に楽しむ、特別な1日となります。
11月4日	レッツゴー4WD編集部 (新アポロ出版株式会社)	DELICA FAN MEETING in JMS	三菱自動車のデリカD:5やデリカミニ、歴代デリカシリーズなどデリカオーナーの愛車50台が大集合！！ 全国各地のデリカラバーズが集まって、デリカ愛を語り合います。 車両での参加は事前申込制となり、既に募集を終了しておりますが、参加者以外の方も自由に見学して頂けます。 さあ、みんなでデリカ祭りを楽しみましょう！
11月5日	—	CUP Car Racers Salon	Coming soon

日程	主催団体	イベントタイトル	概要
11月6日	Fairlady Z Owners club	All Fairlady Z Meeting @ JMS2025	日本国内のフェアレディZオーナーズクラブに所属するメンバーの愛車をJMS2025に合わせて特別展示します。当日はフェアレディZ車両開発主管を交えた歴代Zオーナーとのトークセッションやパレードランも実施します。
11月7日	GIRLS CAR COLLECTION	GIRLS CAR COLLECTION × Japan Mobility Show 2025	女性の車好きを増やすことを目的とし、愛車をこよなく愛する女性にスポットライトをあて、車女子会をイベント化した”男子禁制”の車女子の祭典【ガールズカーコレクション】。女性オーナーの輝ける場所、そしてSNSだけではなく、全国からリアルに集まれる場所を提供し、2017年より開催、今年で9回目となりました。
11月8日	メグロ・キャノンボール 那須烏山実行委員会	メグロ・キャノンボール那須烏山 in 東京	かつて目黒製作所の工場があった栃木県那須烏山市は、「メグロの聖地」として知られるようになりました。毎年秋に行われる「メグロ・キャノンボール那須烏山」は、全国各地から多くのライダーが集います。今回は50台以上の新旧メグロが屋外コミュニティゾーンに集結します。屋内ステージでは市商工会のメンバーが取り組んだ1949年製のメグロ初期モデル「Z型」のレストア事業や、目黒製作所と那須烏山市の関りについて発表します。
11月9日	本田技研工業株式会社／ 株式会社ホンダモーター サイクルジャパン	Honda CB MEETING	皆様に愛され60年以上続いているHondaの「CB」。モデルを展示し、映像と共にその歴史を振り返りながらお楽しみいただけます。また、新しいCBの歴史にご期待いただける場をご提供いたします。

■ASV公道試乗

先進技術によってドライバーの安全運転を支援する「先進安全自動車（ASV）」の公道試乗体験ができるプログラムです。日常の運転において人々を守る多彩な機能を、実際の走行を通じて体感していただけます。安全技術の“今”をぜひご自身で確かめてください。

■参加メーカー一覧

メーカー	車種名	免許	試乗可能定員 (ドライバー含む)	MT/AT	車の画像	備考
株式会社 SUBARU	FORESTER	普通免許	1組3名様まで	AT		身長125cm以上（150cm未満はジュニアシートを使用）6歳未満のお子様の同乗は不可
	CROSSTREK	普通免許	1組3名様まで	AT		
	LEVORG	普通免許	1組3名様まで	AT		
トヨタ自動車 株式会社	クラウン Z (燃料電池車)	普通免許	1組3名様まで	AT		身長100cm以上（150cm以下のお子様はジュニアシートを使用）6歳未満のお子様の同乗は不可
日産自動車 株式会社	日産アリア	普通免許	1組4名様まで	AT		
本田技研工業 株式会社	Honda ACCORD Honda SENSING 360+搭載車	普通免許	1組1名様まで	AT		走行中における撮影(スマホも含む)はすべてNG SNS掲載における取材撮影は不可
マツダ 株式会社	MAZDA CX-60	普通免許	1組3名様まで	AT		身長100cm以上かつ、6歳以上の方は同乗可。（150cm以下のお子様はジュニアシートを使用）
	MAZDA CX-80	普通免許	1組3名様まで	AT		
三菱自動車工業 株式会社	アウトランダー PHEV(2025型)	普通免許	1組3名様まで	AT		
BYD Auto Japan 株式会社	BYD SEALION 7	普通免許	1組4名様まで	AT		
	BYD SEAL	普通免許	1組4名様まで	AT		
Hyundai Mobility Japan 株式会社	IONIQ 5 N	普通免許	1組4名様まで	AT		6歳以上かつ身長100cm以上の方は同乗可。（チャイルドシート、ジュニアシートご持参の方は同乗可）
	IONIQ 5	普通免許	1組4名様まで	AT		
	KONA	普通免許	1組4名様まで	AT		
	INSTER	普通免許	1組3名様まで	AT		

※試乗車両は変更となる場合がございます。※試乗には「Japan Mobility Show 2025」入場券が必要です。

■ はたらくモビリティ

「はたらくモビリティ」は、日々の暮らしを支える力強い存在から、モビリティの可能性を広げる存在まで、多彩なモビリティが一堂に会するプログラムです。

物流や公共サービスなど生活を支える“はたらく”モビリティ、そしてその枠を越えて新たな領域を切り拓くモビリティ。

それぞれが織りなす世界は、子どもから大人まで楽しめる頼もしさとワクワクが同居する特別な空間です。ぜひその足を踏み入れてみてください。

■ 展示テーマと展示車両

① 『Mobility for Living』 日本の生活を支える、純粋な「はたらく」モビリティ

社名	モビリティ	車両	社名	モビリティ	車両
いすゞ自動車株式会社	FTS救助工作車		三菱ふそうトラック・バス株式会社	電気小型トラック「eCanter」ゴミ収集車	
カワサキモーターズ株式会社	BRUTE FORCE 750		ヤマハ発動機株式会社	消防活動二輪車	
ダイハツ工業株式会社	1959年ミゼットDSA型(初代)		UDトラックス株式会社	ダンプ CW 6x4	
日野自動車株式会社	日野デュトロ Z EV		Hyundai Mobility Japan株式会社	Hyundai 電気バス ELEC CITY TOWN	

② 『Expanding Mobilities』 様々な領域を拡張するモビリティ

社名	モビリティ	車両
いすゞ自動車株式会社	南極観測用雪上車SM40S	
トヨタ自動車株式会社	GRスーパースーフティーカー	
トヨタ自動車株式会社	PONAM-31 Zグレード	

■TOKYO AUTO SALON

最新カスタムトレンドをいち早くキャッチできるメガイベントとして国内外から注目を集める東京オートサロン。2023年のJapan Mobility Showに引き続き、JMSとのコラボレーションの一環として「東京オートサロン2026ブース」を出展する。

今回は、「東京オートサロンの雰囲気伝える」ことをテーマに東京オートサロンを代表する豪華なドレスアップカーやモンスター級のチューニングカーなど様々なジャンルのカスタムカーを展示する。

ぜひ会場で、東京オートサロンらしい雰囲気を感じていただきたい。



車両名	出展者名
CRYSTAL BENZ SL GOLD	D.A.D
TOPSECRET VR32 STEALTH	TOPSECRET
MAZDA MX-5 6 Rotor	TOYO TIRES
KUHL 34ZR-GTWR SPEC-D	KUHL JAPAN
CREWCH★ performance frame GTR mission swap	CREWCH★クルウチ

■ TOKYO SUPERCAR DAY 2025 in JMS

〈JAPAN MOBILITY SHOW内に「TOKYO SUPERCAR DAY」ブースを設置〉

世界各国の先進的なスーパーカーや希少な高級車等を多数展示。あわせて新モビリティなど未来に繋がる革新的なコンテンツを発信する。

またキッズスーパーカー教室やトークショー、スーパーカー関連グッズ販売など、子供も大人も楽しめるコンテンツを予定。

〈石と光の広場でスーパーカーの展示会〉

10月31日(金)・11月1日(土)に東京ビッグサイト前・石と光の広場にて、スーパーカーを2日間で延べ約100台を展示する。スーパーカーをはじめ、高級車や国産旧車やスポーツカーが集結いたします。また11月1日(土)には、ウォーキングモデルと共にスーパーカーの魅力を伝える「スーパーカー・ランウェイ」を開催する。



※P.76に関連イベントあり

4) Startup Future Factory

Startup Future Factoryは、モビリティ産業の未来を担うスタートアップ企業と、様々な企業や来場者の方々が出会い、これまでにない視点からビジネスを共創し、モビリティ産業として発展する仲間づくりの場となることを目的として、予選を通過した計30社による「Pitch Contest & Awards」の決勝ステージと、様々なプロダクトやサービス、技術シーズを有するスタートアップ企業や大学、延べ120社以上が参加するブース出展「Exhibition Street」を実施する。

前回ショーで好評を博した「未来掲示板」もパワーアップして再登場。来場者の想いやアイデアをもとに、グラフィックレコーダーが未来のモビリティ社会を描き出す。

■ Pitch Contest & Awards

今回より、成長ステージに応じた「シード/アーリー部門」と「ミドル/レイター部門」の2部門制を新たに導入。

シード/アーリー部門では、事業初期のニーズである資金調達に合わせ、総額1,200万円の賞金を提供。ミドル/レイター部門では、事業拡大につながるプレゼンテーション機会を提供するなど、ステージごとのニーズに応じた様々なベネフィットを用意。

決勝ステージには、書類審査・予選を通過した各部門15社、合計30社が登壇し、両部門とも3つのテーマで開催される。

日時：2025年10月31日（金） | 10:00～ シード/アーリー部門、14:30～ ミドル/レイター部門

会場：西展示棟アトリウム トークステージ

● for Mobility ～モビリティを支える。技術の進化、つながりの深化。～

現行モビリティ/モビリティ産業の更なる高度化/進化、サプライチェーンの強靱化など、モビリティ産業の強化・拡張につながる

● with Mobility ～モビリティとともに。広がる体験、新たな仕組み。～

現行モビリティ/モビリティ産業の顧客網やアセット等を活用し、新たな付加価値を生み出すサービスやプロダクトを展開し、モビリティ産業隣接領域の強化・拡張につながる

● beyond Mobility ～モビリティを超えて。社会や世界の、可能性を創る。～

モビリティ産業の概念や社会構造を広げることに加えて、モビリティに限らない「社会全体」で新しい付加価値を生み出すことで、間接的にモビリティ領域の発展に寄与する

【決勝進出企業】

シード/アーリー部門	ミドル/レイター部門
for Mobility ～モビリティを支える。技術の進化、つながりの深化。～	
株式会社アセンブルポイント	エレファンテック株式会社
株式会社Citadel AI	株式会社Seibii
Pathfinder株式会社	株式会社Fixstars Amplify
株式会社パワーウェーブ	株式会社フローディア
株式会社Resilire	株式会社Leaner Technologies

【決勝進出企業】

シード/アーリー部門	ミドル/レイター部門
with Mobility ～モビリティとともに。拡がる体験、新たな仕組み。～	
eMotion Fleet株式会社	WHILL株式会社
Carstay株式会社	株式会社オブティマインド
hab株式会社	FastLabel株式会社
株式会社フツパー	Terra Charge 株式会社
株式会社mairu tech	ユビ電株式会社
beyond Mobility ～モビリティを超えて。社会や世界の、可能性を創る。～	
株式会社JOYCLE	株式会社アジラ
株式会社Things	Wovn Technologies株式会社
株式会社ゼロボード	C u e b u s 株式会社
株式会社RICOS	株式会社Spectee
レコテック株式会社	GBS株式会社

【決勝審査員】

VC・CVC枠を拡充するとともに、権威性および話題性のある審査員を起用。

各部門ともに審査員8名体制にて実施。

シード/アーリー部門		ミドル/レイター部門	
坂本 教晃	東京大学エッジキャピタル 取締役 COO	坂本 教晃	東京大学エッジキャピタル 取締役 COO
本間 真彦	インキュベイトファンド 代表パー トナー	高宮 慎一	グロービス・キャピタル・パート ナーズ 代表パートナー
加藤 道子	Woven Capital パートナー	笹本 康太郎	電通ベンチャーズ マネージング パートナー
豊田 啓介	東京大学生産技術研究所 特任教授 建築家 (NOIZ)	豊田 啓介	東京大学生産技術研究所 特任教授 建築家 (NOIZ)
山口 真由	信州大学社会基盤研究所 特任教授	岸 博幸	慶應義塾大学大学院 教授
成田 修造	連続起業家・エンジェル投資家	成田 修造	連続起業家・エンジェル投資家
足立 秀幸	SCSK株式会社 モビリティ事業グ ループ 技術戦略担当	三谷 明弘	SCSK株式会社 業務役員モビリ ティ事業グループ グループ長補佐 SDM事業開発センター センター長
伊勢 清貴	一般社団法人日本自動車部品工業 会 技術顧問	江坂 行弘	一般社団法人 日本自動車工業会 常務理事

■ Exhibition Street

会期を3期間に区切り、様々なプロダクトやサービス、技術シーズを有するスタートアップ企業や大学が延べ129社が出展。

今回は、以下の4つのテーマで展開する。

● 移動がもっとスイスイ・ワクワク

誰もが快適に移動できる社会を実現し、移動の自由度をさらに広げていく

● 地球のことを考えてつくり方から新しく

リサイクル技術やサーキュラーエコノミーを推進し、環境配慮型の持続可能な産業基盤を築く

● 暮らす・働くを支える仕組みをアップデート

AIやデータ活用を通じて、交通・物流・情報が抱える社会課題を解決し、持続可能な社会インフラを築く

● そんなことまで！？ 拡がるモビリティ

楽しさ・快適さ・便利さを拡大し、移動そのものが豊かな体験へと変わる付加価値を創造する

さらに、モビリティ産業の更なる拡張と、未来のモビリティ社会の構築に向けて、今回より次世代を担う大学・研究機関エリアを新設。

一般社団法人日本自動車部品工業会エリアもふくめ、さらなる産業の拡張・加速を図る。

A期間	B期間	C期間
移動がもっとスイスイ・ワクワク		
本田技研工業株式会社	本田技研工業株式会社	本田技研工業株式会社
三次元重心検知研究室	株式会社ジゴワッツ	株式会社ジゴワッツ
NIRA Dynamics Japan K.K	Virtual Motorsport Lab株式会社	熊本県
株式会社Seibii	紅品科技東京株式会社	株式会社New Ordinary
東京工科大学	SWALLOW合同会社	千葉大学e ² リイグデザイン研究室
glafit株式会社	中央海産株式会社	
株式会社キュリオ	glafit株式会社	
株式会社オブティマインド	ELEMOs合同会社	
地球のことを考えてつくり方から新しく		
株式会社Final Aim	株式会社Final Aim	株式会社Final Aim
レコテック株式会社	株式会社SUPWAT	株式会社 Fixstars Amplify
ロボセンサー技研株式会社	ロボセンサー技研株式会社	ビットクォーク株式会社
ブレイドテクノロジーズ株式会社	株式会社エネコートテクノロジーズ	アドバンスコンポジット株式会社
グリーンプラ株式会社	株式会社a.s.ist	ナミティ株式会社
株式会社 アイ・アール・エス	株式会社ヘミセルローズ	アスエネ株式会社
株式会社EfficiNet X	eMotion Fleet株式会社	eMotion Fleet株式会社
株式会社電知	株式会社HelioX	
株式会社ゼロボード		

A期間	B期間	C期間
暮らす・働くを支える仕組みをアップデート		
GBS株式会社	東京大学	株式会社エスマット
LocationMind株式会社	株式会社SandBox	Wovn Technologies株式会社
株式会社トータルブレインケア	株式会社SpaceBlast/DigitalBlast	LOOVIC株式会社
株式会社CyberneX	株式会社M-aid	CalTa株式会社
株式会社AMANE	パーキングサイエンス株式会社	オールコンパス株式会社
パーキングサイエンス株式会社	WHILL株式会社	ティーティス合同会社
WHILL株式会社	Humonii	WHILL株式会社
株式会社ビーライズ	株式会社アラカン	株式会社RoboSapiens
エイム・テクノロジー株式会社		
そんなことまで!? 拡がるモビリティ		
ScootVision	DIMO JAPAN	株式会社Things
iFLYTEK Automotive Japan	株式会社OneAI	ユカイ工学株式会社
VISIONOID株式会社	株式会社MEDEMIL	株式会社Bashow
エスディーテック株式会社	ソルビファイ株式会社	合同会社 n i c o m o
Hundredths株式会社	Hundredths株式会社	Hundredths株式会社
株式会社Global Motor Service Japan	株式会社Global Motor Service Japan	株式会社Global Motor Service Japan
C u e b u s 株式会社	C u e b u s 株式会社	C u e b u s 株式会社
大学・研究機関エリア		
九州工業大学	秋田大学	北陸先端科学技術大学院大学
東北大学大学院 工学研究科	北海道大学	福井大学
電動モビリティシステム専門職大学	広島大学	埼玉大学
科学技術団体連合	東京工科大学	科学技術団体連合
	科学技術団体連合	
日本自動車部品工業会エリア		
株式会社アイシン	三和ニードルベアリング株式会社	株式会社松田電機工業所
株式会社小松精機工作所	ピオンズ株式会社	株式会社三光製作所
日進精機株式会社	三重精機株式会社	日伸工業株式会社
株式会社三星製作所	島野精機株式会社	株式会社共栄製作所
株式会社東研サーモテック	熊野精工株式会社	株式会社松尾製作所

【JMS2023 Pitch Contest & Awards Winner Startup】

前回のPitch Contest & Awardsで受賞した注目のスタートアップ3社は、ブース出展を通じて、その後の取り組みや成果を紹介する。

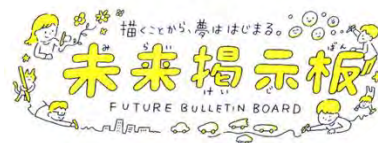
- 株式会社NearMe
- Global Motor Service 株式会社
- Zip Infrastructure 株式会社

■ 未来掲示板2035

前回好評だった「未来掲示板」は、「未来掲示板2035」として進化し、今年も実施。

来場者の皆様が思い描く「2035年の未来図」を、幅9mの壁面にアーティストがグラフィックレコーディングで描き出す。

前回来場者の皆様と描いた「あったらいいこんな未来」の中から、実現に向けた取り組みを進めている企業やモビリティの紹介も行う。



■ オンラインコミュニケーションツール「Meet-up Box」

Japan Mobility Show Bizweek 2024 から登場したこのツールは、事前にお互いのシーズやニーズなどの情報共有を行うことにより、より円滑かつ具体的なビジネス共創の発展をサポート。

Japan Mobility Show 2025 にあわせてリニューアルし、会場内での商談予約を行うだけでなく、ビジネスマッチングの成功事例などをお届けする機能を追加し、より活用いただけるプラットフォームとしてこれまで以上に強力にビジネス共創を推進。

既に登録いただいている約2,000件を更に拡大し、新たな仲間とつながる機会を提供していく。



5) 未来モビリティ会議・ステージプログラム

未来モビリティ会議は、豊かで夢のあるモビリティ社会の構築に向けた議論の場。

各領域のプロたちが、モビリティの未来や課題について様々な視点から、豊かで夢のあるモビリティ社会の構築に向け、時に熱く、時に楽しく語り合う子どもも大人もワクワクできる“未来のヒント”が見つかるトークステージ。

会場：西展示棟アトリウム トークステージ

■特別セッション

日時：10/30（木）16：30 - 17：30

「未来はみんなで作るもの」を合言葉に、自工会正副会長より「豊かで夢のあるモビリティ社会のあり方」についてスピーチを行うほか、モビリティにかける想いを語るクロストークを予定しています。

登壇者



一般社団法人
日本自動車工業会 会長
いすゞ自動車株式会社
代表取締役会長CEO

片山 正則



一般社団法人
日本自動車工業会 副会長
スズキ株式会社
代表取締役社長

鈴木 俊宏



一般社団法人
日本自動車工業会 副会長
トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長

佐藤 恒治



一般社団法人
日本自動車工業会 副会長
日産自動車株式会社
取締役、代表執行役社長
兼最高経営責任者

イヴァン
エスピノーサ



一般社団法人
日本自動車工業会 副会長
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長

三部 敏宏



一般社団法人
日本自動車工業会 副会長
ヤマハ発動機株式会社
代表取締役社長 社長執行
役員CEO

設楽 元文



一般社団法人
日本自動車工業会
副会長・専務理事

松永 明

■ ビジネスセッション

モビリティが地方を変える！過疎地域再生のカギ

日時：11/4（火）17：00 - 18：00

東京一極集中と少子高齢化の進行により地方経済は疲弊し、交通弱者の増加や公共交通の縮小で「移動難民」問題が深刻化しています。高齢者の生活・通院が困難となる中、移動サービスは地域課題の最優先項目であり、従来の車両販売では対応できない複雑なニーズが顕在化しています。

登壇者



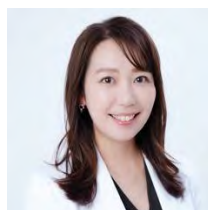
一般社団法人
日本自動車工業会 理事
ダイハツ工業株式会社
代表取締役社長

井上雅宏



一般社団法人エリア・イ
ノベーション・アライア
ンス 代表理事

木下 斉



MC

須黒 清華

物流危機を救え！モビリティ革新のインパクト

日時：11/5（水）17：00 - 18：00

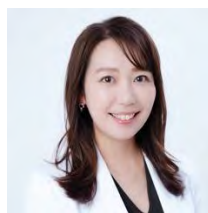
EC市場の拡大に伴い物流需要が急増する一方、労働規制の強化によりドライバー不足が深刻化しています。その結果、企業利益やサプライチェーン全体に影響を及ぼす構造的な課題となっています。日野自動車は業界横断的な協力の重要性を訴え、具体的なソリューションを提示することで、物流業界全体の変革に貢献していきます。

登壇者



一般社団法人
日本自動車工業会 理事
日野自動車株式会社
代表取締役社長CEO

小木曾聡



MC

須黒 清華

ほか後日公開予定

安全技術が変える都市の未来。事故ゼロが断ち切る渋滞の連鎖

日時：11/6（木） 17：00 - 18：00

都市部の交通渋滞は燃料消費とCO₂排出を増加させ、環境に深刻な影響を与える。国土交通省によると、渋滞による時間ロスは約4割、CO₂排出は全国総排出量の約1.3%に相当する。

本セッションでは、事故による渋滞に注目し、自動車メーカーの人中心の車づくりと予防安全技術がいかにして真の意味での“渋滞ゼロ”に貢献し、都市モビリティを変革していくかを議論する。

登壇者



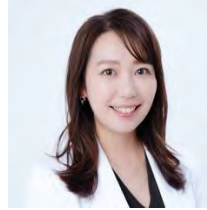
一般社団法人
日本自動車工業会 理事
株式会社 S U B A R U
代表取締役社長CEO

大崎 篤



株式会社 MaaS Tech
Japan
代表取締役社長

日高 洋祐



MC

須黒 清華

■トークセッション

人生100年時代も怖くない！QOL爆上げする「ひとが主役」の未来のモビリティ社会

日時：11/1（土）12：00 - 13：00

人生100年時代を迎え、健康・孤立・移動・経済・安心といった不安が顕在化しています。クルマは単なる移動手段から、人の心身や地域の絆を支える存在へと進化。本セッションでは、マツダの実践事例を通じて、QOL向上に貢献するモビリティの未来像を描きます。

登壇者



一般社団法人
日本自動車工業会 理事
マツダ株式会社
代表取締役社長兼CEO
(最高経営責任者)

毛籠 勝弘



Deportare Partners 代表

為末 大



株式会社 NewsPicks
Studios
取締役 Executive
Producer

木寄 綾奈

また来たくなる日本をつくる、“移動のおもてなし”最前線

日時：11/2（日）12：00 - 13：00

観光立国・日本において、移動体験は印象形成に大きく寄与しています。静かな車内や丁寧な案内など、移動に宿る“おもてなし”が記憶に残る体験となります。本セッションでは、観光・モビリティ・ウェルビーイングの視点から、心地よさを設計する次世代の移動サービス戦略を考察します。

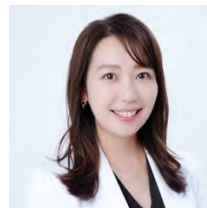
登壇者



株式会社水星 代表取締役
/ ホテルプロデューサー

龍崎 翔子

後日公開予定



MC

須黒 清華

もしもの時、あなたを守るクルマの話

日時：11/3（月）12：00 - 13：00

災害大国・日本では、モビリティが避難・支援の手段として重要性を増しています。近年では電力供給や物資輸送など、生活インフラの代替機能も担うようになりました。本セッションでは、UDトラックをはじめとする商用車メーカーの取り組みを通じて、災害レジリエンスとしてのモビリティの可能性を探ります。

登壇者



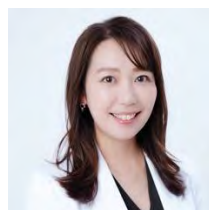
株式会社KOKUA
代表取締役

泉 勇作



一般社団法人
日本自動車工業会 理事
UDトラック株式会社
代表取締役社長兼CEO

伊藤 公一



MC

須黒 清華

稼ぐ、つながる、共創する。「モビリティ経済圏」がやってくる？

日時：11/9（日）12：00 - 13：00

モビリティは「移動手段」から「経済の起点」へと進化しています。クルマとネット、電力、地域体験が結びつき、新たな価値を創出。三菱自動車の新規事業を軸に、企業・個人・地域が共創する経済モデルと、モビリティが果たす役割について議論します。

登壇者



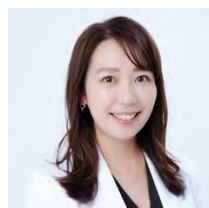
一般社団法人
日本自動車工業会 理事
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長兼
最高経営責任者

加藤 隆雄



一般社団法人シェアリング
エコノミー協会 代表理事

石山 アンジュ



MC

須黒 清華

■ ステージプログラム

日本カー・オブ・ザ・イヤー 10ベストカー発表会

主催：一般社団法人 日本カー・オブ・ザ・イヤー

日時：10/30（木） 12：20-13：00

日本カー・オブ・ザ・イヤー 10ベストカー発表会は、今年の対象車となったクルマの中から、一次選考として10車を選び発表します。最終選考会を経て、10ベストカーから日本カー・オブ・ザ・イヤーを決定します。

登壇者



日本カー・オブ・ザ・イヤー 実行委員会
委員長

鈴木 慎一



日本カー・オブ・ザ・イヤー
実行委員会
事務局長

中川 祐太郎



日本カー・オブ・ザ・イヤー 実行委員会
実行委員

中村 優理

【J-WAVE(81.3FM)】Podcast『offの日、どっちっち？』

TOKYO GX ACTION特別企画・公開収録

主催：J-WAVE

日時：11/1（土） 13：30 - 14：30

J-WAVEのPodcastプログラム「offの日、どっちっち？」が、TOKYO GX ACTION特別企画として公開収録を実施！ゲストナビゲーターにハリー杉山さん、トークゲストにこっちのけんとさんを迎え、オフの日の過ごし方について伺うほか、その中にある環境にやさしいアクションを紹介します。

登壇者



タレント

ハリー杉山



タレント

箭内夢菜



Earth hacks株式会社
代表取締役社長 CEO

関根澄人



シンガーソングライター

こっちのけんと

海のモビリティ、ボート&ヨットのススメ

主催：株式会社 舵社

日時：11/1（土）15：30 - 16：30

海のモビリティであるボートやヨット。その魅力をご紹介するとともに、実際にボーティングやセーリングを始める方法をお伝えします。また、来年登場する海のLEXUS、ラグジュアリーヨット「LY680」の開発ストーリーや、トヨタのマリンへの取り組みについてもお話しします。

登壇者



『Sea Dream
(シードリーム)』
編集長

田久保 雅己



株式会社 舵社
代表取締役

植村 浩志



トヨタ自動車株式会社
マリン事業部副部長

林 豪

日本に自動運転車はいつ来るのか？～自動運転技術の今と未来～

主催：PwCコンサルティング合同会社

日時：11/2（日）13：30 - 14：30

自動運転技術は急速に進化し、米国や中国では無人配車サービスが一般利用されるなど、商業化が進んでいます。本イベントでは、自動運転の現状や社会・業界への影響を紹介し、「遠い未来」ではなく「すぐそばの現実」となりつつある自動運転の今と未来について、分かりやすく解説します。

登壇者



PwCコンサルティング
合同会社
スマートモビリティ総合
研究所
所長

矢澤 嘉治



PwCコンサルティング
合同会社
スマートモビリティ総合
研究所
Global Initiative
リーダー

藤田 裕二



国際自動車ジャーナリスト/
神奈川工科大学 特命教授

清水 和夫



チョコレートプラネット

長田 庄平



シンソヌ

長谷川 忍

それは窓以上 車のガラスの新展開 (PIVOT & questions sponsored by AGC)

主催：AGC株式会社

日時：11/2 (日) 15:30 - 16:30

AGCはモビリティ分野でどのように未来を切り拓こうとしているのか。本セッションでは「ガラス×モビリティ」の可能性を探り、「ガラスと車の関係」「転換期のAGC」「将来構想」などをテーマに議論。PIVOT代表・佐々木紀彦氏がAGC担当者に、戦略やメッセージ発信の変化を聞きます。

登壇者



AGC株式会社
オートモーティブカンパニー
モビリティ事業開拓室
マーケティンググループ
AllAGC事業推進チーム
リーダー

山本 祐治



AGC株式会社
オートモーティブカンパニー
モビリティ事業開拓室
マーケティンググループ
戦略企画チーム
マネージャー

岡 宗佑



PIVOT株式会社
代表取締役社長/CEO

佐々木 紀彦



アドバンスドテクノロ
ジーX株式会社
代表取締役

小林 大三

Coming soon

東京モビリティ会議 2025 with ベストカー

主催：ベストカー

日時：11/3（月）15：30 - 16：30

自動車情報専門メディアさつての若手編集長がゲスト+大学生とともにモビリティショーの魅力と次世代モビリティ社会の課題を語る。

登壇者



講談社ピーシー
編集長

塩川 雅人



ラッパー

Bose



東京大学 運動会 自動車部
主将

海老原 瑛士郎



東京大学 運動会 自動車部

青山 程

WIRED Future Dialogue 2050年のモビリティを『WIRED』と考える

主催：WIRED

日時：11/4（火）

Opening talk

日時：11/4（火）11：00-11：10

Talk Session 1 「SF作家・津久井五月が描くモビリティの未来」

日時：11/4（火）11：10-12：00

自動運転や空飛ぶ車、都市間モビリティの進化は、生活圈やライフスタイルだけでなく都市設計や時間感覚、意識の移動にも影響する。VRや遠隔臨場感など技術と融合させ、移動の未来とエネルギーの関係をSF作家の想像力を通じてその可能性を探る。

Opening talk

登壇者



『WIRED』日本版 編集長

松島 倫明

Talk Session 1

登壇者



SF作家

津久井 五月



『WIRED』日本版 エディター・アット・ラーズ

小谷 知也

WIRED Future Dialogue 2050年のモビリティを『WIRED』と考える

Talk Session 2 「都市とモビリティの未来」

日時：11/4（火）12：05 - 12：45

電動化に伴うエネルギーマネジメントや、自律走行による交通システムの変革など、モビリティの進化が都市に影響を与える時代を私たちは生きている。人間以外の多様なAIエージェントや自律的なモビリティが存在しうる未来は、いまどどのように異なるのだろうか？ 人工知能研究者や建築家とともに、AIが駆動するスマートシティの未来像と、そこにおける人間の感性やライフスタイルの変化を考えていく。

登壇者



東京大学 生産技術研究所
特任教授

三宅 陽一郎



建築家 / ALTEMY代表

津川 恵理



『WIRED』日本版
エディター

岡田 弘太郎

Talk Session 3 「自動運転 × 地方の未来」

日時：11/4（火）12：50 - 13：40

地方において高齢者や子育て世帯の移動困難が深刻化するなか、自動運転技術と公共交通の自動化が解決策となる可能性を探る。日常移動の支援からオンデマンド型交通、雇用や観光振興、脱炭素まで広がる未来像を議論するセッション。

登壇者



株式会社ティアフォー
代表取締役 執行役員 CEO

加藤 真平



newmo株式会社
代表取締役CEO

青柳 直樹



『WIRED』日本版 デジタル
副編集長

瀧本 大輔

WIRED Future Dialogue 2050年のモビリティを『WIRED』と考える

Wrap up

日時：11/4（火）13：40 - 13：50

登壇者

『WIRED』日本版 編集長

松島 倫明

『WIRED』日本版 エディ
ター・アット・ラージ

小谷 知也

『WIRED』日本版
エディター

岡田 弘太郎

『WIRED』日本版 デジタル
副編集長

瀧本 大輔

第24回自動車安全シンポジウム

『歩行者、自転車など交通弱者を守る車両安全対策 ～交通事故ゼロに向けた取組～』

主催：国土交通省

日時：11/4（火）15：00 - 16：00

車両安全対策を推進するために平成12年から開催しているシンポジウムです。車両安全対策のあり方、その取組状況及び安全装置の開発動向等について、産官学各分野の専門家と、話していきます。

登壇者

東京大学 生産技術研究所／
ハーモニック・モビリティ
研究センター
センター長、教授 博士
(工学)

中野 公彦

一般社団法人日本自動車
工業会
安全技術・政策委員会車
両安全部会部会長

渡辺 省吾

モータージャーナリスト

森山 みずほ

国土交通省 物流・自動車
局 車両基準・国際課 安
全基準室
室長 (国連自動車基準調
和世界フォーラム
(WP.29) 副議長)

猶野 喬

株式会社 JAFメディア
ワークス
取締役

鳥塚 俊洋

ウェルビーイングとSBNRが織りなす「心の旅」

～地域文化を活かした持続可能な地方創生のあり方～

主催：ウェルビーイングアクション実行委員会

日時：11/5（水）11：00 - 11：40

物質的な豊かさから精神的な豊かさ、心身の健康と幸福を追求する「ウェルビーイング」への価値観の転換が進む現代。特定の宗教に縛られず精神的な充足を求める「SBNR (Spiritual But Not Religious)」が新たな観光の潮流となっています。禅、修験道などの日本文化は世界中のSBNR層から注目され、地域文化の活用は地方創生だけでなく、個人のウェルビーイング向上につながる可能性を秘めています。

登壇者



株式会社 YeeY 共同創業者／
代表取締役、アステリア株
式会社 CWO (Chief Well-
being Officer)、一般社団法
人日本ウェルビーイング推
進協議会代表理事

島田 由佳



株式会社 JTB 総合研究所
地域交流共創部
主任研究員

臼井 香苗



株式会社 博報堂
生活者発想技術研究所
上席研究員

伊藤 幹



株式会社 SIGNING
Business Producer /
Co-Creator

山縣 太希

アートでひらく新しい地域創生の可能性

主催：株式会社SIGNING

日時：11/5（水）12：00 - 12：40

現在、日本各地でアートイベントや芸術祭が開催され、国内外の観光客を惹きつけています。本イベントでは、瀬戸内国際芸術祭（岡山・香川）と大地の芸術祭（新潟）を取り上げ、芸術祭が単なる催しではなく、地域資産の再編集や地域と外部をつなぐ手段として機能する意義を、主催者やアーティストとともに紐解きます。

登壇者



株式会社 SIGNING
Strategist

戸澤 和



大地の芸術祭
アーティスト・鑑賞プログラマー

佐藤 悠



香川県瀬戸内国際芸術祭推進課
主幹
瀬戸内国際芸術祭 担当

今瀧 哲之

コネクティッドカーのデータを安心・安全に利活用していくために

～カメラ画像を中心に考える

主催：一般社団法人 日本自動車工業会 データガバナンス検討チーム

日時：11/5（水）15：00 - 16：00

安心・安全なモビリティ社会の実現には、カメラ画像データの利活用が不可欠です。一方で、歩行者など映り込む人々にとっては、車載カメラの存在やデータの使われ方が見えにくく、不安を感じることもあります。本セッションでは、社会的に有益で安心できるデータ活用のあり方について、消費者と事業者の視点から議論します。

登壇者



一般社団法人日本自動車工業会
データガバナンス検討チーム
リーダー
ヤマハ発動機株式会社
米国弁護士（オレゴン州弁護士
会）
法務博士（J.D.）

竹澤 玲央



トヨタ自動車株式会社
情報セキュリティ・トラスト
部情報品質企画室
プライバシーガバナンス 2G
主任

門山 駿一郎



公益社団法人全国消費生
活相談員協会

丹野 美絵子



株式会社野村総合研究所
ICT・コンテンツ産業コ
ンサルティング部
グループマネージャー

小林 慎太郎

TOKYO H2プロジェクト～東京は、水素でおもしろくなる～

主催：東京都

日時：11/6（木） 11：00 - 12：00

「TOKYO H2プロジェクト」は、水素エネルギーの社会実装を加速する官民連携の取り組みです。新たなエネルギーである水素を先駆的に導入し、「世界に誇る、水素社会・東京」の実現に向け、東京都や関連企業がそのビジョンを語ります。

【登壇企業・団体】

東京都、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、トヨタ自動車株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、UCCジャパン株式会社

モビリティ×エンタメ — Dolbyが提案する新たな価値

主催：Dolby Japan 株式会社

日時：11/6（木） 13：00 - 14：00

本トークステージは、Dolbyの大沢による講演とゲストトークの二部構成。

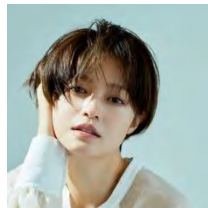
前半では海外OEM各社のエンタメ強化事例を紹介し、後半は朝ドラなど多方面でご活躍中の女優・小林涼子様と自動車ジャーナリスト・佐藤耕一様を迎え、Dolbyエコシステムとモビリティ×エンタメの新たな可能性を掘り下げます。

登壇者



Dolby Japan株式会社
日本法人社長(兼)東南アジア・
太平洋統轄

大沢 幸弘



俳優
株式会社AGRIKO代表取締役

小林涼子



自動車ジャーナリスト
日本自動車ジャーナリスト
協会会員

佐藤 耕一

“モビリティビジョン2050”ダイアログ

～テクノロジーで発展を見せる 新たなモビリティの価値創造～

主催：一般社団法人 日本自動車工業会次世代モビリティ政策部会

日時：11/6（木）15：00 - 16：00

2022年に自工会が策定した「モビリティビジョン2050」に基づく第4回目のダイアログを開催。今回は“DX”をはじめとするテクノロジーによる新たな価値創造に焦点を当て、協創パートナーとの連携拡大を目指します。“デジタル×安全・安心”をテーマに、モビリティ価値の広がりや協創プラットフォームの取り組みを紹介します。

登壇者



一般社団法人日本自動車工業会
次世代モビリティ委員会次世代
モビリティ政策部会部会長

木津 雅文



一般社団法人日本自動車工業会
安全技術・政策委員会車両安全部
会副部会長

神野 義久



NTTドコモビジネス株式会社
IOWN推進室室長

山下 達也



アーサー・ディ・リトル・
ジャパン株式会社
プリンシパル

岡田 雅司

産業アーキテクチャで読み解く未来のモビリティ

主催：PwCコンサルティング合同会社

日時：11/7（金）11：00 - 12：00

自動車の価値はハードからソフトへと移行し、製品・サービスの迅速な開発が求められる中、モビリティ産業では戦略ポジションの見直しが不可欠です。本イベントでは、プラットフォームの台頭やAI技術の進展などの潮流を「産業アーキテクチャ」の視点から捉え、日本のモビリティ産業が未来に向けてどう勝ち残るかを議論します。

登壇者



PwCコンサルティング
合同会社
スマートモビリティ総合
研究所 副所長

川原 英司



慶應義塾大学大学院システ
ムデザイン・マネジメント
研究科
研究科委員長/教授

白坂 成功



nicomobi株式会社
フェロー
株式会社REDER
取締役CSO

岩田 和之



ダイナミックマッププラット
フォーム株式会社 取締役
株式会社スマートドライブ
取締役
株式会社技術承継機構 取締役
株式会社andCapital 取締役

志賀 俊之

いきいき脳体操セミナー

第1部 運転技能は脳のトレーニングで向上する

第2部 社会実装の具体例

主催：株式会社仙台放送

日時：11/7（金）13：00 - 14：00

東北大学加齢医学研究所と仙台放送による共同研究において、脳のトレーニングにより認知機能を鍛えることで、安全運転能力が高まることが証明されました。

第1部ではソリューションが生まれた背景など、最新の脳科学の研究成果についてご講演いただきます。第2部では運転技能向上トレーニングの社会実装の具体例をご案内いたします。

登壇者



東北大学加齢医学研究所
教授

川島 隆太



株式会社仙台放送
アナウンサー

飯田 菜奈

ほか後日公開予定

みんなあつまれ～！ ボンボンアカデミーステージショー in モビショー

主催：ボンボンアカデミー

日時：11/8（土）12：00 - 13:00

チャンネル登録者数114万人、動画総再生回数23億回を超えるYouTube公式チャンネル「ボンボンアカデミー」のうたのおねえさん「いっちー&なる」がモビショーに登場！モビショーとタイアップしたスペシャルソング「みらいのはたらくるま」や、子供たちに大人気の曲をたっぷりお届けします！のりもの好き、必見！

登壇者



YouTubeのうたのおねえさん

いっちー&なる

トヨタ自動車×KINTOテクノロジーズ

— KINTO Unlimitedから紐解く、リアル×ITが創る新しいモビリティの可能性

主催：株式会社YOUTRUST

日時：11/8（土）14：00 - 14：45

モビリティの未来はリアルとITの融合で進化中。本セッションでは、トヨタとKINTOテクノロジーズが展開する「KINTO Unlimited」を通じ、安全・快適なカーライフを支える仕組みや開発背景、内製開発へのこだわり、デジタル人材の活躍、両社の協業による新たな挑戦と価値創出について紹介します。

登壇者



KINTOテクノロジーズ
株式会社
新サービス開発部 部長

上田 憲人



トヨタ自動車株式会社
先進技術開発カンパニー
AD-V:バリューチェーン革
新PRJ 主任

秋間 聡



株式会社YOUTRUST
メディア事業部マネージャー

田口 彩人

新規事業キャリア×モビリティの最前線

主催：株式会社YOUTRUST

日時：11/8（土）15：00 - 15：45

自動車・モビリティ業界は、技術革新や社会課題の解決を背景に、従来の枠を超えた新規事業に挑戦しています。本セッションでは、業界で新たな挑戦を続ける実践者・リーダーを招き、キャリア選択のリアルや事業創出の裏側に迫ります。挑戦者たちのストーリーを通じて、モビリティ業界におけるキャリア形成の可能性を探ります。

登壇者



本田技研工業株式会社
コーポレート戦略本部
コーポレート事業開発統括部
新事業開発部 部長

藤井 欽也



株式会社UNIDGE Co-CEO /
株式会社AlphaDrive 東海拠点
長（トヨタ自動車から出向中）

土井 雄介



株式会社YOUTRUST
メディア事業部マネージャー

田口 彩人

Coming soon

6) Out of KidZania in JMS2025

ファミリー層に人気のこども向け職業・社会体験施設「キッザニア」とコラボレーション。小学生を対象とした「職業体験プログラム」と、3歳以上が参加できる「未就学児プログラム」を実施。

会場に「こども達がはたらく街」が出現。モビリティの研究、開発、製造に携わる仕事を中心に様々な職業を体験可能。予約は9月30日（火）より、公式アプリにて受付中。

Out of KidZania in JMS2025

KidZania × **Japan Mobility Show**
Japan



© KCJ GROUP

■実施日程

全体会期に準ずる。

※体験スケジュール詳細は公式アプリの予約ページに掲出

※職業体験プログラムの対象は小学生（1年生～6年生）

■職業体験プログラム一覧（小学生）

出展者名	タイトル	紹介文	1枠あたりの体験人数
スズキ		次世代モビリティデザイナーの仕事	6名
SUBARU		レーシングメカニックの仕事	6名
ダイハツ		電動モビリティを組み立てる仕事	6名
トヨタ		金属加工の仕事	8名
トヨタ		みらいののりもの研究員の仕事	20名
日産		ボディ成型の仕事	8名
ホンダ		新たなモビリティのテストドライバーの仕事	6名
マツダ		砂型鑄造・磨き・塗装職人の仕事	6名
三菱		カラーデザイナーの仕事	6名
自販連		カーディーラー整備士の仕事	4名

■職業体験プログラム一覧（未就学児）

出展者名	プログラム内容	体験時間
スズキ	スズキののりもの 塗り絵体験	15分
SUBARU	レーシングカーデザイナーとしてクルマにペイントをして、みんなが注目する世界に一台だけのクルマをつくろう！	30分
ダイハツ	デザインスケッチ体験	20分
トヨタ	クルマのタイヤ(?)を取り付けよう クルマのタイヤを取り付けてみよう！ 普通のタイヤとちがった、おかしな形のタイヤもあるよ！	5分程度
	なりきり写真館 GRのレーシングドライバースーツや、 レクサスのスタッフユニフォームを着て、写真を撮ろう！	着替えを含めて 5～6分程度
	夢のクルマを描いて走らせよう こんなクルマがあったらいいな…そんな夢のクルマを描いて、 モニターの中で走らせてみよう！	お絵描き含めて 20分程度
日産	オリジナル缶バッジ作り体験	5-10分
ホンダ	ぬりえ体験：ぬってワクワク！新たなモビリティ！	10分
マツダ	プレス職人と一緒に、オリジナル缶バッジを作ろう！ ※本体験は休憩エリアにて、金・土・日・祝日のみ実施しています。 ご予約は「Out of KidZania」マツダブースにて、直接承っております。	10-20分
三菱	クルマのぬりえ体験（キャラクター入り）	—
カー モデラー 協会	クレイモデラーの仕事体験 デジタルモデラーの仕事体験	5分 30分
グリコ	グリコワゴンとの“ぼくの、わたしのイマとミライ”体験	15分
国際交易	3才から遊べる「初めての工具体験」	15分
カーセンサー	カーセンサークルマぬりえ体験	5分～
	カーセンサー号の上で寝てみよう体験 ※ルーフトップテントに上がれます	5分程度
	ガチャガチャでカーセンサーグッズを当てよう体験	5分程度
たすけて プープ プロジェクト	こども車中置き去り事故防止！ #たすけてプープ体験 ～絵本読み聞かせ&クラクション体験～	30-40分

■ 体験の流れ

事前予約／当日予約



●公式アプリを用いて体験チケットを予約

- ・予約は公式アプリ「Japan Mobility Show」で実施。
- ・事前予約は、体験当日の前日23時59分まで可能で、公式アプリから希望する日程／時間／プログラムを選択しチケットを予約
- ・当日予約（キャンセル待ち含む）の場合は指定時刻～体験枠の30分前までに、公式アプリから予約可能（会場エリア内のパスワードが必要）
- ・参加料は無料
- ・枠の変更やキャンセルを希望する場合、既に予約頂いている枠を取り消し、新たに枠を予約

当日受付



●入場登録カウンター

- ・事前予約を済ませた参加者は、指定時間に入場登録カウンターで受付を済ませて頂く
- ・参加者の枠が識別できる色分けされた入場PASSを配布

プログラム体験



●プログラム体験

- ・各ブースでプログラム体験
- ・プログラムは1枠あたり体験40分間

体験終了



●体験終了&成果物やインセンティブお渡し


- ・各社ブースで体験終了後に成果物やインセンティブを必ずお渡しする
- ・各社のカタログ／パンフレット／チラシもあわせてお渡しすることが可能

5. 部門出展のご紹介

■東展示棟 4-6ホール

※2025年10月28日時点

企業ロゴ	企業名	説明文
	スズキ株式会社	出展テーマはコーポレートスローガン「By Your Side」とし、前回の「世界中に、ワクワクの、アンサーを。」から「あなたに、ワクワクの、アンサーを。」というメッセージに進化させ、出展物ひとつひとつでBy Your Sideをご体感いただけるブース展示、演出とします。
	日野自動車株式会社	日野は、会社の使命である「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」を出展テーマに据え、移動の未来に対する世の中の「問い」を切り口に、日野がステークホルダーの皆さまとともに考え、実現したい世界をご紹介します。足元の取り組みから近い将来の提案まで、持続可能な社会の実現に向け、お客様・社会の課題解決を目指すクルマやソリューションを展示します。
	マツダ株式会社	マツダの出展テーマは、「走る喜びは、地球を笑顔にする」です。クルマが人の心を動かし、社会とつながり、地球の未来に貢献していく、マツダが志す未来のモビリティへの挑戦を具現化した「人とクルマの関係」や「循環型社会」の姿をご覧ください。また、世界初公開のビジョンモデル、日本初展示となる「MAZDA CX-5」、およびマツダが目指す未来を実現する鍵となる技術展示を実施します。
	三菱ふそうトラック・バス株式会社	三菱ふそうトラック・バス株式会社（MFTBC）川崎市に本社を置く商用車メーカーで、ダイムラートラック社と三菱グループが株主です。90年以上の歴史を持つFUSOブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約170市場に展開し、日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、自動運転では「スーパーグレート」にSAEレベル2相当の技術を搭載するなど、先進技術の開発に力を入れています。
	BYD Auto Japan株式会社	BYDは電気自動車をはじめとした、「eモビリティ」をつくっている会社です。バッテリーメーカーとして創業し、携帯電話やPC用バッテリーをグローバルで展開し、培った技術力を活かして、2003年に自動車事業に参入しました。現在では、世界最大手の電気自動車メーカーへと成長を遂げています。
	Hyundai Motor Company 株式会社	人類のための進歩「Progress for Humanity」というビジョンのもと単なる移動手段を超え、モビリティ課題に対する革新的なソリューションにより人類のための進歩を促進することを目指しています。

企業ロゴ	企業名	説明文
	<p>日産自動車株式会社</p>	<p>今回のジャパンモビリティショーでは、新型「エルグランド」を世界初公開します。 「今こそ、ワクワク、ぞくぞく」をテーマに、日本国内および海外向けモデルを展示し、より身近で、より革新的な日産の姿を体感いただけます。</p>

ほか近日公開予定

6. コラボ企画

1) スペシャルコンテンツ

■ 「科学漫画サバイバル」シリーズ特別版 未来のモビリティのサバイバル

小学生支持率 No.1※、「科学漫画サバイバル」シリーズとJapan Mobility Show 2025が特別コラボ。社会をつなぐモビリティの役割、さまざまな乗り物の歴史や、子どもたちの考えた乗り物アイデアなど。ジオたちと一緒にモビリティの未来を考える「科学漫画サバイバル」シリーズ特別版を会場で5万部配布。

※「小学生が選ぶこどもの本総選挙」第2回(2020年発表)、第3回(22年発表)、第4回(24年発表)「シリーズ」部門第1位



■ みらいのはたらくるま

YouTube チャンネル「ボンボンアカデミー」とのコラボを実施。

あの子どもに大人気の名曲「はたらくるま」をJapan Mobility Show 2025バージョン「みらいのはたらくるま」としてお届け。

また11月8日(土)12時から特設ステージにてボンボンアカデミーのいっちー&なるによるミニコンサートを会場内特設ステージにて開催。



5) 日替わりコラボ展示

10月31日（金）～11月9日（日）の期間で、イーストプロムナード石と光の広場、花の広場に、スーパーカー、軽トラに働くくるままで、ジャンルを超えた多岐にわたった様々なモビリティにまつわる展示イベントが集結。

【実施場所】



【イベント実施スケジュール】

	10/31	11/1	2	3	4
イベント	スーパーカー		はたらくくるま展示		痛車
	11/5	6	7	8	9
イベント	テーマ展示			軽トラ市	旧車

■TOKYO SUPERCAR DAY 2025 in JMS <Special Exhibition>

JAPAN MOBILITY SHOW 2025開催を記念してフェラーリ、ランボルギーニ、アストンマーティンなど、世界を代表する華やかなスーパーカーがショーを盛り上げます！

【実施概要】

日時：10月31日（金）～ 11月1日（土） 9:00～16:00

場所：石と光の広場（東京ビッグサイト正面・屋外広場）

台数：各日・約50～70台展示予定

主催：一般社団法人 日本スーパーカー協会

※P45に関連イベントあり

■働くくるま 大集合！

これまで東京モーターショー時代から会期に合わせ開催され人気を博した「働くくるま大集合！」が今回も臨海ホールディングスグループの主催により実施！自衛隊、消防等、防災や安全に関する車両などを展示予定。

【実施概要】

日時：11月2日（日）～3日（月・祝） 9:30～16:00

場所：石と光の広場・花の広場

主催：臨海ホールディングスグループ

株式会社東京臨海ホールディングス、株式会社東京レポートセンター、東京港埠頭株式会社、株式会社東京ビッグサイト、株式会社ゆりかもめ、東京臨海熱供給株式会社

共催：一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会

後援：東京都港湾局

一般社団法人 日本自動車工業会

■痛車天国Special Meeting with Japan Mobility Show 2025

11月4日（火）には「痛車天国」が登場します！ビッグサイトへ続くイーストプロムナードの「石と光の広場」で痛車の熱を伝えよう！

【実施概要】

日時：11月4日（火）10:00～16:30

設置予定台数：約50台

主催：痛車天国プロジェクト

■ Nostalgic 1day with Japan Mobility Show

日本のモータリゼーションを象徴する名車、いつも家族の傍らにいたファミリーカー、海外でも人気の高い90年代パイクカーなど、日本の自動車産業が歩んできた道のりを感じさせるクラシックカーや80～90年代の”ヤングタイマー”が大集合！ちょっと懐かしく、今見ると新鮮なクルマたちの魅力に触れ、オーナーさんたちとのコミュニケーションをお楽しみいただける特別な1日「ノスタルジック1デイ」です。

【実施概要】

日時：11月5日（水） 9:00～16:00

場所：イーストプロムナード石と光の広場

主催：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

■ MOBILITY CAMP STYLE MTG 2025

日本のカーライフは「移動手段」から「ライフスタイル」へと大きくシフトしています。車中泊やオートキャンプは、クルマを拠点とした自由で快適な過ごし方で若年層からファミリー層まで支持を集め、日本独自のカーライフ文化として成熟しつつあります。参加者自身が“暮らすようにクルマを楽しむ”体験の「場」として「MOBILITY CAMP STYLE MTG 2025」は「クルマ×車中泊×キャンプ」を通じて、次世代に向けたカーライフの新たな楽しみ方を提案。

【実施概要】

日時：11月6日（木） 9:00～16:00

場所：イーストプロムナード石と光の広場

主催：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

■ UNDER 40 CAR MEETING 2025

「UNDER 40 CAR MEETING」は、40歳以下の若いドライバーや次世代のクルマファンを主役に据えた特別企画。これまでクルマイベントの参加層はミドル～シニアが中心でしたが、Z世代・ミレニアル世代にクルマ文化をつなぐことを目的としています。ジャパンモビリティショー全体の来場者の中でも、「若い層が自分ごととして楽しめる場」を明確に打ち出します。

【実施概要】

日時：11月7日（金） 9:00～16:00

場所：イーストプロムナード石と光の広場

主催：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

■ 軽トラ市 in ジャパンモビリティショー2025

「軽トラ市」は、軽トラックの荷台に食料品や雑貨などを並べて販売する移動型マーケットで、地域活性化の取り組みとして全国的に盛り上がりを見せています。

北は岩手、南は宮崎まで、全国各地の軽トラ市が会場に集結。能登半島地震の復興応援として「輪島朝市」からの特別出店も予定しています。さらに、お子様向けワークショップや、遠方の出店者と交流できる「リモート軽トラ市」など、多彩な企画を用意しています。

【実施概要】

日時：11月8日（土）10:00～16:00

場所：イーストプロムナード 石と光の広場

設置予定台数：約50台

主催：一般社団法人 日本自動車工業会 軽自動車委員会



■ THE有明FUN JMS Meeting

これまで自動車や自転車といった工業製品は人類の発展を支えてきました。ただの消費ではなく、そのモノの本質的価値と姿を保全し、後世に伝えることは文化であり、情熱を注ぐに値します。その楽しみを深め、記録に残すことは、感動を与える力になります。ぜひ数々のヒストリックカーの展示を楽しんで下さい。

【実施概要】

日時：11月9日（日） 10:00～15:45

場所：イーストプロムナード 石と光の広場

主催：THE有明FUN 実行委員会

運営：VAZ-Sport

後援：日本ヒストリックカー協会

協賛：全日本ダットサン会、Automobile Club Japan (ACJ)、ノスタルジックTV、

VAZ☆Club de i

協力：#VAZ☆Sport/ProStaff

7. プレスサービス

1) プレスセンターの設営

プレスデー2日間（10月29日（水）～10月30日（木））は、会議棟6F・605～610号室をワークスペースとして各種サービスをご提供する。同6Fロビー及び603号室にはラウンジ、604にはランチ／ドリンクカウンター、601・602号室はロッカーを設置するのでご利用頂きたい。

特別招待日及び一般公開期間（10月31日（金）～11月9日（日））は、プレスセンターの規模を縮小して同・610号室に設営し、全てのサービスもここに集約する。

(1) プレスセンター開場時間（会議棟6F）

<プレスデー>	10月29日（水） 7:30～19:00 10月30日（木） 7:30～19:00（オフィシャルデー） ※7:30～8:00の間は、プレスセンターへのご来場は、会議棟1Fからのみ入場可能。両日の当日プレス登録受付も、7:30から開始する。 エントランスホール（2F）および東展示棟（1F）のプレス入場口のオープン（展示棟内への入場）は8:00から。
<特別招待日>	10月31日（金） 9:00～18:00
<一般公開日>	11月1日（土）、11月3日（月・祝）、11月8日（土） 9:00～19:00 11月4日（火）～11月7日（金） 10:00～19:00 11月2日（日）、11月9日（日） 9:00～18:00

(2) 主な設備

【会議棟6F】

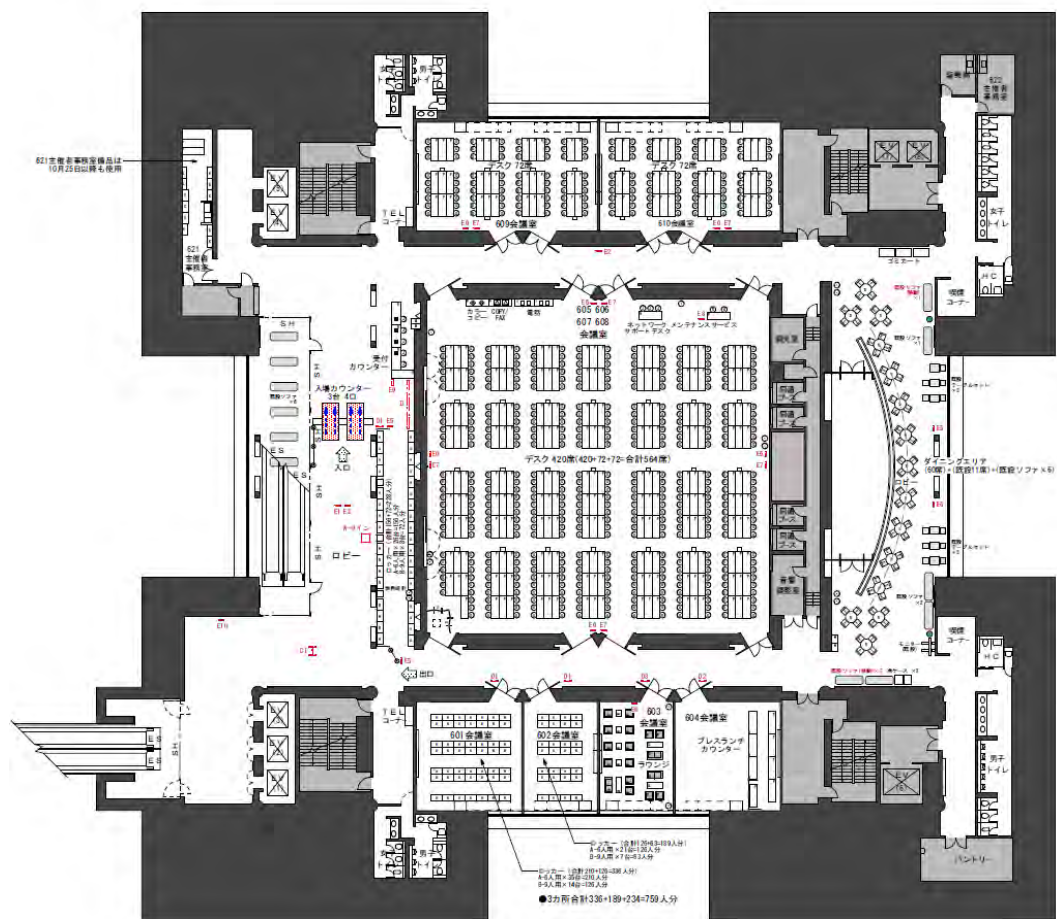
- ① ワークデスク：計564席
- ② ダイニングエリア：計66席
- ③ ロッカー：計759名分
- ④ モノクロ／カラープリンター、コピー・ファックス複合機、電話（協力：ブラザー販売株式会社）
- ⑤ インターネット接続環境：全てのワークデスクにネットワークLAN（有線／無線）を配置
プレス専用のフリーWi-Fiを提供
プレスセンター内ID：JMS_Press
パスワード：jmspress2025
※モバイルWi-Fiルーターのご使用は、プレスセンター内のWi-Fi環境に支障をきたす場合がありますので、ご遠慮下さい。

(3) 主なプレスデーのサービス

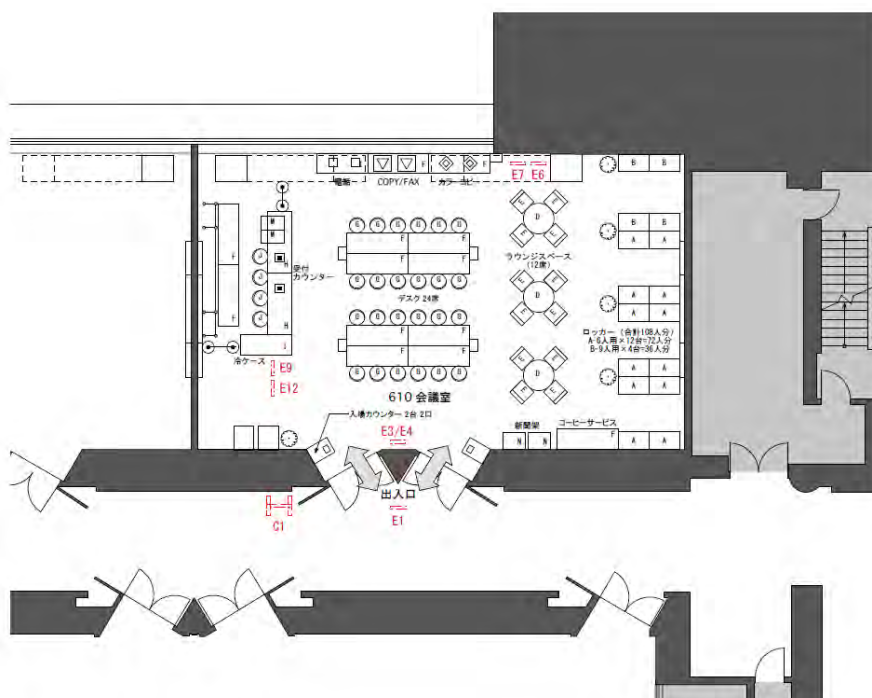
【会議棟6F】

- ① ラunch／ドリンクサービス
ランチ（11:00より先着順〈お一人様1食ずつ〉）
- ② プレスバッグ配布（お一人様1セット）
- ③ カメラメンテナンスサービス（カメラ点検・清掃・デジタルカメラ充電サービス）
（協力：キヤノンマーケティングジャパン株式会社、および株式会社ニコンイメージングジャパン）
- ④ ネットワークサポートサービス

<会議棟：プレスデー（10月29日（水）～10月30日（木））レイアウト>



<会議棟：特別招待日／一般公開日（10月31日（金）～11月9日（日））レイアウト>



1) プレスブリーフィング・スケジュール

プレスデーにおいては、初日となる10月29日（水）は午前8時～午後6時、二日目となる10月30日（木）は午前8時～午後13時にかけて、プレスブリーフィングを実施する。

1) 完成車部門

2025年10月24日時点

<第1日>	東4-6ホール		西1ホール		南1-2ホール	
10月29日（水）	乗用車・商用車・二輪車		乗用車		乗用車	
8:30 ~ 8:45					○	トヨタグループ (センチュリー、レクサス、 トヨタ、ダイハツ)
8:45 ~ 9:00						
9:00 ~ 9:15						
9:15 ~ 9:30						
9:30 ~ 9:45						
9:45 ~ 9:55	移動（10分）					
9:55 ~ 10:10			○	BMW MINI [共同]		
10:10 ~ 10:25			○	三菱		
10:25 ~ 10:40			○	日産		
10:40 ~ 10:55						
10:55 ~ 11:15	移動（20分）					
11:15 ~ 11:30	○	ホンダ				
11:30 ~ 11:45	○	スズキ				
11:45 ~ 12:00	×	カワサキ				
12:00 ~ 12:15		ヤマハ				
12:15 ~ 12:30	○	マツダ				
12:30 ~ 12:45		SUBARU				
12:45 ~ 13:00	○	メルセデス・ベンツ				
13:00 ~ 13:15		Hyundai				
13:15 ~ 13:30	○	いすゞ				
13:30 ~ 13:45		UDトラックス				
13:45 ~ 14:00	○	日野				
14:00 ~ 14:15	○	三菱ふそう				
14:15 ~ 14:30	○	Kia				
14:30 ~ 14:45	○	BYD				
14:45 ~ 15:00		[乗用車・商用車 共同]				

※ ○:同時通訳 △:逐次通訳 ×:不使用

2) 部品・次世代モビリティ関連部門

2025年10月24日時点

<第2日>	東4-6ホール	東7・8ホール	西1ホール	西3-4ホール
10月30日(木)	部品	モビリティ関連 / コラボレーション	モビリティ関連	部品
8:20 ~ 8:30			○ SCSK	
8:30 ~ 8:40			× 住友三井オートサービス	
8:40 ~ 8:50			移動(10分)	
8:50 ~ 9:00	△ 市光工業/Valeo Japan			○ 豊田合成
9:00 ~ 9:10	移動(10分)			× ジェイテクト
9:10 ~ 9:20		× T2		× アイシン
9:20 ~ 9:30		三菱重工機械システム		× 曙ブレーキ
9:30 ~ 9:40		シャープ		× ヨロズ
9:40 ~ 9:50		○ 三菱電機モビリティ		× 日本発条
9:50 ~ 10:00		× ヤマトモビリティ&Mfg.		× カヤバ
10:00 ~ 10:10		× 自動車整備人材確保・育成推進協議会/国土交通省		-
10:10 ~ 10:20		□ツテ		○ 矢崎総業
10:20 ~ 10:30		× 関西電力		○ 小糸製作所
10:30 ~ 10:40		-		○ デンソー
10:40 ~ 10:50		glafit		△ 豊田自動織機
10:50 ~ 11:00		ARAV		○ Astemo
11:00 ~ 11:10		△ Xperi		三五
11:10 ~ 11:20		↓ 移動(10分)		○ TPR
11:20 ~ 11:30		日本RV協会		○ ボッシュ
11:30 ~ 11:40				○ トヨタ紡織
11:40 ~ 11:50				住友ゴム
11:50 ~ 12:00				× プリヂェストーン
12:00 ~ 12:10				ハイリマレリジャパン /Shanghai Highly

※ ○:同時通訳 △:逐次通訳 ×:不使用

2) デジタルアルバムサービス

メディア向けサービスの一環として、2003年より導入したオンライン上におけるデジタルアルバムサービスを継続実施する。主催者が撮影したオフィシャル写真として、会場（入退場ゲート、展示ホール俯瞰、出展物等）や、主催者プログラム及び関連イベントの様子や雰囲気伝える写真を、高解像度（DTPの使用に耐えられるレベル）で公開するものである。

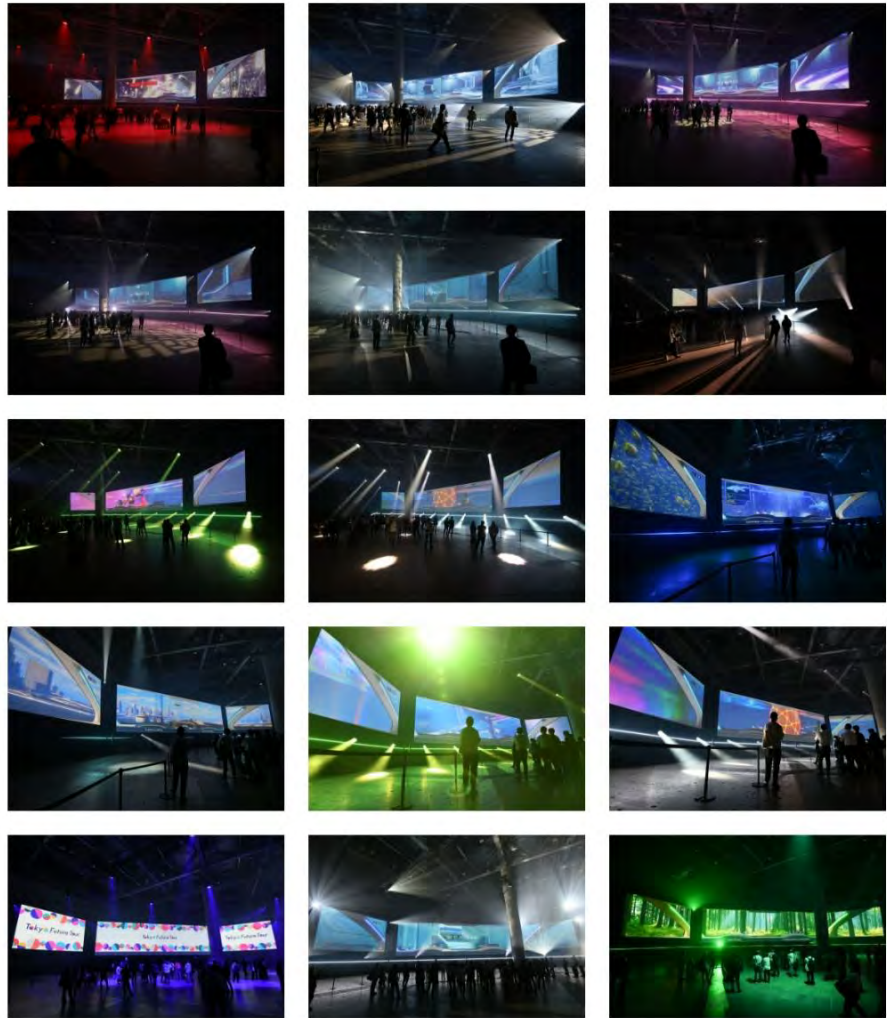
Japan Mobility Show

デジタルアルバムサービス実績（2023年）

2023 Show Pics.

会期中画像：Tokyo Future Tour（全89枚）

- ▼オープニングセレモニー
- ▼JMS 2023 大反省会
- ▼乗用車
- ▼商用車
- ▼二輪車
- ▼車体
- ▼部品・機械器具
- ▼次世代モビリティ関連
- ▼主催者プログラム
- Out of KidZania in JMS2023
- Tokyo Future Tour**
- Startup Future Factory
- Japan Future Session
- H2 Energy Festival
- モータースポーツ(屋内)
- モータースポーツ(屋外)
- 試乗プログラム
- グルメキングダム
- 自動車ジャーナリスト(AJA)と巡るジャパンモビリティショー
- ▼コラボレーション
- ▼その他



公開期間：催事開催期間中（10月29日（水）18時頃より順次公開）

公開場所：<https://www.japan-mobility-show.com/press/>

ユーザー名：pressonly

パスワード：jms20251029mobishow

8. 特別企画

1) 自動車ジャーナリスト（AJAJ）と巡る Japan Mobility Show 2025

日本自動車ジャーナリスト協会（AJAJ）の会員有志がガイドとなり、専門家の視点で Japan Mobility Show 2025とクルマの魅力をガイドする有料ツアーを実施する。

参加は事前予約制とし、公式アプリより参加券を購入いただく。

募集人数は会期を通して1,440名を予定。参加者はワイヤレス・インカムヘッドセットを着用いただくことで、案内役のジャーナリストの説明を会場内でもストレスなく聞くことができる。

コンセプトカーを展示しているステージに登壇できたり、車両への乗り込みができるなど、AJAJガイドツアー参加者だけが体験できる特別なコンテンツで、各社ブースの見どころを楽しんでいただける予定。

更に、AJAJガイドツアー参加者にはスペシャルなお土産も用意する。

【実施概要】

①実施日

10月31日（金）・11月4日（火）～11月7日（金）〈5日間〉

特別招待日/障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日：10月31日（金）＝2回実施

一般公開日：11月4日（火）～11月7日（金）の4日間＝1日あたり4回実施

②参加人数（予定）

1,440名 ※1回当たり5グループ（1グループ16名想定）

③参加申し込み

Japan Mobility Show 2025 公式アプリにて9月30日（火）より販売
（定員になり次第販売終了）

④参加費

1,500円

2) 小学生特別見学

小学生を対象に自動車産業への興味・関心の創出、社会科学習の一環として、過去10回「小学生見学」を実施し、これまでの総見学者数は、延べ377校32万人に達している。（前回ショー実績：25校1,958人）

また、前回に引き続き、キッズニアとのコラボにより、小学生に職業体験を提供する「Out of KidZania」を実施。参加希望校を本プログラムに招待し、生徒には様々な職業体験をしていただく。ジャパンモビリティショーにおいても次世代のクルマユーザーとなる子供たちに自動車産業の現状と未来に触れていただく企画として実施する。

【開催概要】

①実施日程（予定）

11月4日（火）～11月7日（金）〈4日間〉

※こども向け職業体験「Out of KidZania in JMS2025」は、枠数が定員になり次第、受付終了。

②募集方法

オフィシャルWebサイトにご案内を掲載する他、一般社団法人日本移動教室協会より、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の小学校へ申込み案内

③参加料

無料



3) 障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日

東京モーターショーでは、第37回（2003年）から第43回（2013年）まで、実施していた「車いす利用者特別見学日」を、第44回（2015年）より、車いす利用者に限定することなく、ご要望が多かった障がい者手帳をお持ちの方の方向けに拡大し、Japan Mobility Show 2025においても、引き続き「障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日」として、特別招待日（10月31日（金））に設定する。9月30日（火）までオフィシャルWEBサイトにて募集。

【実施概要】

実施日時：10月31日（金）9:00～19:00

参加対象：障がいの種類、等級関係なく、障がい者手帳をお持ちの方で、会場までご自身、または付添者の補助によりご来場し、見学することが可能な方。

※障がい者手帳をお持ちのご本人様1名に対し、必要な介助ができる付添者は1名様まで同伴可能。ただし、車いすをご利用される場合は2名様まで同伴可能。

入 場 料：無料。ただし、障がい者手帳とお申し込み確認メールの提示が必要。

※10月31日（金）当日限り

9.

その他企画

1) サテライト会場

下記の12の施設にご協力をいただき、Japan Mobility Show 2025のサテライト会場としてオリジナルグッズのプレゼント企画や、告知協力企画を実施する。

■サテライト会場での限定トミカステッカー配布

各サテライト会場で配布されるチラシからJapan Mobility Show 2025公式アプリをDLしていただくと、その場でJMS限定トミカとトムのステッカーをプレゼント。

※先着順、ステッカーがなくなり次第終了



■東京ビッグサイトでのエコバッグプレゼント

Japan Mobility Show 2025会期中に、サテライト会場にて配られるチラシを、東京ビッグサイト本会場の各メーカーブースにお持ちいただくとオリジナルエコバッグをプレゼント。

※先着順、エコバッグがなくなり次第終了



■ サテライト会場一覧



【いすゞプラザ】
〒252-0881 神奈川県藤沢市
土棚8 いすゞプラザ



【Sports Café & Bar ARENA Miraie】
〒135-0064 東京都江東区
青海一丁目3番1号



【INTERSECT BY LEXUS Tokyo】
〒107-0062 東京都港区
南青山4-21-26



【NISSAN CROSSING】
〒104-0061 東京都中央区
銀座五丁目8番1号



【日産 グローバル本社ギャラリー】
〒220-8686 神奈川県横浜市
西区高島一丁目1番1号



【日野オートプラザ】
〒192-0916 東京都八王子市
みなみ野5丁目28番5号
日野自動車21世紀センター



【ホンダコレクションホール】
〒321-3597 栃木県芳賀郡
茂木町松山120-1



【MAZDA TRANS AOYAMA】
〒107-0062 東京都港区
南青山5丁目6-19



【三菱自動車本社ショールーム】
〒108-0023 東京都港区芝浦
3丁目1番1号msb Tamachi 田町
ステーションタワーN 1F/2F



【ヤマハ イーライド ベース】
〒220-0012 神奈川県横浜市西区
みなとみらい5-1-2横浜シンフォス
テージイーストタワー 1F



【BMW Group Tokyo Bay】
〒135-0064 東京都江東区
青海2-2-15



【Hyundai Customer Experience
Center 横浜】
〒223-0059 神奈川県横浜市港北区
北新横浜2丁目2-1



【ヒョンデみなとみらい本社
ショールーム】

〒220-0012 神奈川県横浜市西区
みなとみらい3丁目3-3
横浜コネクスクエア1F

■NearMe連携施策

ジャパンモビリティショー2023の「Pitch Contest & Awards」でグランプリを受賞したニアミーと連携し、Japan Mobility Show 2025の本会場である東京ビッグサイトとサテライト会場（一部）への送迎サービスを実施。

また、サテライト会場以外にも東京ビッグサイト周辺の主要駅への送迎サービスも実施いたします。

【企画概要】

日程：2025年10月30日（木）～11月9日（日）

内容：NearMeサービスサイト上にてJapan Mobility Show 2025との連携施策の特別サイトを開設。NearMeへのアカウント登録の後、ご利用いただけます。

サイト：<https://app.nearme.jp/town-shuttle/jms/>



株式会社NearMe（<https://nearme.jp/>）

移動の「もったいない」を解決し、1人でも多くの人々が、自由に移動でき、住みたい街に住み続けられる社会を実現することをミッションに掲げ、まずは、リアルタイムの位置情報を活用して地域活性化に貢献するマッチングプラットフォームになるべく、シェアリングエコノミーのMaaS領域から事業活動をスタート。

2019年8月より空港送迎型のエアポートシャトルを運営し、独自AIを発展させ、ルーティングの最適化技術を確立。この技術を活用し、不特定多数ではなく少数かつ誰が乗車したか追跡できる方法で活用していただける街中でのシェア乗りサービスなどを展開しています。また、国土交通省が2025年度より取り組む「地域交通DXの推進に向けた相乗りタクシーの活用促進のための実証調査業務」や、「地域交通DX:MaaS2.0」における「リアルタイム相乗りタクシーマッチングシステム開発プロジェクト」において、シェア乗りサービスがそれぞれ採択されました。なお、ニアミーは、「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」（主催：一般社団法人日本自動車工業会）の開催期間内に行われた日本最大級のピッチイベント『Pitch Contest & Award』でグランプリを獲得、さらに、100以上の国と地域で予選が開催される世界最大級のスタートアップコンペティション「スタートアップワールドカップ2025」（主催：株式会社ベガサス・テック・ベンチャーズ・ジャパン）東京予選で3位に入賞しました。また、デロイト トーマツ グループが発表したテクノロジー企業成長率ランキング「Technology Fast 50 2024 Japan」で333.8%の収益（売上高）成長を記録し、17位で2年連続の受賞を果たしました。

2) 一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会との連携企画

一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会（以下まち協）会員の該当施設をJMS公式アプリ内の東京ビッグサイト周辺施設を紹介するワクワクOdaiba Tourを掲載。ワクワクOdaiba Tourでは、臨海エリアのおすすめコースを見ることができ、アプリ限定のクーポン情報を載せて臨海副都心エリアの訪問に繋げ、JMS会場との相互回遊をはかる。

【企画概要（予定）】

日程：2025年10月29日（水）～11月9日（日）

内容：まち協会員の該当施設を会場周辺施設情報としてJMS公式アプリにて紹介。

アプリ上で表示される各施設で使えるクーポンを掲載。

10. 告知企画

Japan Mobility Show 2025への来場喚起を狙い、統一ビジュアルを使用した、自工会会員各社 TVCM内での開催告知に加え、WEBCM素材を制作し集客告知を実施。

また、実施する会員各社SNS等のオウンドメディアでの誘致施策、各コンテンツにご協力いただき著名人やインフルエンサーの皆様からもSNSを中心に情報発信を実施する。

1) ぶら下がりCM

統一ビジュアルを使用した、TVCM内での開催告知。

国内メーカーのCM枠を活用し、Japan Mobility Show 2025のぶら下がり告知CMを実施。

素材①



いくっしょモビショー!



ジャパンモビリティショー!

素材②



のりものたくさん!



ジャパンモビリティショー!

2) WEBCM

いくっしょ、モビショー一篇



動画URL : https://youtu.be/IRF_ABe5XaM

クルマ好きなら、いくっしょ一篇



動画URL : <https://youtu.be/sZS4cFAlmG0>

家族みんなで、いくっしょ一篇



動画URL : <https://youtu.be/nv1LrmDNhI>

みらいを覗きに、行くっしょ一篇



動画URL : <https://youtu.be/DJKPDPu7nj4>

3) オウンドメディア

Japan Mobility Show 2025への来場喚起及びパブリックへの情報リーチとして、以下の媒体（オウンドメディア）を活用してPRに努める。

■公式WEBサイト

Japan Mobility Show 2025の見どころなど、来場者に有用な情報を公式WEBサイトで発信。ショーの概要や出展者企業・団体などの基本情報に加え、来場者ホスピタリティの周知や主催者プログラムの概要、各種プログラム・イベントなども紹介。Japan Mobility Show 2025公式WEBサイトは、一般来場者・プレス・出展者向けにそれぞれのページを構築し、役割に合わせた情報やサービスを提供し、今後も順次コンテンツを拡充していく。

①一般来場者ページ

出展内容やイベント情報、飲食施設などの開催情報やチケット情報、アクセス、プレスリリース等の公式情報の他、入場券販売やホテル予約サービスも提供する。

② プレスページ

取材に必要なプレスカードを発行するための事前登録やプレスセンターの設備、プレスブリーフィングスケジュール、Japan Mobility Show 2025の報道向けオフィシャル写真がダウンロードできるデジタルアルバムサービスなどを提供する。

Japan Mobility Show 2025 公式WEBサイト

<https://www.japan-mobility-show.com/>



■ 自工会公式SNS

自工会公式SNS（X、Instagram、YouTube）をJapan Mobility Showの公式SNSとして活用し、情報発信を強化。出展者とも連携を行った上で、鮮度の高い情報を発信。ショーの盛り上げ及び必要な情報発信につなげる。

【掲載内容】

①Japan Mobility Show 2025に関するオリジナルソースの投稿

Japan Mobility Show 2025および関連イベントに関する告知、実施状況（荒天時）、混雑状況（予約情報等）、主催者プログラムの紹介、出展者の目玉コンテンツ紹介、日替わりイベント情報、グルメ情報、来場者数 の報告等。

②クルマ・バイクファンの拡大に資する各社・他団体ソースの投稿

各社の新車発表会やファンイベント等、自工会以外が主催するクルマ・バイク関連イベント等に関する情報。

③お出かけ好きやファミリーなどあらたなファン獲得に向けた投稿

お出かけスポットとしてのJapan Mobility Showの紹介などを通じてすべての人が楽しむことができるイベントであることを発信

④その他、出展社アカウント等による投稿のシェア・リポスト

自工会公式SNS

https://x.com/JAMA_jpn/

<https://www.facebook.com/JAMA.jpn/>

https://www.instagram.com/JAMA_jpn/

<https://www.youtube.com/c/日本自動車工業会/>



■未来モビリティメーカー

URL:<https://mmm.japan-mobility-show.com/>

生成AIを活用した未来モビリティのデザインスタジオをWEB上に構築。

個性豊かなAIデザイナーたちが、利用者の未来を叶えてくれる乗り物をデザイン。



未来は、みんなで作るもの

未来 MIRAI モビリティ メーカー

MOBILITY
MAKER

遊び方は簡単 3ステップ!

STEP 01 一緒につくるAIデザイナーを選ぶ
それぞれの個性をプロフィールで確認し、
気になるデザイナーを選択しましょう。

STEP 02 プロフィールを入力する
すぐさま未来モビリティをつくるために、
あなたのことを教えてください。

STEP 03 AIデザイナーと会話する
質問に答える中で、ワクワクする未来を
一緒にふくらませていきましょう。

未来モビリティ完成!
あなたのワクワクがモビリティに!
ぜひいろんな未来モビリティをつくってみましょう!

選べるAIデザイナーは5種類!

 <p>未来は、 みんなで作るもの!</p> <p>まっすぐデザイナー Nao</p>	 <p>未来は、 みんなで作るもの!</p> <p>クラシックカーデザイナー シムカ</p>	 <p>鉄塊に体温を、 宿す。</p> <p>スーパーカーデザイナー 造 (つく)</p>
 <p>ん〜 ビルドアップ!</p> <p>パワーデザイナー ちょうたろう</p>	 <p>おっけー! 揮盛りしとくね!</p> <p>ギャルデザイナー もびしよび</p>	

あなただけの
未来モビリティをつくってみよう!

スマホでアクセス



※画像生成には利用規約への同意が必要です。
※画像生成には30秒〜1分程度かかります。
※AIの特性上、入力内容と異なるイメージが生成される場合もございます。

11. 来場者サービス

1) Japan Mobility Show 2025 公式アプリ

Japan Mobility Show 2025の公式アプリ「Japan Mobility Show (JMS)」は、前回の「推しモビ」から、よりお客さまがJapan Mobility Show 2025を快適に楽しめるためのアプリへと生まれ変わりました。会場案内やタイムテーブル、出展者の情報など、ショーを楽しむための基本情報はもちろん、体験コンテンツの予約、フード、グッズまで様々な情報を確認できます。

① ワクワクナビでめいっぱい楽しもう！

ワクワクナビを使えば、お客様の趣味や目的に合ったコースプランの設定や、自分だけのオリジナルコースの作成ができ、会場を効率的に回る予定を立てられます。初めて「モビショー」に参加される方でもめいっぱい楽しめる、そんな新機能です。

② チケット管理、体験コンテンツも予約も公式アプリで！

入場チケットをアプリに取り込んで、一括管理ができるほか、会場での体験コンテンツの事前予約などもできるので、スマートフォンで「モビショー」を楽しめます。

③ デイリープログラムもパッと確認！

「モビショー」開催中、毎日行われるステージプログラムを一覧表示。気になるステージはお気に入り登録をしておけます。

④ フードエリアの混雑表示も搭載！

大人気フードもアプリで待ち時間を確認してスムーズに利用が可能です。

その他にも便利な機能が満載です。ぜひダウンロードしてお試しくささい。

Japan Mobility Show 2025 公式アプリ「Japan Mobility Show (JMS)」のダウンロードはこちらから！



※画面はイメージとなります。

一部、実際の仕様とは異なる場合がございます。

2) 自動車ガイドブック

東展示棟 5・7ホール、西展示棟 2ホール、南展示棟 3ホールに、それぞれ1ヵ所の計4ヵ所にガイドブックストアを設置する。国産車を網羅した唯一の年鑑本である「自動車ガイドブック2025-2026年版（第72巻）」をはじめ、人気のエコバッグ2種（500円/1,000円）や日刊自動車新聞社発行の公認ガイド「ジャパンモビリティショーガイド2025」（監修：一般社団法人 日本自動車工業会、1,200円〔税込〕）も販売する。また会期中のみ有効な「自動車ガイドブック引換券」による引き換えも同販売所にて行なう。

【自動車ガイドブック 2025-2026年版（第72巻）の概要】

国産車を網羅した唯一の年鑑本である「自動車ガイドブック」は約600台の車をスペック付、オールカラーで紹介しているため、資料として優れた1冊となっている。

巻頭特集は「モビリティのひみつ大図鑑」。「モビリティの歴史」をテーマに、学習まんがのイメージでわかりやすく解説。大人は懐かしみながら楽しめる内容でありつつ、子どもは昔のクルマ・バイクを知ることができ、親子でも一緒に楽しく過去～現在～未来、3つの時代からモビリティが学べる特集。

10月29日（水）のプレスデー初日から Japan Mobility Show 2025会場および全国書店にて販売する。また前巻に引き続きマガストア、ebookjapanで電子版を販売する。

① 発行日

2025年10月29日（水）

② 体裁

A4判、約300頁

③ 販売価格

1,300円（消費税込）

電子版 917円（消費税込）

④ 販売場所

Japan Mobility Show 2025会場、
全国書店、ブックサービス（通信販売）、
マガストア/ebookjapan（電子版）



4) 出展者プレミアムグッズ

オフィシャルグッズショップに加え、第40回東京モーターショー（2007年）より、出展者プレミアムグッズショップを運営。このようなメーカーの垣根を越えたショップ形態は、世界的に見ても珍しくJapan Mobility Showの魅力の1つとして、来場者の皆様にご好評をいただいているので、引き続きJapan Mobility Show 2025でも運営を実施。出展者プレミアムグッズショップは、東展示棟7ホールに設置し、今回は国内外から12ブランドが参加予定。

【参加予定ブランド】

SUBARU、ダイハツ、トヨタ（TMC・ガスレーシング・レクサス）、日野、ホンダ、マツダ、メルセデス（ベンツ・AMG）、ヤマハ発動機、鈴鹿サーキット

2025年10月15日時点

5) グルメ

食べながら仲間と会話をしたり、次に回るエリアを考えたり——そんな時間もモビショーの楽しみのひとつ。今年の会場グルメは「JMSグルメストリート」と称し、総勢40店舗のキッチンカーが東京ビッグサイトの各所に出店します。例年人気を博している西展示棟屋上エリアでは、多数の受賞歴やメディア掲載実績のある有名店がジャンルを超えて一堂に会し、東展示棟の屋外ではあらゆるグルメフェスやイベントに出店するキッチンカーの精鋭たちが、そして南展示棟にはスイーツを中心に軒を連ねます。各エリアの特色あふれる“モビ飯”をぜひお楽しみください！

■新タイトル・キービジュアル



■フードマップ



■デザイナー

ELLYLAND (@ellyland)



東京生まれ。2019年から絵を描き始め、同年7月に初個展を開催。誰にでもあるような日常をポップな色使いとくっきりとした黒のゆるい線で表現。その絵の前後の物語を想像したくなるような一瞬を描く。個展やグループ展、デザイン提供など精力的に活動中。クライアントワーク：ANTI SOCIAL SOCIAL CLUB、マカロニえんぴつ、MIYASHITA PARK、クレープハイブ、JAPAN BURGER CHAMPIONSHIP 2025、東京スカバラダイスオーケストラ、ストレイテナー、爆笑お笑いフェス、FRAPBOISなど

①西エリア（西展示棟 屋上展示場）

Japan Mobility Showのグルメ会場としてお馴染みの西展示棟屋上には、なかなか予約の取れないお店や行列のできる人気店、メディア取材多数の有名店、グルメガイドに掲載の名店が立ち並びます。さまざまなジャンルのグルメからぜひお気に入りの一品を！



●Japanese Spice Curry wacca／2種あいがけ 出汁チキン & スパイシーキーマ



スパイスカレー全盛期の大阪で創作カレージャンプリを獲得し、東京移転後も日本中のカレー店から選出されるジャパニーズカレーアワードや食ペログ百名店など数々の賞を受賞。出汁カレーを東京、そして日本に広めたwaccaが作るネオジャパニーズカレーです。

●麦の道すぐれ／貝だし鶏白湯らーめん



ミシュランと食ペログ百名店を獲得した麦の道すぐれが帆立、蛤、浅利の出汁と濃厚鶏白湯を合わせたWスープに、ローストした肩ロースと醤油タレで煮込んだ豚バラの2種類の叉焼、麺は国産小麦の香る細麺でJMS限定ラーメンを完成させました。

●ペルー料理ALDO／パン・コン・チチャロン（ペルー風ポークサンド）



世界一の朝食にも選ばれたペルーの絶品ポークサンド。先住民の食文化にヨーロッパ、アフリカ、アジアからの移民が持ち込んだ食文化が融合して生まれたのがペルー料理。多様な食文化から生まれたペルーの美食をALDOでお楽しみください。

●鳥開 総本家／名古屋コーチン親子丼



どんぶりグランプリ金賞受賞11回。
地鶏の王様名古屋コーチンを使用した日本一の親子丼。
歯ごたえ旨味の濃いお肉をふわふわ玉子と秘伝割り下でお召し上がり
ください。

●ブラジルグリル／シュラスコ



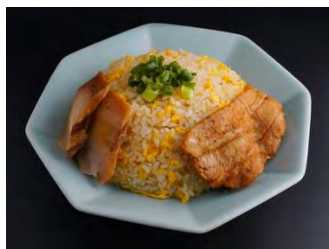
肉の旨み凝縮！絶品シュラスコをどうぞ！
岩塩で引き出す肉の旨み。炭火焼の香ばしさと、特製ソースの爽やかな
アクセントで、豪快なブラジルBBQを楽しめます。

●流しのビリヤニ／ハイデラバードチキンビリヤニ



スパイスの炊き込みご飯「ビリヤニ」を、流しのスタイルで様々なイ
ベントで提供し、その美味しさを広めています。
東京日本橋と静岡で、実店舗「ビリヤニ炊爨室」も営業中です。

●中華 味一／味一特製焼豚炒飯



多数のTVやメディア、有名人御用達の町中華。
東京5大炒飯にも選ばれた炒飯に20年以上継ぎ足しの門外不出の秘伝
の焼豚ダレで煮込んだ2種の部位の違う焼豚を盛ったスペシャルメ
ニューを提供！

●EFE KEBAB／ケバブサンド



ケバブグランプリ3年連続優勝！
トルコから直輸入のハーブとスパイスを使ったマリネードに一晩漬け
込んで焼いた絶品ケバブ。

●焼肉ホルモン新井屋／常陸牛ステーキ丼



数々の食通が太鼓判を押す『焼肉ホルモン新井屋』。
高円寺本店、阿佐ヶ谷、渋谷、渋谷はなれ、渋谷にかい、と都内に5
店舗を展開する人気焼肉店。最大の自慢は、長きにわたり信頼関係を
築いてきた卸売業から仕入れる、高品質で鮮度抜群の和牛&ホルモ
ン。

●鎌あいな／鎌倉からあげ



鎌倉で地元の人に愛されて15年！

今年行われた日本唐揚協会 第16回からあげグランプリで史上初となる最高金賞二部門同時受賞!!食べた瞬間カリッと広がる香ばしさとその後訪れる素材本来のジューシーな味わいが魅力の鎌倉からあげ!店主自らその場で作る揚げたてをぜひご賞味下さい。

●焼肉ダイニングりんご苑／和牛炙り焼肉丼



創業昭和59年、山形県内を中心に展開する焼肉チェーン「りんご苑」。

旨味の濃い和牛バラをさっと炙り焼きにして自家製ダレ、温玉、スパイス等をトッピングした極上焼肉丼!

●ZZZ365 (ジージーサンロクゴ) / DEEP SALT (ディープソルト)



Japan French Fries Championship 2024年2025年2年連続で日本一に輝いた北海道のフライドポテト専門店「ZZZ365(ジージーサンロクゴ)」。十勝の農家さんがつくる365日以上寝かせた特別なじゃがいもを使用した熟成フライドポテト。今までにないジャガイモ自体が旨くてたまらないこの味をぜひお試しください…。きっと覚醒します。

●神戸芋屋 志のもと／焼き芋



全国やきいもグランプリで3度の日本一になり、殿堂入りを果たした日本一の焼き芋屋。今流行りの芋スイーツ店ではなく、ホンマモンの焼き芋専門店です。

●富良野ジンギスカンひつじの丘／サフォークジンギスカン



富良野岳の麓、畑の中にポツンとある富良野ジンギスカンひつじの丘です。2度発行された北海道ミシュランガイドに連続掲載、最近では帰れマンデー見つけ隊!!でもご紹介いただきました。

サフォークジンギスカンは、臭みも無くお肉もとても柔らかくそれでいて旨味の加わった当店一押しの一品となります。

●Burger POLICE / ス克蘭ブルエッグバーガー



和牛赤身肉を少しでも身近な存在として感じてもらいたい!という強い思いからバーガーボリスのパティは脂と赤身の比率や牛の部位を厳選した最高に美味しい状態の和牛肉を使用しております。ピストロシェフによる味付けでどこにもない和牛がマッチするバーガーをお楽しみください!

②東エリア-1（東展示棟 東4-6ホール・屋外トラックヤード）

東展示棟の屋外トラックヤードを活用した広々空間に、音楽フェスや全国イベントを盛り上げてきた実績豊富な人気店がずらっと肩を並べるエリア。青空の下、バラエティ豊かなメニューで来場者をお迎えます。

●仙台牛タン専門店 陣
中ねぎ塩牛タン丼



●STEAK HOUSE UJ牛
ステーキ丼



●多幸家
たこ焼き



●田中鮮魚店
うにいくら丼



●勝升KACHIMASU
柔らか霜降りサーロインの牛とろかつ重



●ラキア
名古屋コーチン入り焼き鳥盛り合わせ



●王府井〜ワンフーチン〜
焼き小籠包



●諭吉のからあげ
骨なしからあげ



●さのめん
牛カルビ焼きそば



●台湾食堂 八福
魯肉飯（ルーローハン）



●Hungry Drive 1991
炙りチーズタコライス



●おにぎり まんま
卵黄醤油漬け



③東エリア-2（東展示棟 東6-7ホール・屋外トラックヤード）

東展示棟の回遊道路には、片手で楽しめる「ワンハンドグルメ」がずらり。気軽に味わえるメニューが揃い、小腹を満たしたい方におすすめ。寄り道気分を味わいたい方はぜひこのエリアへ！

●佐世保にくいち
佐世保バーガー



●三代目岩崎本舗
長崎角煮バーガー



●金熊食堂真喜屋
米沢牛コロッケ



●Like
ホットドッグ



④東エリア-3（東展示棟 東8ホール・屋外トラックヤード）

クラシックカーやキャンピングカー、働くクルマが並ぶ空間で、車の魅力と食を同時に体験できるエリア。眺めて、食べて、語らう、趣味とグルメが交差する、クルマ好き必見のエリアです。

●EFES STREET KITCHEN
スペシャルケバブサンド



●福笹
京風たこ焼き



●天寶堂
黒毛和牛牛串



●龍球食堂 ゆいま〜る
ゆいま〜るスペシャル塩焼きそば



●ローストチキンコオロギ
ローストチキン



●futabacraft
イタリアンジェラート



⑤南エリア（南展示棟 屋外トラックヤード）

南展示棟の路地裏感漂うトラックヤードに、スイーツや軽食のキッチンカーが勢ぞろい。甘いスイーツやコーヒーでホッとひと息つける、休憩にぴったりのエリアです。

●エスキモーカフェ
ジェラート/アイスクリーム



●TOKIJIRO
夕張メロンけずり



●Maison Bretonne ガレット屋
ガレットシザーサラダ



●the Waffle's
ワッフルクリームサンド



6) インフォメーション

来場者の入場口として設ける3ヶ所のゲート（中央・西1F・東）前に、来場者向けインフォメーションを設置する。また、会場内ではエントランスホール、アトリウム、南展示棟3ホール、ガレリア1Fの4ヶ所に設置し、各種お問い合わせに対してご案内をする他、エントランスホールのインフォメーションでは迷子の保護も行なう。

7) 救護所

東展示棟、西展示棟、南展示棟に各1ヶ所ずつ救護所を設置。開場時間中、看護師が常駐し急病や怪我などの応急対応にあたる。開設期間は、10月29日（水）～11月9日（日）の開場時間内。

8) 乳児・幼児サービス施設

ファミリー層へのホスピタリティ向上の一環として、授乳やオムツ交換の出来る施設を南展示棟とアトリウムに設置する。また、会場各所には既存の授乳室やおむつ交換台が設置されている。

9) ビジター＆ビジネスセンター

2Fエントランスホールに常設されている「ビジター＆ビジネスセンター」では、展示会ビジネスを円滑に進める上で、必要なサポート業務（有料）を提供している。コピーサービス、ファックスの送受信、フリースポット（公衆無線LAN）、PCスペース、データ出力、大判出力・パネル加工、スピード名刺、ラミネート、各種レンタル、荷物預かり・保管を行なっている。

10) 休憩ゾーン／福祉対応

東展示棟トラックヤード、東展示棟と東新展示棟の間、西屋上展示場、西・南展示棟間を休憩ゾーンとする他、展示ホール内および会場各所に一般来場者用の休憩ベンチと高齢者向けのプライオリティシートを設置する。

12. スポンサーシップ・プログラム

1) 概要

Japan Mobility Showは、自動車産業だけでなく、様々な産業を巻き込み、未来を創る多くの仲間と一緒に取り組みを推し進めています。今年はその中でも特にサポートをいただく3社をご紹介します。

■メインパートナー：SCSK株式会社

ITサービスを自動車産業含む様々な産業に提供している

SCSK株式会社様には、ブース出展に加え、ピッチコンテストや

ネットワーキングプログラムなど、ビジネス共創の、推進をサポートいただく予定です。



【SCSKがモビリティ社会の未来を変える！】

SCSK株式会社は、「Japan Mobility Show 2025」に、メインパートナーとして出展します。

SCSK株式会社は、ITを軸としたお客様や社会との共創による、さまざまな業種・業界や社会の課題解決に向けた新たな挑戦に取り組んでいます。

2035年には、ソフトウェアによってモビリティとITがつながり、移動空間そのものがユーザーの体験価値を生み出す時代になると考えています。その未来を先取りする形で、今回の展示では「IT企業がつくる完成車」を公開します。展示車両の車内にはAIが生み出す未来感あふれる「Intelligent Cockpit」を搭載し、移動の空間を、個々のライフスタイルや感情に寄り添う“体験の場”へと変えていきます。ぜひ、弊社ブースに足をお運びいただき、新たなSDV時代のモビリティ社会の実現に向けて、モビリティ産業を起点に様々な産業と共に未来を創っていく様子を感じていただければと思います。



Japan Mobility Show 西1ホール W1002にて出展中

■オフィシャルサプライヤー：LED TOKYO株式会社

Tokyo Future Tour 2035（トーキョーフューチャーツアーニーマルサンゴー）

内のLEDビジョンに加え、イベント全体でのLEDのご提供をいただくなど、開催に際して、多大なご協力をいただきます。



LED TOKYO株式会社は、ライブエンターテインメントとスポーツエンターテインメントを中心に屋内外の大型LEDビジョンからイベント演出用の特殊LEDまで幅広く展開し、打ち合わせから設置・本番運用・撤去までワンストップで対応しています。展示会、ライブ、コンサート、スポーツ、MV・CM・映画撮影、バーチャル撮影など多様なシーンで実績を有し、LEDならではの映像空間を創出。「未来のテクノロジーとサービスを提供することで世界を明るくする」というビジョンを掲げています。



■オフィシャルパートナー：住友三井オートサービス株式会社

継続してJapan Mobility Showにご出展いただいていることに加え、運営面でのサポートをいただきます。



SMAS（住友三井オートサービス）は、「Japan Mobility Show 2023」および「Japan Mobility Show Bizweek 2024」に続き、「Japan Mobility Show 2025」に出展します。カーリース業界のリーディングカンパニーであるSMASは、「サステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーム」を目指す姿として掲げています。クルマ社会の発展と地球環境の向上に貢献すべく、このたび「Japan Mobility Show 2025」のオフィシャルパートナーとしてイベントをサポートするとともに、弊社ブースにおいては、私たちが進める「移動革命」の現在地と未来のビジョンを【Safety】【MaaS】【Alliance】【Sustainability】の四つの軸でご紹介していきます。

SMASは、未来のモビリティ社会に向けた革新的なソリューションを提供し続けることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

会社HP:<https://www.smauto.co.jp/>

JMS2025特設サイト：

<https://www.smauto.co.jp/jms2025/>

Japan Mobility Show 2025 オフィシャルパートナー



2) タカラトミー

■トミカコーナー（タカラトミー）

第35回ショー（2001年）以来、子供から大人まで絶大な支持と人気を誇るトミカコーナー。今回も株式会社タカラトミーの協賛により、Japan Mobility Show 2025開催記念モデルを展示・販売。その他、様々なタカラトミーコンテンツが集合する。

※画像は2023年のJapan Mobility Showにおけるトミカコーナーの写真です。



© TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

13. 交通アクセス

東京ビッグサイト及び周辺駐車場の収容台数に限りがあり、特に会期中は混雑が予想されるため、事前広報パンフレットやJapan Mobility Show 2025 オフィシャルWEBサイトなどを通じて、「公共交通機関利用によるご来場のお願い」を告知する。

1) 鉄道

(1) りんかい線（「国際展示場」駅下車徒歩約7分）



(2) ゆりかもめ（「東京ビッグサイト」駅下車徒歩約3分）



2) 路線バス（東京ビッグサイト・中央ターミナル発着）

(1) 東京BRT



(2) 都営バス



※土日祝のみの運行バス

- ・東京ビッグサイト駅前バス停より急行05系統錦糸町駅前行約40分 急行06系統森下駅前行約25分
- ・東京ビッグサイト駅前バス停より急行05/06系統日本科学未来館行約15分

(3) JRバス 関東



(4) JRバス 関東



3) 水上バス (「東京ビッグサイト」下船徒歩約2分)

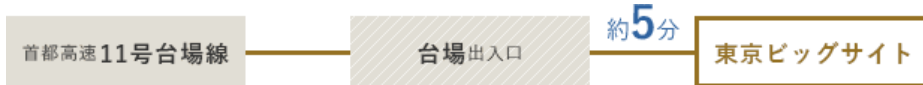


※月・火運休 (祝日は運航)

※不定期運行のため、最新の運行状況は[東京都観光汽船HP](http://www.tokyo-cruise.com/)にて確認が必要

4) クルマ

(1) 都心方面から



(2) 横浜・羽田方面から



(3) 千葉・葛西方面から



5) 駐車場一欄

東京ビッグサイト及び青海臨時駐車場、有明・台場地区の駐車場は次の通り。

駐車場名	収容台数	営業日	営業時間	駐車料金			
				乗用車	バス	二輪車	
東京ビッグサイト駐車場							
東棟屋外駐車場(東棟屋外+東雲)※3	2,014	10/29-11/8	7:00-18:00 出庫は23:00まで	250円/30分 上限1,500円	500円/30分 上限4,000円/回・日	-	
鉄鋼南臨時駐車場	110	10/31-11/9	8:00-18:00 出庫は23:00まで	1,400円/回・日	4,000円/回・日	-	
会議棟地下駐車場※1	62	10/22-10/28 10/31-11/12	8:00-22:00	250円/30分 上限2,000円	-	-	
南立体駐車場※2	349	10/22-10/28 10/31-11/12	8:00-22:00		-	-	
小計	2,535台						
有明東臨時駐車場 ※バス乗降場所、二輪車駐車場所	330	10/29-11/9	8:00-18:00 出庫は23:00まで	-	4,000円/回・日	300円/日	
有明客船ターミナル駐車場 ※二輪車専用	200	11/1-3 11/8,9 土日祝のみ営業		-	-	300円/日	
青海臨時駐車場							
青海臨時駐車場	1,532	10/31-11/9	7:00-22:00	2,000円/回・日	4,500円/回・日	-	
青海第二臨時駐車場	841		9:00-22:00				
青海北臨時駐車場	366		24時間	500円/1時間 以降30分毎250円			
青海東臨時駐車場	1,006		7:00-22:00	2,000円/回・日	4,500円/回・日		
小計	3,745台						
関係者駐車場 (関係者駐車場は出展者等の利用に限定)							
会議棟地下駐車場※1	62	10/29	7:00-22:00	-	-	-	-
南立体駐車場※2	349	10/29-11/9	10/29,30 7:00-22:00 10/31~11/9 8:00-22:00	-	-	-	-
東棟屋外駐車場(東棟屋外+東雲) ※3	2014	10/26-10/31, 11/9	10/26-28 24時間 10/29-31 7:00-23:00 11/9 12:00-24:00	-	-	-	-
東雲3駐車場※4	90	11/1-11/8	平日9:00-20:00 土、祝8:00~20:00 日8:00~19:00	-	-	-	-
西4Fトラックヤード※5	20	10/26-11/8		-	-	-	-
小計	2,535台						

(2025年10月22日時点)

※1 10/22(水)-28(火),10/31(金)-11/12(水):一般営業

10/29(水):「駐車パスカード」の事前購入(3,000円/日)が必要

10/30(木):主催者側で貸切

※2 10/22(水)-10/24(金),11/11(火)・12(水):一般営業

10/25(土)-10/28(火),11/10(月):「出展者入門証」又は「出展関係業者バッジ」の提示により有料利用

10/29(水)・30(木):「駐車パスカード」の事前購入(3,000円/日)が必要

10/31(金)-11/8(土):「出展関係者駐車券」/一般営業(障がい者向け)

11/9(日):「出展関係者駐車券」/「搬入出ステッカー(黄・緑・紫)」の提示により有料利用

/一般営業(障がい者向け)

※3 「出展関係者駐車券」が必要

※4 11/1(土)-11/8(土):「出展関係者駐車券」が必要。佐川ゲートから出入り。

※5 10/26(日)-28(火)は「出展関係者駐車券」で乗降のみ可

※駐車場の営業時間は予告なく変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

駐車場名	収容台数	営業時間				駐車料金		
		10/29-11/9	乗用車	バス	二輪			
TFTビル駐車場	450	7:00-23:00	250円/30分	-	-			
有明パークビル駐車場	250	24時間	最初の1時間500円 以降250円/30分	-	-			
有明フロンティアビル	141	7:00-22:00 出庫は23:00まで	07:00-23:00 440円/30分 最大料金1540円 23:00-07:00 110円/60分	-	-			
Dパーキング有明セントラルタワー	214	24時間	200円/30分 最大2,800円/日	-	-			
有明ガーデン	1,800	24時間	基本料金400円/30分 最大料金3,200円 (入庫後24時間) ※特定日は上記によらず	-	65台			
お台場海浜公園中央駐車場	101	24時間	最初の1時間400円 以降200円/30分	-	-			
シンボルプロムナード公園駐車場	A/119 B/115	24時間	最初の1時間400円 以降200円/30分	-	-			
潮風公園第二駐車場(南)	84	24時間	最初の1時間400円 以降200円/30分 最大1,600円/12h	最初の1時間 1000円 以降500円/30分	-			
潮風公園第一駐車場(北)	134							
台場フロンティアビル	118	7:00-22:00 出庫は23:00まで	07:00-23:00 440円/30分・最大1,500円/日 ※土日は最大2,200円/日 23:00-07:00 110円/60分	-	-			
青海フロンティアビル	62	7:00-22:00 出庫は23:00まで	07:00-23:00 660円/60分 最大1,980円/日 23:00-07:00 110円/60分	-	-			
テレコムセンター	306	7:00-22:00 出庫は23:00まで	07:00-23:00 660円/60分 最大1,870円/日 23:00-07:00 110円/60分	-	-			
アクアシティお台場	900	24時間	平日:500円/60分(以降250円/30分) 休日:600円/60分(以降300円/30分)	-	-			
デックス東京ビーチ	550	24時間(1F) 9:30~24:30 (最終入場22:45) (2F)	平日:300円/30分・最大1,500円/日 土日祝:400円/30分・最大料金なし	-	-			
ダイバーシティ東京	1,400	24時間	500円/60分(以降250円/30分)	-	-			



14. データ

1) 出展者名簿

東展示棟 4-6ホール

乗用車

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間面積 (㎡)	
EP01	本田技研工業(株)	105-8404	東京都港区虎ノ門2-3-3 丸の内	080-8911-1996	広報部	2,000
EP02	メルセデス・ベンツ日本(同)	261-7108	千葉県千葉市美浜区 中瀬一丁目1-1 新館8F	080-9269-3858	マーケティング・コミュニケーション部 カスタマー・エクスペリエンス課	800
EP03	BYD Auto Japan(株)	221-0056	神奈川県横浜市神奈川区金港町1-7 横浜グランドビル19F	080-4418-9564	マーケティング部	800
EP04	Hyundai Motor Company (株)	6797	ソウル特別市瑞草区献陵路12 韓国	070-9200-0510	マーケティングコミュニケーション	500
EP05	スズキ(株)	432-8611	静岡県浜松市中央区高塚町300	070-1058-7862	コーポレート戦略部	1,210
EP06	マツダ(株)	730-8670	広島県安芸郡府中町新地3-1	080-3279-0870	グローバルブランド推進部	1,130
EP07	(株)SUBARU	150-8554	東京都渋谷区恵比寿1-20-8 11"ダブルビル	03-6456-3867	マーケティング推進部メディア・カスタマーコミュニケーション	920

商用車

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間面積 (㎡)	
EC01	Kia PBVジャパン(株)	100-8691	東京都千代田区内幸町2-1-1	03-6871-2287	自動車第二部	500
EC02	三菱ふそうトラック・バス(株)	211-0023	神奈川県川崎市中原区大倉町10	044-331-2772	グローバル広報・マーケティング部	770
	岩谷産業(株)	105-8458	東京都港区浜松町2-3-1	03-5405-5711		
	在日ドイツ商工会議所	102-0075	東京都千代田区三番町2-4 三番町KSLビル5F	03-5276-8818		
EC03	いすゞ自動車(株)	220-8720	神奈川県横浜市西区高島1-2-5	080-7753-1893	広報部	1,700
	(株)ティアフォー	140-0001	東京都品川区北品川1-12-10 シェパードビル		Marketing & Communications	
EC03	UDトラックス(株)	362-0046	埼玉県上尾市巷丁目1	070-4802-7412	Brand and Communication	
EC04	日野自動車(株)	191-8660	東京都日野市日野台3-1-1	042-586-5494	渉外広報部 広報グループ	770
EC05	BYD JAPAN(株)	221-0056	神奈川県横浜市神奈川区 金港町1-7 横浜グランドビル19F	080-4955-6688	マーケティング部	500
EC06	ASF(株)	101-0047	東京都千代田区内神田3-22-3 IMP内神田ビル1F	03-6811-6035	車輛開発部	48

二輪車

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間面積 (㎡)	
EM01	カワサキモーターズ(株)	673-8666	兵庫県明石市川崎町1-1	070-1397-5353	営業本部 マーケティング部	380
EM02	ヤマハ発動機(株)	438-8501	静岡県磐田市新貝2500	0538-32-1150	ブランドマーケティング部	810
	ヤマハ(株)	430-8650	静岡県浜松市中央区中沢町10-1	053-460-1575	コーポレートブランディング部	
EP01	本田技研工業(株)	105-8404	東京都港区虎ノ門2-3-3 丸の内	080-8911-1996	広報部	
EP05	スズキ(株)	432-8611	静岡県浜松市中央区高塚町300	070-1058-7862	コーポレート戦略部	50

車体・屋内

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間数	
EB01	(一社)日本自動車車体工業会	105-0012	東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館	03-3578-1681	事務局	4

部品

小間 番号	会社名	本社 連絡先	電話番号	担当	小間数
E5001	Öhlins Racing AB	Instrumentvägen 8-10 Box722, SE-194 27, Upplands Vasby, Sweden			10
	株式会社カロッツェリアジャパン	121-0076 東京都足立区平野1-12-16	03-5851-1853	第一営業部	
E5002	浙江奥思備爾電動科技有限公司	Block D, No. 66 Dongxin Avenue, Binjiang District, Hangzhou, Zhejiang, China	+86-133-7241-3727	総務経理部	4
E6001	市光工業(株)	259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80	070-2268-2544	経営企画室CSR課	8
	(株)ガレオジャパン	140-0002 東京都品川区東品川4-12-1 品川シーサイドサウスタワー15F	090-7282-1035	広報部	
E6002	新電元工業(株)	100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル	048-483-5319	経営企画室企画部	10

東展示棟 屋外

車体・屋外

小間 番号	会社名	本社 連絡先	電話番号	担当	小間 面積 (㎡)
OB01	(株)花見台自動車	970-1144 福島県いわき市好間工業団地23-1	0246-36-7211	生産管理課	148

西展示棟 1ホール

乗用車

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間面積 (㎡)	
WP01	日産自動車㈱	220-8686	神奈川県横浜市西区高島1-1-1	080-1444-0012	ブランド&コミュニケーション戦略部	1,610
WP02	三菱自動車工業㈱	108-8410	東京都港区芝浦3-1-21	070-4870-5588	グローバルマーケティング企画部	1,050
WP03	ビー・エム・ダブリュー㈱	105-7308	東京都港区東新橋1-9-1東京汐留ビルディング 8F	070-2154-5657	BMWブランドマネージメント部	1,100

モビリティ関連

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間数	
W1001	住友三井オートサービス㈱	163-1434	東京都新宿区西新宿3-20-2 東京カネパビル	03-5358-6669	広報部	12
	BOLDLY㈱	105-7510	東京都港区海岸1-7-1東京ポトシティ 竹芝オアシスタワー10F		ビジネススクリーンショー本部 地域発展部 運行管理課	
W1002	SCSK㈱	135-8110	東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲川外	080-3690-4712	モビリティ事業グループ SDM事業開発センター プロダクトエンジニアリング部 QINeS営業推進課	40
	Thunder Software Technology Co., Ltd.		北京市海淀区清華東路9号院3棟目 サンダーソフトビル 中国	+86-138-8916-0439		

西展示棟 3・4ホール

部品

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間数	
W3001	豊田鉄工㈱	471-8507	愛知県豊田市細谷町4-50	070-3206-5890	経営企画部	2
W3002	広州SEAL自動車科技㈱		No. 16 Longgang Road, Nanling Village, Longgui Town, Bayun District, Guangzhou 510445, China	+86-136-0000-4619	国際市場部	2
W3003	SUPAKOTO TAKAI ME FZC		13th Floor, Fairmont Tower, Dubai, United Arab Emirates	+20-122-446-4637		2
W3004	中発販売㈱	457-0066	愛知県名古屋市中南区鳴尾2-114	052-614-3662	用品営業企画室	2
W3103	㈱アリヂストン	104-8340	東京都中央区京橋3-1-1	080-7595-0942	宣伝・イベント・モータースポーツ推進部 イベント・モータースポーツ推進課	34
W3201	㈱栄和産業	561-0894	大阪府豊中市勝部1-82-1	06-6852-6070	管理部	4
W3202	トビ工業㈱	141-8634	東京都品川区大崎1-2-2	080-8084-2232	自動車部品事業部 営業部	4
W3203	住友ゴム工業㈱	651-0072	兵庫県神戸市中央区脇浜町3-6-9	078-265-5667	グローバルマーケティング部	28
W3204	ハイリマレシヤン㈱	163-6014	東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿パーク14F	03-6871-8313	戦略企画部	8
	上海海立(集団)股份有限公司	201206	上海自由贸易试验区宁桥路888号 中国	+86-21-5854-7777		
W3401	アウンデ紡織㈱	529-1325	滋賀県愛知郡愛荘町東戸堂923	0587-94-2807	営業部	4
W3402	河北安開自動車部品有限公司		NO.18,Minwang Road,Jingbin Industrial Park, Wuqing District,Tianjin City,China	070-2820-8420	市場部	4
W3403	トヨタ紡織㈱	448-8651	愛知県刈谷市豊田町1-1	090-6279-5675	総務部	16
W3404	フタバ産業㈱	444-8558	愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1	070-8786-0084	製品企画開発部	8
W3501	TPR㈱	100-0005	東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内ビルディング10F	03-5293-2816	営業企画部	6
W3503	ボッシュ㈱	224-8601	神奈川県横浜市都筑区中川中央 1-9-32	045-605-3010	コーポレート・コミュニケーション部	24
	Robert Bosch GmbH		Robert-Bosch-Platz 1 70839 Gerlingen-Schillerhöhe Germany	+49-711-8111-8053 M/CGB-LC		
	イータス㈱	220-6218	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC棟	045-222-0943	ETAS/SCC-JP	
W3504	江蘇雲意電気㈱		No.26, Huangshan Road, Tongshan County, Xuzhou City, Jiangsu Province, China	+86-0516-83913580	マーケティング部	2
W3601	㈱三五	470-0294	愛知県みよし市福田町宮下1-1	070-2246-4869	総合企画部ESG推進室広報	8
W3602	Astemo㈱	100-0004	東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル	070-2437-9277	コーポレート・コミュニケーション本部	18

部品

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間数	
W4001	(株)松井製作所	103-0027	東京都中央区日本橋1-2-19 日本橋ファーストビルディング 8F	03-3272-2101	営業一部	2
W4002	Sigma & Hearts Co.,Ltd.	99 Moo 4, Bangna-Trat Road, Bang Sao Thong, Bang Sao Thong, Samut Prakarn 10570,Thailand	+66-9010-6281	営業&マーケティング	2	
W4003	三輪精機(株)	350-0833	埼玉県川越市芳野台3-1-1	049-211-3003	営業部	2
W4101	豊田合成(株)	452-8564	愛知県清須市春日長畑1	090-6393-8543	総務部広報室	18
W4102	曙ブレーキ工業(株)	103-8534	東京都中央区日本橋室町1-13-7 PMO日本橋室町5F	03-5299-7628	コーポレート・コミュニケーション室	8
W4104	日本発条(株)	236-0004	神奈川県横浜市金沢区福浦3-10	04-5786-9873	企画管理本部IR・広報部	10
W4105	朝日電装(株)	434-0046	静岡県浜松市浜名区染地台6-2-1	053-587-5167	営業部	4
W4106	トヨタバッテリー(株)	431-0422	静岡県湖西市岡崎20	080-5820-6603	技術統括室	8
	(株)ジェイテクト	448-8652	愛知県刈谷市朝日町1	090-4444-5785	営業本部 営業企画部プロモーション推進室販促支援課	
	トヨタ自動車(株)	471-8571	愛知県豊田市日夕町1	080-5814-3564	先行電池開発部	
	(株)豊田自動織機	448-8671	愛知県刈谷市豊田町2-1	05-6248-9126	電池事業室事業企画部事業企画室	
	豊田通商(株)	450-8575	愛知県名古屋市中村区 名駅4-9-8(セパル-豊田ビル)	050-3155-9893	カーボンニュートラル推進部	
	プライムフラットエナジー& ソリューションズ(株)	103-0022	東京都中央区日本橋室町2-1-1日本橋 三井ビル13F	090-2040-7146	コーポレートコミュニケーション部 広報グループ	
W4107	(株)SPREAD	105-6490	東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ビル212号室15F	03-4306-0100	経営管理部	2
W4108	(一社)日本自動車部品工業会	108-0074	東京都港区高輪1-16-15 自動車部品会館5F	03-3445-4214	業務部	8
	大野ゴム工業(株)	105-0001	東京都港区虎ノ門1-9-11 GATE虎ノ門	03-3690-5825	営業部	
	SGSジャパン(株)	240-0005	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 神戸町134 YBPイーストタワー12F	050-1780-7881	C&P Connectivity RSTS	
	(株)エマナック	540-0043	大阪府守口市南寺方東通4-24-8	06-6993-0101	管理本部	
	しげる工業(株)	373-0036	群馬県太田市由良町330	0276-31-3839	ベンチャービジネス企画部	
	(株)バーマンコーポレーション	550-0021	大阪府大阪市西四区川口4-1-5	06-6586-2009	マーケティング室	
	丸子警報器(株)	386-0404	長野県上田市上丸子1880	0268-42-3118	営業部	
	やまと興業(株)	434-0036	静岡県浜松市浜名区横須賀1136	053-586-3111	営業部	
W4109	日本特殊陶業(株)	461-0005	愛知県名古屋市中区東栄 1-17-1(トヨタ本社名古屋初代ビル)	052-218-6218	モビリティビジネスカンパニー国内販売部広告宣伝課	10
W4110	住友電気工業(株)	541-0041	大阪府大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル)	059-354-6221	自動車事業本部 統合企画部	8
W4111	(株)豊田自動織機	448-8671	愛知県刈谷市豊田町2-1	0566-27-5197	広報部	18
W3101	マルカサービス(株)	577-0016	大阪府東大阪市長田西2-4-7	080-3781-6606	営業部	4
W3102	(株)レイズ	577-0016	大阪府東大阪市長田西2-4-7	090-6013-2780	企画部 広報マーケティングGr.	4
W3104	横浜ゴム(株)	254-8601	神奈川県平塚市追分2-1	070-4777-6556	タイ国内向け営業企画部マーケティンググループ	8
W3502	(株)ミケ	101-0021	東京都千代田区外神田6-13-11	03-3833-0532	コーポレート本部経営企画室コーポレート・コミュニケーショングループ	4
W4103	(株)コロズ	222-8560	神奈川県横浜市港北区榑町3-7-60	045-555-8509	第一営業部 営業管理Gr	10
W4112	(株)東海理化	480-0195	愛知県丹羽郡大口町豊田3-260	0587-95-8192	総務部 広報室	10
W4113	ミック電子工業(株)	142-0041	東京都品川区戸越1-7-1	03-5749-2883	営業部営業課	6
W4114	イワタボルト(株)	141-8508	東京都品川区西五反田2-32-4	03-3493-0251	SOFI課	4
W4201	(株)ジェイテクト	448-8652	愛知県刈谷市朝日町1	090-4444-5785	営業企画部	18
W4202	(株)アイシン	448-8650	愛知県刈谷市朝日町2-1	050-3158-9067	広報部	30
W4203	日本精工(株)	141-8560	東京都品川区大崎1-6-3 日精ビル	070-8836-6289	コーポレート・コミュニケーション部	16
W4204	カヤバ(株)	105-5128	東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング 南館28F	0574-26-5986	技術統括部 技術管理室	14
W4206	矢崎総業(株)	108-1194	東京都港区港南1-8-15 Wtビル 17F	055-965-3002	ブランディング推進部	12
W4207	(株)小糸製作所	141-0001	東京都品川区北品川5-1-18 住友不動産大崎ビル東館	03-3443-7113	広報室	18
W4208	(株)デンソー	448-8661	愛知県愛知県刈谷市昭和町1-1	050-1801-3823	広報渉外部	30

機械器具

小間 番号	会社名	本社 連絡先	電話番号	担当	小間数	
W3301	京都機械工具㈱	613-0034	京都府久世郡久御山町佑山新開地128	090-2019-2585	営業統括部ブランドデザイン	2
W3302	水戸工機㈱	311-4143	茨城県水戸市大塚町1845			2
	水戸工業㈱	101-0036	東京都千代田区神田北薬物町6	03-3252-1215	DSMグループ	
W3304	㈱東日製作所	143-0016	東京都大田区大森北2-2-12	090-5801-5691	営業部	4

コラボレーション

小間 番号	会社名	本社 連絡先	電話番号	担当	小間 面積 (㎡)	
OP04	(公社)自動車技術会	102-0076	東京都千代田区五番町10-2	03-3262-8219	広報・会員課	100

南展示棟 1・2ホール

乗用車

小間 番号	会社名	本社 連絡先	電話番号	担当	小間 面積 (㎡)	
SP01	トヨタ自動車㈱	471-8571	愛知県豊田市トヨタ町1	080-5945-1966	渉外部	2,550
SP02	センチュリー	471-8571	愛知県豊田市トヨタ町1	080-5945-1966	渉外部	850
SP03	Lexus International	112-8701	東京都文京区後楽1-4-18 トヨタ自動車㈱	090-6391-1455	レクサスブランディング推進部 コミュニケーション企画室 広報グループ	1,350
SP04	ダイハツ工業㈱	563-8651	大阪府池田市ダイハツ町1-1	072-714-3205	ブランド推進室 モーターショーグループ	650

東展示棟 7ホール

モビリティ関連

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間数	
E7202	Intellias	100-0013	東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビルディング11F	03-4572-0690	Marketing Department	2
E7204	ARAV(株)	113-0023	東京都文京区向丘2-3-10 東大前 HIRAKU GATE 9F	070-4809-0195	営業事業開発	6
E7205	エイム(株)	450-6325	愛知県名古屋市市中村区名駅1-1-1 JPカ-名古屋 25F	052-589-0816	社長室	16
E7206	AGC(株)	100-8405	東京都千代田区丸の内1-5-1	050-9014-4256	広報IR部	12
E7213	Xperi(株)	100-0005	東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館12F	070-1184-7605	マーケティング	6
	DTS(株)	100-0005	東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館12F	080-6476-1017	広報	
E7304	(一社)日本電動モビリティ推進協会	150-0001	東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2F	050-3138-3953	事務局	2
E7309	(一社)日本自動車連盟	105-0012	東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館14F	03-3578-4920	マーケティング本部広報課	6
E7001	(株)T2	100-0011	東京都千代田区内幸町2-2-3日比谷国際ビル1F	090-6122-6357	事業開発本部	12
E7002	日本ガイウスモビリティ(株)	100-0005	千代田区丸の内ビシフィックセンチュリープレイス 丸の内13F	090-5516-7213	Marketing	2
E7003	ライデンジャパン(株)	663-8187	兵庫県西宮市花園町7-24	080-3457-5224		2
E7101	三菱重工機械システム(株)	652-8585	兵庫県神戸市兵庫区和田崎町1-1	080-1470-3254	モビリティ事業本部 モビリティ推進部 モバイルロボット事業推進グループ	6
E7102	日野コンピューターシステム(株)	191-0003	東京都日野市日野台1-16-12	080-5177-6235	ソリューション推進部	2
E7103	シャープ(株)	590-8522	大阪府堺市堺区匠町1	050-5434-2962	I-001プロジェクトチーム	6
E7104	スマートアイ・ジャパン(株)	220-0012	神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1 オートゲートみなとみらい 8F	080-4176-9681	Automotive Solutions	2
E7105	三菱電機モビリティ(株)	100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)	070-4020-4076	経営企画ユニット 経営企画部	26
E7106	ヤマトモビリティ&Mfg.(株)	350-0001	埼玉県川越市古谷上4274	04-9235-1234	モビリティ事業ユニット 事業推進・管理グループ	24
E7107	東京都スタートアップ戦略推進本部	163-8001	東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第一本庁舎14F北側	03-5000-0718	スタートアップ戦略推進本部戦略推進部戦略推進部 イノベーション戦略課	18
	EVジェネシス(株)	150-0034	東京都渋谷区代官山町10-1	03-6416-9611	本社	
	(株)SeiRogai	106-0032	東京都港区六本木6-1-20 六本木電気ビル5F(受付:7F)	03-4243-6243	代表取締役室	
	(株)ティアフォー	140-0001	東京都品川区北品川1-12-10 ジャコムビル		Marketing & Communications	
	東亜道路工業(株)	106-0032	東京都港区六本木7-3-7	03-3405-1811	建設事業本部企画開発部	
	Hundredths(株)	399-0651	長野県塩尻市北小野205-7	050-5468-1140	本部	
E7108	自動車整備人材確保・育成推進協議会/国土交通省	105-0012	東京都港区芝大門1-1-30	03-5405-6120	(一社)日本自動車工業会 総合政策領域3部	28
E7109	ロッテ	LOTTE World Tower, 300 Olympic-ro, Songpa-gu, Seoul, 05551 Korea		+82-10-7492-2242		28
	ロッテインバート(株)	08500	ソウル特別市 衿川区 加山デジタル2路 179	+82-2-2626-4000	韓国	モビリティ事業チーム
	ロッテグローバルロジス(株)	04527	ソウル特別市 中区 統一路 10 (南大門路5街、延世大学セプランスビルディング) 韓国	+82-2-2170-3355	韓国	TLS企画チーム Techイノベーションチーム
	EV SIS(株)	28443	忠清北道 清州市 興徳区 直指大路409-キル 54 (松亭洞) 韓国	+82-1577-1907	韓国	グローバルビジネスTFT
	ロッテインフラスール(株)	08606	ソウル特別市 衿川区 桜花路104 15F (金川ロッテタワー) 韓国	+82-2-801-8000	韓国	マーケティング戦略チーム
	ロッテエナジーマテリアルズ(株)	06619	ソウル特別市 瑞草区 瑞草大路 396, 17F (瑞草洞、江庵ビル) 韓国	+82-2-707-9314	韓国	マーケティング戦略チーム
	ロッテケミカル(株)	05551	ソウル特別市 松坡区 オリンピック路 300 14F~16F (ロッテワールドタワー) 韓国	+82-2-829-4114	韓国	コミュニケーションチーム
E7110	キャスレディーイノベーションズ(株)	150-6090	東京都渋谷区恵比寿4-20-4 恵比寿がーテンプレイスB1F	03-4405-5031	代表取締役	2
E7111	ワイ・エンジニアリング(株)	240-0005	神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPビル7F	045-348-0220		6
E7112	(株)Protos	174-0063	東京都板橋区前野町3-44-11-301	090-3683-5648	営業部	4

モビリティ関連

小間 番号	会社名	本社 連絡先	電話番号	担当	小間数
E7201	上海博奇汽車技術有限公司	Building 2&6, No. 335 Xuanqiu Rd., 201314, China	+1 31-2088-382 3	営業部	4
E7203	萩原エレクトロニクス(株)	461-0005 愛知県名古屋市長区東桜2-2-1	080-5424-2838	ニュービジネスイノベーション部	2
	シーバエーアイ	8521 Leesburg Pike Ste 250, Vienna, Virginia 22182, USA			
E7207	関西電力(株)	530-8270 大阪府大阪市北区中之島3-6-16	070-2903-5005	ソリューション本部 開発部門 eモビリティ事業グループ	6
E7208	穎華テクノロジー(株)	No. 12, Gongye 5th Road, Pingzhen Industrial Zone, Taoyuan County, China	+886-3469-1133	営業部	2
E7209	KeePer技術(株)	474-0046 愛知県大府市吉川町4-17	090-2685-1505	マーケティング部 広報課	8
E7210	ニチコン(株)	604-0845 京都府京都市中京区烏丸通御池上る	075-241-5338	広報・IR部	14
E7211	TOKYOGXACTION	163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1	03-5000-7720	TOKYOGXACTION事務局	2
E7214	(株)仙台放送	980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉5-8-33	022-267-1266	ニュービジネス事業部	2
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1			
E7215	(株)モーターアイジヤン	105-0021 東京都港区東新橋2-4-6 1F 799F	03-6721-5530	Business Development	6
E7301	(株)Resilire	105-7510 東京都港区海岸1-7-1 東京駅 10F 竹芝 10F	050-1782-1886	マーケティング	2
E7302	MOTER Technologies, Inc.	S Western Ave, STE 200, Torrance, CA, USA	090-1254-2827	営業部	2
E7303	モリテックスチール(株)	542-0012 大阪府大阪市中央区谷町18-31	0774-95-0125	ユニオ製品事業部	2
E7305	国土交通省道路局	100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3	03-5253-8484	道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室・企画調整係	2
E7306	国土交通省物流・自動車局技術・環境政策課(アセス)	100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3	03-5253-8591	物流・自動車局 技術・環境政策課	2
E7307	(独)自動車事故対策機構	130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 7F 11F 19F	03-5608-7587	自動車アセスメント部 渉外グループ	6
E7308	(一社)全国自動車標協議会	113-0033 東京都文京区本郷2-15-13 お茶の水イングリッドビル	03-3813-5911	事務局	6
E7310	国土交通省物流・自動車局技術・環境政策課(ASV)	100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3	03-5253-8591	物流・自動車局 技術・環境政策課	4
E7311	(一財)道路交通情報通信システムセンター	104-0031 東京都中央区京橋2-5-7 日土地京橋ビル8F	03-3562-1728	総務部 広報・普及促進室	4
E7312	glafit(株)	640-8452 和歌山県和歌山市梅原579-1	050-5491-2710	広報	8
E7313	(株)カーメイト	171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11	03-5926-1256	マーケティング戦略室	8
E7314	(株)ノックス	254-0021 神奈川県平塚市長静2-6	0463-23-2527	営業部	4
E7315	(株)キューラフト・ジャパン	814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-3-2 TNC放送会館18F	092-843-0877	本社営業部	2

東展示棟 8ホール

コラボレーション

小間 番号	会社名	本社 連絡先		電話番号	担当	小間 面積 (㎡)
OP03	(一社) 日本RV協会	222-0033	神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-19 竹生第二ビル905	045-270-3855	事務局	3,000
	(株)ナッツ	811-4342	福岡県遠賀郡遠賀町尾崎1704-3	093-293-8888		
	VANTECH(株)	359-0015	埼玉県所沢市日比田95-1	04-2936-6528		
	(株)ホワイトハウス	470-0153	愛知県愛知郡東郷町和合北蚊谷29-1 オートプラネタ名古屋1F	0561-37-5336		
	フレックス(株)	107-0061	東京都港区青山2-5-8青山IOMスクエア6F	03-3470-0111		
	(株)ダイレクトカーズ	510-0256	三重県鈴鹿市磯山3-4-1592 DIRECT village	059-253-8888		
	(株)東和モーター販売	168-0074	東京都杉並区上高井戸1-21-18	03-3303-9932		
	(株)岡モーターズ	761-8058	香川県高松市勸使町630	087-865-5588		
	(有)加藤モーター	959-1241	新潟県燕市小高6245-1	0256-62-6516		
	(有)L.T.キャンパーズ	392-0012	長野県諏訪市四賀633-4	0266-58-2211		
	(株)レグビィ	480-1207	愛知県瀬戸市品野町3-3	0561-41-3613		
	トヨタ・コニック・プロ(株)	101-8343	東京都千代田区神田淡路町 2-101 ワテラスタワー 10F	03-6757-8200		
	(株)ハピテック新潟	943-0865	新潟県上越市七カ所新田485-4	025-524-1224		
	(株)RVトラスト	812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南5-15-18	092-952-8600		
	(株)トイファクトリー	509-0213	岐阜県可児市瀬田800-1	0574-63-0667		
	(株)グランドモーター	277-0872	千葉県柏市十余二164-107	04-7132-7557		
	(株)KRC	832-0006	福岡県柳川市東蒲池1558	0944-74-3777		
	(有)カーショップアシスト	571-0011	大阪府門真市脇田町30-4	072-887-3113		
	(有)ミスティックプランニング	407-0005	山梨県韮崎市一ツ谷1840	0551-45-7654		
	(株)ルートシックス	310-0841	茨城県水戸市坂門町1130-10	029-291-6118		
	LEGANCE	590-0155	大阪府堺市南区野々井269-1	072-295-5288		
	AROUND JAPAN RV Rental 530-0001		大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル11F	06-6456-4881		

南展示棟 3・4ホール

Out of KidZania in JMS 2025

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間数	
KZ01	日産自動車(株)	220-8686	神奈川県横浜市西区高島1-1-1	090-1254-4301	日本マーケティング本部ブランド&コミュニケーション戦略部	8
KZ02	マツダ(株)	730-8670	広島県安芸郡府中町新地3-1	070-7571-9521	グローバルブランド推進部	6
KZ03	(一社)日本自動車販売協会連合会	105-8530	東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館	03-5733-3103	業務部	10
KZ04	トヨタ自動車(株)	471-8571	愛知県愛知県豊田市日野町1	080-5937-2922	第2ブランディング部 第1トヨタファンブの推進ユニット	31
KZ05	(株)SUBARU	150-8554	東京都渋谷区恵比寿1-20-8 11"ダブルビル	080-8169-1519	マーケティング推進部メディア・カスタマーコミュニケーション	6
KZ06	本田技研工業(株)	105-8404	東京都港区虎ノ門2-3-3 丸ビルタワー	080-8911-1996	広報部	9
KZ07	三菱自動車工業(株)	108-8410	東京都港区芝浦3-1-21 msb Tamachi 田町駅前ビル5F	080-9951-5289	国内商品戦略部	6
KZ08	スズキ(株)	432-8611	静岡県浜松市中央区高塚町300	080-8178-0394	経営企画本部 コーポレート戦略部	6
KZ09	ダイハツ工業(株)	563-8651	大阪府池田市グレイズ町1-1	080-6238-8726	ブランド推進室 モーターショーグループ	10
KZM01	日本カーモーター協会	471-8571	愛知県豊田市日野町1	03-6823-8962	営業部	8
KZM02	(株)リクルート	100-6640	東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー	080-2002-0771	カーセンサ-編集G	
KZM03	江崎グリコ(株)	555-8502	大阪市西淀川区歌島4-6-5	090-4762-0170	社長室コーポレートブランディンググループ	
KZM04	(株)国際交易	150-0047	東京都渋谷区神山町18-3 1F	080-5014-4728		

コラボレーション

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間面積 (㎡)	
OP01	(一社)日本スーパーカー協会	108-0072	東京都港区白金6-18-12 プリンスビルJSA	090-4843-4888	事務局	1,150
OP02	東京オートサロン (株)三栄	163-1126	東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿ビルタワー 26F	080-6977-4782	イベント事業本部イベント部	400
SS01	(株)カイトミー	124-8511	東京都葛飾区立石7-9-10	03-5654-1504	ブランドビジネス本部ライセンス事業部イベント企画課	1,200

東展示棟 7ホール

新聞・雑誌コーナー

小間番号	会社名	本社連絡先	電話番号	担当	小間数	
NM01	(株)八重洲出版	104-8488	東京都中央区八丁堀4-5-9	03-3552-7166	販売部	3
	(株)モーターマガジン社	105-8611	東京都港区新橋5-33-10	03-3434-3153	販売マーケティング部	
	(株)交通タイムズ社	101-0054	東京都千代田区神田錦町3-13-7 名古屋ビル本館 8F	080-4722-5334	販売部	
NM02	(株)三栄	163-1126	東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿ビルタワー 26F	03-6773-5250	販売統括部 出版営業課	3
	(株)グランブ出版	101-0051	東京都千代田区神田神保町1-32	03-3295-0005		
NM03	(株)三樹書房	101-0051	東京都千代田区神田神保町1-30	03-3295-5398	販売部	2
	(株)日刊自動車新聞社	105-0012	東京都港区芝大門1-10-11 芝大門ビル 13F	03-5777-2318	営業本部 販売管理部	
NM05	(株)フォーイン	464-0025	愛知県名古屋市中千種区松が丘292	052-789-1101	営業部	2

2) 入場券価格、販売窓口一覧

入場券(税込)	当日券	前売券*1	アフター4*2	アーリーエントリー*3
一般	3,000円	2,700円	1,500円	3,500円 (限定5,000枚/日)
高校生以下*4	無 料			
小学生以下				無料：但、保護者の 同伴が必要

*1 10月30日（木）まで購入可能

*2 一般公開日（除、日曜日）の16:00以降に入場可能

*3 一般公開日（土日・祝日）の9:00から入場可能（一般入場は10:00から）。保護者同伴の場合は小学生以下無料。

*4 高校生及び自動車専門学生・高等専門学生、中学生は無料です。入場時に学生証をご提示ください。

公式オンラインチケット

e+ イープラス



セブンチケット



コンビニエンスストア



LAWSON



団体入場券（20名以上）／JMSオフィシャルトラベルエージェンシー



感動のそばに、いつも。

3) 東京モーターショーの記録

回数	西暦	会期			期間 (日)	会場	入場料 税込(円)	会場内 面積 (㎡)	展示小 間面積 (㎡)	出展 会社数 (社)	出展 車両数 (台)	入場者数 (人)
		元号	年	月日								
1	1954	昭和	29	04.20~04.29	10	日比谷	無 料	14,999	4,389	254	267	547,000
2	1955	◇	30	05.07~05.18	12	◇	無 料	14,999	4,689	232	191	784,800
3	1956	◇	31	04.20~04.29	10	◇	4/20~22=20,以降無料	14,999	5,405	267	247	598,300
4	1957	◇	32	05.09~05.19	11	◇	20	14,999	6,049	278	268	527,200
5	1958	◇	33	10.10~10.20	11	後楽園	30	28,050	6,094	302	256	519,400
6	1959	◇	34	10.24~11.04	12	晴海	50	44,653	8,996	303	317	653,000
7	1960	◇	35	10.25~11.07	14	◇	50	44,653	11,025	294	358	812,400
8	1961	◇	36	10.25~11.07	14	◇	100	79,236	13,470	303	375	952,100
9	1962	◇	37	10.25~11.07	14	◇	100	107,710	21,209	284	410	1,049,100
10	1963	◇	38	10.26~11.10	16	◇	100(プレミアムショー 500)	141,756	28,921	287	441	1,216,900
11	1964	◇	39	09.26~10.09	14	◇	100(プレミアムショー 500)	137,002	34,889	274	598	1,161,000
12	1965	◇	40	10.29~11.11	14	◇	100(プレミアムショー 500)	136,002	36,800	243	642	1,465,800
13	1966	◇	41	10.26~11.08	14	◇	120(チャリティショー 500)	148,433	39,089	245	732	1,502,300
14	1967	◇	42	10.26~11.08	14	◇	200(チャリティショー 500)	125,086	35,732	235	655	1,402,500
15	1968	◇	43	10.26~11.11	17	◇	200(チャリティショー 500)	139,356	39,619	246	723	1,511,600
16	1969	◇	44	10.24~11.06	14	◇	200(チャリティショー 500)	128,693	38,552	256	722	1,523,500
17	1970	◇	45	10.30~11.12	14	◇	250(チャリティショー 500)	134,967	41,298	274	792	1,452,900
18	1971	◇	46	10.29~11.11	14	◇	250(チャリティショー 600)	122,247	33,550	267	755	1,351,500
19	1972	◇	47	10.23~11.05	14	◇	250(チャリティショー 600)	108,103	26,395	218	559	1,261,400
20	1973	◇	48	10.30~11.12	14	◇	300	115,720	34,232	215	690	1,223,000
21	1975	◇	50	10.31~11.10	11	◇	500	108,074	28,381	165	626	981,400
22	1977	◇	52	10.28~11.07	11	◇	600	117,500	30,633	203	704	992,100
23	1979	◇	54	11.01~11.12	12	◇	700	117,500	34,969	184	800	1,003,100
24	1981	◇	56	10.30~11.10	12	◇	800	114,700	34,332	209	849	1,114,200
25	1983	◇	58	10.28~11.08	12	◇	800	111,650	35,130	224	945	1,200,400
26	1985	◇	60	10.31~11.11	12	◇	900	114,780	40,734	262	1,032	1,291,500
27	1987	◇	62	10.29~11.09	12	◇	900	112,800	38,662	280	960	1,297,200
28	1989	平成	1	10.26~11.06	12	幕張	1000	173,820	41,844	338	818	1,924,200
29	1991	◇	3	10.25~11.08	15	◇	1200	210,300	45,635	336	783	2,018,500
30	1993	◇	5	10.22~11.05	15	◇	1200	211,300	46,924	357	770	1,810,600
31	1995	◇	7	10.27~11.08	13	◇	1200	211,300	47,941	361	787	1,523,300
32	1997	◇	9	10.24~11.05	13	◇	1200	211,300	48,693	337	771	1,515,400
33	1999	◇	11	10.22~11.03	13	◇	1200(乗用車・二輪車)	211,300	45,394	294	757	1,386,400
34	2000	◇	12	10.31~11.04	5	◇	1000(商用車)	133,000	24,773	133	248	177,900
35	2001	◇	13	10.26~11.07	13	◇	1200(乗用車・二輪車)	211,300	42,119	281	709	1,276,900
36	2002	◇	14	10.29~11.03	6	◇	1000(商用車)	133,000	24,837	110	224	211,100
37	2003	◇	15	10.24~11.05	13	◇	1200(乗用車・二輪車)	211,300	40,839	268	612	1,420,400
38	2004	◇	16	11.02~11.07	6	◇	1000(商用車)	133,000	24,465	113	206	248,600
39	2005	◇	17	10.21~11.06	17	◇	1200(乗用車・二輪車)	211,300	40,211	239	571	1,512,100
40	2007	◇	19	10.26~11.11	17	◇	1300	211,300	44,587	241	517	1,425,800
41	2009	◇	21	10.23~11.04	13	◇	1300	54,000	21,823	128	261	614,400
42	2011	◇	23	12.02~12.11	10	東京ビッグサイト	1500	82,660	35,187	174	402	842,600
43	2013	◇	25	11.22~12.01	10	◇	1500	82,660	38,293	178	426	902,800
44	2015	◇	27	10.29~11.08	11	◇	1600	82,660	39,354	160	417	812,500
45	2017	◇	29	10.27~11.05	10	◇	1800	89,660	39,708	153	380	771,200
46	2019	令和	1	10.24~11.04	12	◇	2000	80,520	30,467	192	—	1,300,900
—	2023	◇	5	10.25~11.05	12	◇	3000	118,540	40,676	475	361	1,112,000
—	2024	◇	6	10.15~10.18	4	幕張	無料(事前登録制)	8,437	1,793	203	—	—

- (注) —1 出展台数は4・3・2輪車の合計(部品、機械工具、関連商品の出展点数は含まない)
 —2 2011年の出展会社数にはSMC2011を含む
 —3 2009年以降の会場内面積は、屋内展示場面積を示す。
 —4 2019年は会場をMEGA WEB及びシンボルプラザード公園等まで拡大して開催。また、出展車両数の公式発表は無し。
 —5 2023年の出展会社数はTokyo Future Tourの参加者(企業・団体)を含む。
 —6 2024年は、Japan Mobility Show Bizweek。入場者の公式発表は無し。

詳細はリンク参照: <https://www.japan-mobility-show.com/history/>

